

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	1	0	1						ビルマ防衛軍 學生を挑発	上海特電		
1	1	1	2	大東亜戦争第二年(社説)								
1	1	1	4		南方資源開発座談會 本社主催 ①							座談會の写真/出席者 一覧
1	1	1	6		新しいお友達 南方の 少年(こども)							少年とワニとの写真
1	1	1	6	大東亜戦争(野口雨情 作)(詩)								
1	2	1	2	新秩序建設へ邁進 首 相放送 必勝必成の信 念披瀝								首相(顔写真)
1	2	1	2	敵國米の仮面政策 上						大本營陸軍報道部長 陸軍大佐 大平秀雄		(男性顔写真)
1	2	1	2		南方資源開発座談會 本社主催 ②							石原氏、栗林徳一氏、 細田秀造氏(顔写真)
1	2	1	3			地図に群がる人々 日 本との提携に“誇り” ハノイ(蘇る大東亜②)				ハノイにて安藤特派員	ハノイ ポールペール 街の戦況地図に見入る 人々=草間特派員撮影	
1	2	1	3			日本に協力の論説				サイゴン特電		
1	2	1	3					皇軍に挨拶の放送		バンコック特電		
1	3	1	2	敵國米の仮面政策 下						大本營陸軍報道部長 陸軍大佐 大平秀雄		
1	3	1	2		南方資源開発座談會 本社主催 ③							藤山氏、石原氏(顔写 真)/出席者一覧
1	3	1	2					泰と共に邁進 我司令 官力説		バンコック特電		
1	3	1	4					第一線に“歴戦勇士” 見て戴きたい泰軍の実 力 新戦場護る泰軍訪 問記		タイ國〇〇にて山田特 派員	颯爽たる泰國歩兵部隊 の行進(岡特派員撮 影)	
1	4	1	2		戦果と南方油田(社説)							
1	4	1	2					泰首相、駐日大使に勳 章贈與の御沙汰				
1	4	1	2					年頭祝電交換 東條、 ビブ日泰両首相				
1	4	1	2						蔣軍、ビルマ進駐 英 軍司令官の指揮下	上海特電		
1	4	1	4		南方資源開発座談會 本社主催 ④							大村氏(顔写真)/出 席者一覧
1	4	1	4			人気の的・壁新聞 住 民・新聞も親日一色 サ イゴン・シヨロン(蘇る大 東亜④)				サイゴン特電		
1	4	1	5	[共榮圏の「面積」と「人 口」](青鉛筆)								
1	4	1	6	共榮圏は鳥から(南方 片語)							内田清之助	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	4	1	6	長期戦と化学工業① 大飛躍の機到る 石油 その他の大資源						田中芳雄		
1	5	1	2						英、ビルマ自主拒否(大 戦と海外)			
1	5	1	2		南方資源開発座談會 本社主催 ⑤							細田氏、水野局長(顔 写真)
1	5	1	2					泰國の四大臣にも勲章 贈與の御沙汰				
1	5	1	4	長期戦と科学工業② 企業統合を確立 ゴ ム、麻の過剰調節へ						田中芳雄		
1	6	0	1						ビルマ各地を猛爆襲 南部の空軍基地占領 英空軍基地を撃破	ベルリン特電/上海特 電		ビルマ・タイ沿岸部地図
1	6	0	1		翼同 南方経営委員會 を設置							
1	6	0	1					新駐日泰大使赴任		バンコック特電		
1	6	0	2		“科学する総力”の進発 南へ展く資源作戦 次々に文部省の學術調 査団							
1	6	1	1						ビルマの適性を扶る 印度防衛の外郭陣地 英、援蒋抗日の一大據 點			
1	6	1	2	大東亜戦完遂へ①戦時 行政の新展開 大東亜 廣域經濟 共榮圈建設 に即應態勢								
1	6	1	2						ばらゝの四戦線 印度、 ビルマ不安に戦く	ベルリン特電		
1	6	1	2					泰華僑の援汪拒蔣聲明 (大戦と海外)		バンコック同盟		
1	6	1	3						戦時雑記帳 英に懐柔 されぬビルマ人			
1	6	1	4	長期戦と化学工業③ わが國の使命 大東亜 共榮の礎						田中芳雄		
1	7	0	1						星港、ラングーン連爆	ベルリン特電/サイゴン 發同盟		
1	7	0	1						ビルマへ廿五萬 蔣軍 増援を決定説	南京特電		
1	7	0	1		南方開発金庫設置 金 融部面より高度統制							
1	7	0	1		臨時軍事費から開発資 金を貸付 資本金一億 圓政府出資							
1	7	1	1						クラン蘭貢で敵十四機 撃破	上海特電		
1	7	1	2		南洋華僑の動向(社 説)							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	7	1	2		翼同に南方対策委員会							
1	7	1	2		南方開発金庫の設置 (社説)							
1	7	1	2	大東亜戦完遂へ②戦時 行政の新展開 既定方 針を完遂								
1	7	1	2					皇軍と協力せよ 泰國 防省、國民に布告		バンコック特電		
1	7	1	4		南方の植物資源① 共 存共榮の實へ わが世 界史的使命					柴田桂太		
1	7	1	4	聰明と仁徳と體力 これ ぞ大東亜戦完遂の必須 条件								
1	7	1	4					泰國の科學		中村靜		
1	8	0	1						ビルマ要衝を占領	リスボン同盟		
1	8	0	1					新泰國大使赴任日程				
1	8	1	1						ラングーン爆撃	リスボン同盟		
1	9	0	1						ラングーンを連爆 モー ルメインに痛撃	上海特電		
1	9	0	1					駐日泰大使東上				
1	9	0	1					敵機、盤谷盲爆		バンコック發同盟		
1	9	1	2	大東亜戦完遂へ③戦時 行政の新展開 船腹を 急速擴充 南方通信網 の確立へ								
1	9	1	3					暹の日本へ來た 入 京の泰新大使喜びを語 る				
1	9	1	4		南方の植物資源② ゴ ムの栽培量 實に九七 パーセント					柴田桂太		
1	10	0	1						蘭貢を猛連爆	上海特電		
1	10	1	2	大東亜の氣宇と構想 (社説)								
1	10	1	2	英國議會の泣言(社 説)								
1	10	1	2		南方農業資源開発 け ふ拓務省で打合會							
1	10	1	2						印度路建設 ビルマ路 を誇らめ重慶策謀	南京特電		
1	11	0	1						ラングーンの飛行場連 爆	上海發同盟		
1	11	0	1						ビルマ空軍司令官任命	ベルリン特電		
1	11	0	1		生ゴム消費解決案(鐵 箒)							
1	11	1	1	ダフ・クーパーに帰國命 令						上海特電		
1	11	1	2	大東亜戦争と翼賛會 (社説)								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	11	1	2		資源別に六班 南方開発を立案 拓務省の打合せで決定							
1	11	1	2		統一機関を設立 鉱山統制會 南方鉱業開発案成る							
1	11	1	2	大東亜戦完遂へ④戦時行政の新展開 南方の食糧確保 邦人進出に萬全対策								
1	11	1	3	大東亜戦争展覧會（社告）								
1	11	1	3						三十余機と大格闘 敵の體當り空し・見事我が餌食 蘭真の必中弾	〇〇基地特電		
1	11	1	3			一航空兵の身で佛印ブノンベンの王宮へお年賀に参上したという話（青鉛筆）						
1	12	1	1						ビルマへ晝夜空襲	ベルリン特電		
1	12	1	2	文化戦としての映畫（社説）								
1	12	1	2	田口卯吉、『南島巡航記』（有題無題）								
1	12	1	2	大東亜戦完遂へ⑤戦時行政の新展開 資源作戦に全力 民族的人口政策の確立								
1	12	1	4		南方語 独修書と辞典							
1	12	1	4		日本技術の南方進出						下山定則	
1	12	1	4		南方の植物資源③ キナの栽培量 九パーセントに上る						柴田桂太	
1	13	0	1						ビルマ空襲	上海特電		
1	13	0	2					セナ大使に御陪食				
1	13	1	2	大東亜戦と米濠の策動（社説）								
1	13	1	3			更に佛印と文献交換						
1	13	1	4	長期戦と科學技術① 赫々たる戦果とわれ等の覚悟							谷村豊太郎	
1	14	0	1						ランゲーンを大舉連爆	ベルリン特電		
1	14	0	2						地と空、機銃の一騎打命中のけぞる敵機 我基地に米人操縦の重慶軍機	泰、ビルマ國境〇〇基地にて兒玉、繁田兩特派員		
1	14	0	2	観衆も決意新た「大東亜戦争展」開く							比島群島のバナラマ銀座松屋の大東亜戦争展	
1	14	1	1	[大日本共産党]米英撃滅東亞民族大會								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	14	1	2		海上輸送力の増強に財界の協力を要望 南方開発官民懇談會							
1	14	1	2		南方講座を開設 民族委員會も組織 南方經濟懇談會							
1	14	1	3		拓南塾も大拡充 来る四月から							
1	15	0	1						ラングーン猛爆 敵大型爆撃機二機炎上	〇〇特電		
1	15	0	1	ダフ・クーバー 昨日帰國の途へ						上海特電		
1	15	1	1						ラングーン空襲	ベルリン特電		
1	15	1	1	大東亜調査會 貴院に設置								
1	15	1	2	全国の貿易業者を四、五百に統合 大東亜圈貿易方策 菱沼長官語る								
1	15	1	2	大東亜戦争と船舶対策 ① 一千五百萬トン 差當り必要の船腹量							松隈國健	日本・中國・インドネシア・オーストラリアの重要港の地図
1	15	1	4	宗教文化の影響 東南アジア民族の文化と宗教 上							宇野圓空	
1	16	0	2		南進同志煉成塾開く							
1	16	1	1						蘭貢爆撃	上海特電		
1	16	1	1						陸軍、全戦線を快速進撃 週間戦況 二、ビルマ方面	大本營発表		
1	16	1	4						ビルマの爆撃を語る 陸鷲の座談會	〇〇基地特電	写真はビルマに向ふ陸鷲	
1	16	1	4	固有の生活文化 東南アジア民族の文化と宗教 中							宇野圓空	
1	17	0	1						緬甸で十一機爆撃破 タウオイ基地襲撃	マレー前線〇〇特電		
1	17	0	2	意外に弱い英空軍 合作語る俘虜の米航空将校							バンコックにて住田特派員	
1	17	0	2			佛印資源調査に三氏〔文部省〕						
1	17	1	1						ラングーン混亂	上海特電		
1	17	1	1	十九日に重臣會議 大東亜戦遂行状況を説明							挨拶する東條首相と(右)嶋田海相	
1	17	1	1		石原氏首相訪問							
1	17	1	1					泰國大使十九日信任状捧呈				
1	17	1	3	”我に天祐あり” 大東亜戦完遂講演會で首相説く								
1	17	1	3		南の戦場に軍事郵便							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類	
1	17	1	4	民族統合の根柢 東南アジア民族の文化と宗教 下						宇野圓空			
1	18	1	2		南方経営と人材(社説)								
1	18	1	2	大東亜戦争と船舶対策 下 資材難克服せよ						松隈國健			
1	19	1	4		南方の金属資源 上 兵器の近代化とアルミニウム					石田四郎			
1	20	0	1					新任泰國大使信任状捧呈					
1	20	1	4	東亞經濟懇談會理事									
1	21	1	1						イギリス官憲突如ビルマ首相逮捕 英の暴虐不信を暴露	上海特電/バンコック特電	逮捕されたウー・ソー首相		
1	21	1	1						ウー・ソー首相				
1	21	1	1						かつては英の寵児	ストックホルム特電			
1	21	1	1						帰國途上捕る	リスボン發同盟			
1	21	1	1						住民に大衝撃	上海特電			
1	21	1	1						新首相にポー・ツン	上海特電			
1	21	1	1						ポー・ツン談	リスボン發同盟			
1	21	1	1						英政界に衝動	リスボン發同盟			
1	21	1	1						ハル長官言明避く	リスボン發同盟			
1	21	1	1						陸鷲 モールメイン連爆	〇〇基地にて安田特派員			
1	21	1	2	貴院大東亜調査會構成決る									
1	21	1	3	大東亜を宗教で結ぶ									
1	21	1	3	東亞事情の相談室									
1	21	1	4		南方の金属資源 中 共榮圏内の錫 世界總産額の八〇%					石田四郎			
1	22	0	1	首相・大東亜戦指導要綱闡明 けふ議會再開・畫期的施政方針演説 香港マレーは防衛據點に確保 比島ビルマには獨立をも許與 濠洲・蘭印の抗戦は斷乎撃碎								寫眞は貴院で施政方針を述べる東條首相	
1	22	0	2	大東亜を一丸とし國防經濟力充實 蔵相財政演説 經濟政策の核心									
1	22	0	2	重慶、迷夢醒めん 外相演説 米英の罪惡を衝く 共榮圏の根本理念					重慶、迷夢醒めん 外相演説 米英の罪惡を衝く 泰國と同盟條約成る				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	22	0	2	唇つく雄大な構想 東 亜の民族も聴け 首相 未曾有の決意披瀝								
1	22	1	1						皇軍ビルマに進入 要 衝タウオイを攻略 モー ルメン東北へ進出	大本營発表／〇〇特電	ビルマ進入の皇軍 タ ウオイに向け炎熱下の ジャングルを縫い進撃 する皇軍	ビルマ・タイの地図
1	22	1	1						皇軍ビルマに進入 ミツ ターを完全占領	上海特電		
1	22	1	1						皇軍ビルマに進入 モーレン空襲・四機撃 墜	〇〇特電／上海特電		
1	22	1	1						皇軍ビルマに進入 ビ ルマ路制壓を期す			
1	22	1	1						皇軍ビルマに進入 大 密林地帯を猛進撃	〇〇基地にて小倉特派 員		
1	22	1	1						闇夜、隠密渡河に成功	北泰、ビルマ國境〇〇 にて兒玉、繁田兩特派 員		
1	22	1	1						ビルマ反英軍と感激の 握手	〇〇特電		
1	22	1	1						英軍退却を發表	上海特電		
1	22	1	1						ビルマ第二の航空基地 放棄	リスボン發同盟		
1	22	1	1						峻嶮の突破目撃	ビルマ前線〇〇にて同 盟特派員		
1	22	1	1						敵機兩翼に青天白日旗	〇〇基地特電		
1	22	1	1						ビルマ新内閣成立	リスボン發同盟		
1	22	1	2	有題無題(大東亜新秩 序)								
1	22	1	2	大東亜宣言の世界史的 意義 上 英米舊秩序 を破砕 淵源は肇國の 大精神								
1	22	1	2		南方開発のための教育 全般を刷新 首相、建 設の熱意披瀝							
1	22	1	2						征戦日記 ビルマに皇 軍進出			
1	22	1	2	大東亜建設の大宣言 (社説)								
1	22	1	3						秘境突破ビルマ従軍 夢怯ゆ密林の奇聲 峰 に立てば樹海の彼方に 日の丸 シヤン山脈横 断を敢行	泰ビルマ國境〇〇にて 兒玉、繁田特派員	写真は泰ビルマ國境 ジャングルの屋野生象	
1	22	1	3						青鉛筆(ビルマ人)			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	22	1	4						自爆の偉機に涙 激戦 終つて美味なり“航空 糧食” 蘭貢爆撃 陸鷲 の空中戦手記	〇〇基地にて安田特派 員		
1	23	0	1						ミヤワジで激戦 ビルマ 戦線	上海特電	大地を蔽ふ密林を征く =ビルマ戦線	ビルマ・タイ地図
1	23	0	1						ビルマ首都移転 英当 局考慮 マンダレーへ	ベルリン特電		
1	23	0	1		独立委員会へ 南方金 庫法案							
1	23	0	2						越すに越されぬ峻嶮 憩ふひまなくタウオイ攻 略 報道班員記	〇〇基地特電		
1	23	0	2			ハノイとも直通電信						
1	23	1	1						モールメンに迫る 陸鷲 果敢な連続爆撃 ビル マ戦線	ベルリン特電/上海特 電/〇〇基地		
1	23	1	1						獨立支援のため進入 我軍ビルマ民衆に布告	〇〇にて小倉特派員		
1	23	1	2						戦果ビルマに擴大(社 説)			
1	23	1	2	大東亜宣言の世界史的 意義 [中] 民族解放 方式を闡明 戦争理念 の一大變革								
1	23	1	2		南方經濟建設方策 け ふ衆院予算總會 政府 答弁注目さる							
1	23	1	2		日本郵船四出張所開設							
1	23	1	2		資金自由進出禁止 開 発金庫一本建蔵相、南 方金融政策を明示							
1	23	1	3			安南から両氏に勲章						
1	23	1	4	“文化の尖兵”軍報道 班員(戦時雑記帳)								
1	23	1	4		熱帯の食物(南の扉)							
1	23	1	4		南方作戦と伝染病 上 個體の抵抗力 季節に よつて變動					矢追秀武(東大助教授 傳染病研究所技師)		
1	24	0	1	大東亜經濟建設方略 必勝物動計畫確立へ直 進 首相、企畫院總裁 闡明 米英に資源逆封 鎖								
1	24	0	1	鈴木總裁答弁 戦争現 段階に於ける南方經濟 建設方略								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	24	0	1		根幹は日滿支三國南方地域を併せ計畫							
1	24	0	1						我軍猛進撃續くビルマ戦線	上海發同盟ノリスボン發同盟		
1	24	0	1	帝國中核の共榮 東條首相 占領地統治方針明示								
1	24	0	1					米英、泰國に宣戦布告か		上海特電		
1	24	1	1						モールメン平原に進出ビルマ戦線	〇〇にて小倉特派員		
1	24	1	1						敵の意表衝く我が象群部隊	上海特電		
1	24	1	1						モールメン猛爆	上海特電		
1	24	1	1						陸鷲、八機を撃墜破	〇〇特電ノ上海特電		
1	24	1	1						英の不信を痛撃 ビルマ文相國民に訴ふ	バンコック發同盟		
1	24	1	1						ビルマの蔣軍戦はず	ベルリン特電		
1	24	1	1		南方の通貨比率 早急に確定はせぬ[衆院豫算總會]							
1	24	1	2		新經濟建設方略の闡明(社説)							
1	24	1	2		南方經濟建設方策確立す 厳格な國家統制下有機的經營の長所活用							
1	24	1	2		南方既存會社の合同論表面化す 經營方案に再検討							
1	24	1	2		開発戦士は厳選 渡航者を計畫統制							
1	24	1	2		強力な統轄機關 財界、政府に新設を期待							
1	24	1	2		開発金庫の現業機關 諸銀行の役割							
1	24	1	2		技術人材を提供 財閥、國家監督下に進出[鈴木企畫院總裁答弁]							
1	24	1	3					泰大使歓迎晩餐會				
1	24	1	4		問合せは手紙で 賑ふ「東亞事情相談室」							
1	24	1	4		南方作戦と傳染病(中) 酷熱と抵抗力 ビタミンB1の効力					矢追秀武		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	25	0	1						最大要地に近迫 カウカレイ平野に進入 ビルマ戦線	ベルリン特電/ビルマ戦線〇〇發同盟/上海特電	泰軍、ビルマ作戦に協力(上)戦車隊(下)牛車兵站部隊	
1	25	0	1						陸鷲、三十五機を撃墜 ラングーン飛行場 激烈な大空中戦展開	ビルマ戦線〇〇發同盟		
1	25	0	1						戦爆功妙な作戦 陸鷲、ラングーン猛襲 詳報	リスボン發同盟		
1	25	0	1						モールメン猛爆	上海特電		
1	25	0	1		南方開発金庫 現地既存機関との関係							
1	25	1	1						カウカレイを占領 更に平地帯を猛進 ビルマ戦線	〇〇にて小倉特派員		ビルマ・タイの地図
1	25	1	1						陸鷲、四十八機撃墜破蘭印、ビルマ、シ港連爆	大本營發表		
1	25	1	1						昨日更に八機 陸鷲ラングーン連爆	〇〇基地特電		
1	25	1	1			重慶機、北部佛印を盲爆				サイゴン特電		
1	25	1	1						ビルマ獨立運動熾烈	ダウオイ發同盟		
1	25	1	2	主要食糧は自給 農相答弁 他は共榮圏内で適地適作主義								
1	25	1	2		現地の通貨を利用 発券は行はず 活動範囲は占領地域 南方開発金庫							
1	25	1	2		南方資源の状況 周東企畫院部長初めて公表							
1	25	1	2		銅、ボーキサイトに重點 南方の地下資源開發							
1	25	1	2		南方移民困難[井野農拓相発言]							
1	25	1	4		南方作戦と傳染病(下) 免疫體の産生へ ビタミンB2の効力					矢追秀武		
1	26	1	1						地雷、倒木を克服 平野戦に移る ビルマ戦線	〇〇にて小倉特派員		
1	26	1	1					泰國、米英に宣戦布告直にビルマ領へ進撃す		バンコックにて増田特派員		
1	26	1	1					宣戦布告文[对英米兩國]		バンコック發同盟		
1	26	1	1					國民の憤激に應ふ [泰、对米英宣戦布告]		バンコックにて増田特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	26	1	1					坪上大使談(泰國の對米英宣戦布告に際し)		バンコックにて増田特派員		
1	26	1	1					スイスを経て通告(泰國、對米英宣戦布告)		バンコック特電		
1	26	1	1					バンコックに敵機		バンコック特電		
1	26	1	1						蘭貢で十機屠る 陸鷲、重慶機と空中戦	〇〇基地發同盟		
1	26	1	1						ビルマ人泰國へ避難 赤道以南、ビルマに戦果 占領地の建設緒につく 陸軍綜合戦況二、ビルマ方面	バンコック特電 大本營發表		
1	26	1	1							〇〇基地にて細川特派員		
1	26	1	2	大東亞宣言の世界史的意義 下 國民總力を結集せよ 國內體制の徹底革新へ								
1	26	1	2						週間戦況 戦線赤道以南に延ぶ 泰國境を突破、ビルマにも進撃			
1	26	1	3					深山に日泰“斧の同盟” 拓く光明の新ビルマ・ルート		泰緬國境にて杉岡挺身宣傳班員		
1	26	1	3					心残りの英に放つ絶縁状 泰國の宣戦を語る		官原武雄(三井タイ室長)		
1	26	1	3	共榮圈の學生招待								
1	26	1	4		南方資源の文獻 農、鉱、林、水産の各部門(書評)					浅香末起		
1	27	0	1						敵、モールメン撤退 ビルマ戦線	リスボン發同盟		
1	27	0	1						重慶軍ビルマへ	ヴェイシー發同盟		
1	27	0	1		好成绩の軍評[衆院豫算總會]							
1	27	0	1					首相、泰の勇斷賞讃				
1	27	1	1						陸鷲、十機撃墜破 蘭貢の上空で空中戦	上海特電		
1	27	1	1						我猛攻に英軍總崩れ ビルマ戦線	上海特電		
1	27	1	1						蘭貢政府移移転 準備に着手	バンコック特電		
1	27	1	2					泰國米英に宣戦(社説)				
1	27	1	2					泰國激起の脈動を聴く 國民の敵愾心沸騰 日本と共に聖戦完遂へ		本社-盤谷國際電話(二十六日)		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	27	1	2					泰首相の感激 旭日桐花大綬章 坪上大使傳達す		バンコックにて増田特派員		
1	27	1	2					火を噴く敵機仰ぎ 夜空轟く市民の萬歳 宣戦前夜 泰國既に討英の決意		バンコックにて増田特派員		
1	27	1	2		圓と直接照合 南方の爲替決済							
1	27	1	2		邦人資本五億圓 南方開發金庫 三月に設立							
1	27	1	2		南方鑛業開發 特殊法令を制定							
1	27	1	2						油井七千を超ゆ ビルマ、ボルネオ油田の現			
1	27	1	4						ビルマの地名（南の扉）			
1	28	0	1						重慶軍續々ビルマへ	上海特電		
1	28	0	1						陸鷲、蘭貢夜間爆撃	〇〇基地にて安田特派員		
1	28	0	1	外國電信を収用 一元的統制 通相答弁 共榮圈通信対策								
1	28	1	1						敵空軍再建企圖挫く マレー、ビルマ方面 陸鷲五十機を撃墜	大本營發表		
1	28	1	1						ウエーヴェル、蘭貢へ	上海特電		
1	28	1	2		有題無題〔近世の蘭英人等の東亞諸國の蚕食のやり方〕							
1	28	1	2		漁獲高九百萬圓 南方諸海への出漁状況							
1	28	1	2		南方文化対策 民族研究所設置							
1	28	1	2		南方燐鑛石 秋肥用に輸入							
1	28	1	2		華僑の南方投資額四十億圓							
1	28	1	2		顛落へ急ぐ老英帝國 國防經濟の根幹崩る 戰略ルート欠陥を暴露							世界地図
1	28	1	3					青鉛筆〔國際佛敎協會の激励文に対する泰國ビブン首相の返書〕				
1	28	1	3						該当記事なし		ビルマ戦線で皇軍に協力する象の輸送隊 パンオン山中ジャングル地帯にて 繁田特派員撮影＝台北より電送	
1	28	1	4		現地でも訓練 拓南塾の擴充							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	28	1	4						ビルマ軍の實體(戦時雑記帳)			
1	28	1	4		開かれたる門戸 南方の言語について(上)					泉井久之助		
1	29	0	1						蘭貢を夜間猛爆 陸鷲、敵一機を撃墜	〇〇基地發同盟		
1	29	0	1						モールメン大混乱 三千の敵既に浮足	タウオイ發同盟		
1	29	0	1						ビルマ華僑大量引揚	南京特電		
1	29	0	1		管理營團で買収、保有、配給、輸入南方物資							
1	29	0	1		南方渡航者許可の順位							
1	29	0	2						滑走路に好餌十二一瞬にして撃碎 闘志失せた敵戦闘機 陸鷲の蘭貢夜間爆撃同乗記	〇〇基地にて穴倉特派員		
1	29	1	1						敵メルグイ撤退 ビルマ戦線	上海特電		
1	29	1	1						モールメンに肉薄	ベルリン發同盟		
1	29	1	1						英陣容整備に躍起	リスボン發同盟		
1	29	1	1						ラングーン連爆	リスボン發同盟		
1	29	1	1					敵機、盤谷を盲爆		バンコック特電		
1	29	1	2		勞力補給の必要上 轉廢業を積極化 渡南に訓練所も新設(商相答辯)							
1	29	1	2	共榮圈重要物資需給見通し 農相、商相から答辯								
1	29	1	2		南方建設希望者は現地除隊(衆院豫算總會)							
1	29	1	2		南方地方米作の蓬萊米轉換採らず 内外地自給自足を堅持							
1	29	1	2	東亞經濟懇談會會長に石渡氏								
1	29	1	2	東亞農業建設委員會を設置								
1	29	1	2		議會に示された南方開發の構圖 上 共榮圈の金融新秩序 推進力は南方開發金庫						開發資金供給経路(図)	
1	29	1	4		研究の秋到來 南方の言語について(下)					泉井久之助		
1	29	1	4					英兵に住民反感 泰北境の近況		バンコックにて安田特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	30	0	1						豪雨を衝き蘭貢空襲 陸鷲、敵十四機を撃墜	〇〇基地にて安田特派員		
1	30	0	1						サルウイン東岸に殺到 ビルマ戦線	上海特電		
1	30	0	1						モールメン必死の防衛	上海特電		
1	30	0	1	管理通貨採用 軍票廃止対策								
1	30	1	1						モールメンの敵浮足立つ 北上部隊も戦果を拡大 ビルマ戦線	〇〇基地特電／〇〇基地 発同盟	ビルマ戦線密林地帯を 進撃する伊藤部隊十七 日繁田特派員撮影	
1	30	1	1						三千米の高地突破	ビルマ戦線〇〇発同盟		ビルマ沿岸部地図
1	30	1	1						ビルマより印度へ 引揚六千人	上海特電		
1	30	1	1						蘭貢の爆死者千百名	上海特電		
1	30	1	1					泰國臨時議會開く		バンコック発同盟		
1	30	1	2		議會に示された南方開發の構圖 下 崇高の犠牲を生かせ 企業經營に新統制方式						開発物資の輸入経路(図)	
1	30	1	2	共榮圏の糖業經營 業界の施策方針決る								
1	30	1	3			佛印宛電信料引下げ						
1	30	1	4	我等の使命や大 大東亜建設と教育 (一)						速水滉(前京城帝大總長、現名誉教授)		
1	31	0	1						蘭貢を大舉連爆 陸鷲、空中戦で五機撃墜	〇〇基地にて安田特派員／リスボン発同盟		
1	31	0	1		本邦より物資供給 大蔵次官言明 南方インフレ対策							
1	31	1	1						アタラン河に進出 モールメン目撃の間 ビルマ戦線	〇〇基地郷特派員／バンコック特電		ビルマ・タイ地図
1	31	1	1						ラングーン連爆	上海特電		
1	31	1	2	大東亜共榮圏内では圓を決済通貨とす 國際決済は東京中心								
1	31	1	2		南方金庫法案 委員會可決							
1	31	1	2		支那棉増産に主力 併行的に南方開發 紡聯の原棉自給策決す							
1	31	1	3			ドクー佛印總督に勲章						
1	31	1	3						この道拓けば怒濤の進撃 ビルマの密林に汗と泥の先鋒隊	ビルマ國境〇〇にて福井特派員	寫眞は敵が設けた道路上の障礙物を除いて進む自動車隊=赤司特派員撮影	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
1	31	1	3						難しい地上整備 住民の指導に“言葉抜き”の悩み ビルマ睨む前線基地	ビルマ国境〇〇基地にて福井特派員		
1	31	1	4	氣宇を大にせよ 大東亜建設と教育 (二)						速水滉		
2	1	0	1						モールメン郊外で激戦 ビルマ戦線	上海特電		
2	1	1	1						モールメンの敵 退却を開始 陸鷲、敗走列車を痛爆	上海特電/〇〇基地にて郷特派員/〇〇基地にて安田特派員		
2	1	1	2	華僑の適性國向け送金禁止 賀屋蔵相答弁								
2	1	1	2		速かに民間に委託 南方地域の經濟開發 軍務局長答弁							
2	1	1	2		適地適産主義 木村陸軍次官答弁 南方經濟開發方針							
2	1	1	2	大和民族の配分を考究								
2	1	1	3					その昔は泰領 名産チークの製材に象の勞役 皇軍迫るモールメン	その昔は泰領 名産チークの製材に象の勞役 皇軍迫るモールメン		モールメンの河沿ひの港(円内)語る久我氏	
2	1	1	3	大東亜戦に留學生の氣焔								
2	1	1	3		南方佛教學會を設立							
2	1	1	4	大國民の養成へ 大東亜建設と教育 (三)						速水滉		
2	2	1	1	大東亜海と呼称 平出大佐講演 亞濠地中海を改称								
2	2	1	1						二 ビルマ方面	大本營發表		
2	2	1	1						モールメン陥落は時の問題	ビルマ前線〇〇にて佐山、小倉特派員		
2	2	1	2						週間戦況 ビルマ戦線			
2	2	1	2		日本貿易會理事杉村廣蔵氏内定							
2	2	1	2		〔日本人の南方經營〕(有題無題)							
2	2	1	3					年男にタイ國學生				
2	3	0	1						南方丘陵を占領 モールメンの死命を制す ビルマ戦線	〇〇基地發同盟		
2	3	0	1	大東亜の医療対策(鐵籜)								
2	3	1	1						モールメン完全占領 蘭貢の敵第一線崩る サルウイン西岸に急追 ビルマ戦線	大本營發表/モールメンにて松井(透)挺身宣傳班員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	3	1	1						英軍退却発表	上海特電		
2	3	1	1						豪雨を冒し果敢の進撃			ビルマ・タイ地図
2	3	1	1						ビルマ人を矢面へ 英軍常套の奸策暴露	ビルマ前線〇〇特電		
2	3	1	2					勝利促進のため参戦建設も日本の指導で泰首相、信念を吐露記者團と一問一答		バンコクにて増田特派員	ピブン泰首相	
2	3	1	2		南方対策の國論を統一 次官會議で決議							
2	3	1	3						季節よし道は坦々 ランゲーン進撃は益々快調へ お米の街モルメン		写真は(上)ビルマ戦線、ジャングル地帯を征く皇軍勇士(下)モルメン市外タウンカウン連丘上のチャイシヤンテン寺院=曾ての泰領を物語る泰風の建築	
2	3	1	4	舊秩序の撃滅へ 大東亜戦争の文化戦線							奥村喜和男	
2	4	0	1						サルウイン渡河 ビルマ戦線	上海特電		
2	4	0	2					豆撒くビ首相の令甥			写真は堀之内妙法寺の豆撒き=中央サンバツト君	
2	4	0	2					日・泰學生を交換				
2	4	1	1						サルウイン河で激戦 陸鷲、マルタバンの敗敵猛爆 ビルマ戦線	〇〇基地特電/上海特電	ムオイ河(サルウイン河支流)を渡る山本部隊(ビルマ戦線にて)一月二十日繁田特派員撮影=台北より無線口送	ビルマ・タイ地図
2	4	1	1						蘭貢、軍事的に孤立モルメン占領の意義	ビルマ前線〇〇にて佐山特派員		
2	4	1	1	英、有史以來の危局						上海特電		
2	4	1	1	占領地の軍政機関に民間から四顧問 永田、村田、砂田三氏と徳川候								
2	4	1	1	異色ある人材揃ひ 第一線に縁深い四氏の横顔[軍政顧問]								
2	4	1	1	ノックスの悲観説[米の太平洋の地位](大戦と海外)						上海特電		
2	4	1	2	現地軍政に新生面(征戦日記)								
2	4	1	2	國研[國策研究會]に大東亜調査會を設置								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	4	1	2		内地鉱山の開発 奨励を繼續 鑛石は南方とプール制 商相答辯							
2	4	1	2		商大に東亞經濟研究所							
2	4	1	2					泰、磅より完全離脱		バンコック發同盟		
2	4	1	2					在泰日本専門家の観測		バンコック發同盟		
2	4	1	3						モールメン血の攻略 入城第一報 古都を無残に要塞化 累々インド兵の死體	ビルマ・モールメンにて 兒玉、繁田兩特派員	ビルマ戦線シヤン山脈を進む報道挺身隊(繁田兩特派員撮影)	
2	4	1	3						秘境に宛ら“天狗行” しかも快速、手探りの夜襲 カウカレイ攻略の艱苦	モールメンにて兒玉特派員		
2	4	1	3						暁闇の濃霧に總攻撃 壮烈の突入戦	〇〇前線にて小倉特派員		
2	4	1	3		沸る“南への抱負” 建設戦へ 陸軍の囑託三氏							
2	4	1	4		正義日本の底力 わが戦史と今次南方作戦(一)					高柳光壽(東大史料編纂官)		
2	5	0	1						陸鷲ビルマ蹂躞 兩飛行場攻撃、五機爆碎	〇〇基地特電/上海特電		ビルマ・タイ地図
2	5	0	2						モールメン戦記 三方から閃々劍の穂波 月下の米田を押寄す 河中に總崩れの敵を掃射	モールメンにて兒玉特派員	人馬共に征くビルマ戦線バウオ山(上)岩場を進む軍馬(中)山砲擔いで進撃(下)密林で活躍する軍用犬 繁田特派員撮影	
2	5	0	2						日本軍に狂喜 ビルマ青年	モールメンにて兒玉特派員		
2	5	1	1						英軍の背後を衝く 我が精鋭、續々サルウィン渡河 ビルマ戦線	上海特電		ビルマ・タイ地図
2	5	1	1						陸鷲、トンゲー連爆	〇〇基地特電		
2	5	1	1						月下の蘭貢空襲	上海特電		
2	5	1	1						英、蘭貢の運命に焦慮	上海特電		
2	5	1	1						我が渡河の成功 敵の防衛に大痛手	ストックホルム發同盟		
2	5	1	2	現地顧問の任命(社説)								
2	5	1	2		現存機構を活用 南方開発 鈴木総裁言明す							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	5	1	2					泰國の敵愾心沸騰 空襲にも動ぜず 石井参事官帰朝談			語る石井参事官	
2	5	1	4						好もしビルマ人 皇軍に協力、治安も自發的に早や朗景のモールメン	ビルマ前線〇〇にて佐山、小倉特派員		
2	5	1	4		皇軍戦略の妙 わが戦史と今次南方作戦(二)					高柳光壽		
2	6	0	1						ビルマ各地奇襲 トングーで七機撃碎	大本營發表		
2	6	0	1						要衝パアン占領 マルタバン灣島嶼占領 ビルマ戦線	上海特電/ベルリン特電		ビルマ・タイ地図
2	6	0	1						わが奇襲上陸を恐る	リスボン發同盟		
2	6	0	1					泰國財政援助[日本より]				
2	6	0	2		これです 南から到來の砂糖						寫眞は京橋の某倉庫にて	
2	6	1	1						更に九機を撃破 陸鷲トングーを連爆	〇〇基地にて安田特派員		
2	6	1	1						蘭貢も連爆	〇〇基地にて安田特派員		
2	6	1	2	議會に映る商工行政の動向 大東亞總生産力に立脚 作戰物資の補給に高度計畫性								
2	6	1	3	敵空軍基地(戦時雜記帳)								
2	7	0	1						今曉も蘭貢大爆撃	〇〇基地發同盟	ビルマ戦線コーカレー街道を前進するわが部隊 繁田特派員撮影	
2	7	0	1						ビルマ側發表	リスボン發同盟		
2	7	0	1						蘭貢放送局爆碎さる	上海特電		
2	7	0	1						パアンで渡河成功 ビルマ戦線	リスボン發同盟		
2	7	0	2	あす東亞少國民大會								
2	7	1	1						蘭貢上空で八機撃墜 陸鷲戦闘機、大編隊で空中戦	〇〇基地にて山田特派員		
2	7	1	1						ビルマ防衛 英、蔣齟齬 不満漸く深刻化	南京發同盟		
2	7	1	1	占領地の軍政顧問に海軍、五氏委嘱 藤原、竹内、大野、山崎、藤山諸氏							海相を圍んだ五顧問(右から)山崎氏、大野氏、竹内氏、嶋田海相、藤原氏、藤山氏、口本次官=海相官邸にて	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	7	1	2		議會にみる食糧基本對策 内外地一貫自給に邁進 外米は専ら貯蔵に充當							
2	7	1	2	共榮圏の指導力 結城日銀總裁 金融界の使命強調							結城日銀總裁	
2	7	1	2		ゴム振興協議會 南方開發の具體策を協議							
2	7	1	3	大東亞記者懇親會								
2	7	1	3		固し“南への決意” 新建設へ海の囑託五氏							
2	7	1	3		拓南塾入塾者銓衡							
2	7	1	4		雄渾なる大理想 わが戦史と今次南方作戦(三)					高柳光壽		
2	7	1	4						サルウイン河(戦時雜記帳)			
2	8	0	1						マルタバン猛撃 敵陣に間斷なき砲撃 ビルマ戦線	上海特電		
2	8	0	1						陸鷲 蘭貢に大夜襲敢行 市街各所に大火災生ず	上海特電/〇〇基地發同盟/リスボン發同盟		
2	8	0	1						米、ビルマ路危機自認	リスボン發同盟		
2	8	0	1	共榮圏に棉作轉作を考慮 纖維國策の將來(岸商相答弁)								
2	8	0	2	大東亞少國民大會								
2	8	1	1						爾後の行動準備中 陸軍綜合週間戰況 二、ビルマ方面	大本營發表		
2	8	1	1						陸鷲、廿一機撃破 蘭貢空襲凄烈	〇〇基地にて安田特派員/〇〇基地にて郷特派員		
2	8	1	2		中小商工業の南方移住訓練準備の要(鈴木企畫院總裁答弁)							
2	8	1	2	海軍省顧問の委嘱(社説)								
2	8	1	2		長期戦下の食糧自給(社説)							
2	8	1	2		支那へも南方物資 外相答弁							
2	8	1	4						援蔣ビルマルート(戦時雜記帳)			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	9	1	1						陸鷲、ビルマを制圧 二機撃破、汽船二隻を撃沈	大本營発表／〇〇基地にて安田特派員		
2	9	1	1						バアン殲滅戦 盲爆の英機忽ち撃退	ビルマ〇〇にて小倉特派員		
2	9	1	2	内外地教育の綜合化急速に實現されん 中等教育改善近日中に着手								
2	9	1	2					日泰通貨關係の調整(社説)				
2	9	1	2					泰國通貨政策の轉換 過渡的な金本位制 パートの基準は圓に		バンコックにて増田特派員		
2	9	1	2					泰は頗る明朗 元泰經濟相談				
2	9	1	2						週間戦況 ビルマ方面			
2	9	1	2	[回教徒](有題無題)								
2	10	0	1						陸鷲、英蘭空軍に殲滅的痛撃 ビルマで十一機を屠る	大本營発表	ビルマ戦線・皇軍勇士を迎へる コブノ村民 繁田特派員撮影	
2	10	0	1						サルウイン河岸猛爆 けさ陸鷲、敗敵を捕捉す ビルマ戦線	上海特電／〇〇基地發同盟／〇〇基地にて安田特派員		
2	10	0	1						敵将ウエーヴェル再びビルマ戦線へ	ベルリン特電		
2	10	0	2						密林の目印に千人針(大東亞戦争點描)	〇〇基地にて特派員		
2	10	0	2						モールメンの親日色(大東亞戦争點描)	ビルマ〇〇基地特電		
2	10	0	2						獲物の豹に舌つゞみ(大東亞戦争點描)	モールメン特電		
2	10	1	2						サルウイン敵前渡河	モールメン發同盟	皇軍ビルマ平野をモールメンへ進撃 一月三十一日繁田特派員撮影	
2	10	1	2			佛印で“特別圓”使用為替局長答辯 南方通貨問題						
2	10	1	2					日・泰為替は不變				
2	11	0	1		南方物資輸送量 政府の言明を林委員長報告							
2	11	0	1		資材の補給懸念なし 米英の反攻斷じて撃砕海相言明							
2	11	0	1						英當局蘭貢市民に撤退勸告	リスボン發同盟		
2	11	1	1						マルタバン指呼 早くもベンガル灣望む ビルマ戦線	ビルマ前線〇〇發同盟		ビルマ・タイ地図

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	11	1	2	大本營には設置せず 占領地の一元的行政機 関								
2	11	1	2	大東亞戦下の紀元節 (社説)								
2	11	1	3					法華宗泰へ使節派遣				
2	11	1	3					["アジアの泰"] (青鉛 筆)				
2	12	0	1						マルタバン總攻撃 敵 早くも斷末魔の喘ぎ ビ ルマ戦線	上海特電/モールメン にて兒玉、水城兩特派 員		
2	12	0	2	共榮園公館へ國旗 世界戦局に重大影響 英帝國崩潰一步 シ港 喪失、東洋制覇空し							ブエノスアイレス今井特 派員	
2	12	1	2	資源活用の國家的力量 (社説)								
2	12	1	2						マルタバン空陸猛攻	〇〇基地にて安田特派 員		
2	12	1	2	[英帝國の東亞侵略] (有題無題)								
2	12	1	3	翼の蔭に心の糧 南の 陸鷲初の陣中雑誌							〇〇基地特電	
2	12	1	4						皇軍に全幅の信頼 モールメンに復歸の住 民達	モールメンにて兒玉、水 城兩特派員		
2	13	0	1	大東亞教育體制 確立 建議案を上程								
2	13	0	1	陸相、海軍々顧問を招 待								
2	13	0	2	文部省で留日學生を指 導								
2	13	1	1		南方進攻略遮斷 大東 亞海今や我内海化							
2	13	1	1					駐日泰大使 首相を訪 問				
2	13	1	2						サルウイン河を制壓 マルタバン占領 ビルマ 作戦第二段階へ	大本營發表/ビルマ〇 〇前線にて佐山、小倉 兩特派員/ビルマ〇〇 にて佐山、小倉兩特派 員		ビルマ・タイ地図
2	13	1	2						有力部隊、後方へ迂回 す	上海特電/ビルマ前線 〇〇にて佐山、小倉兩 特派員		
2	13	1	2	興亞教育振興 政府、 建議諒承								
2	13	1	2	[大東亞教育体制](有 題無題)								
2	13	1	3						[マルタバン](青鉛筆)			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	14	0	1	大東亜建設審議會 内閣に設置 大方策萬全期す								
2	14	1	1						激戦を再開 ビルマ戦線戦機動く	リスボン發同盟		
2	14	1	2	大東亜建設の運営(社説)								
2	14	1	2	共榮圏建設の巨歩 歴史的議會の審議終る								
2	14	1	2	練達の士を網羅 大東亜建設審議會委員三十七氏								
2	14	1	3	共榮圏公館へ國旗贈呈式							寫眞は國旗の贈呈式＝向つて右より西次官、渡邊會長、匠瑛副會長、藤岡理事	
2	14	1	3			「大東一統志」上梓						
2	14	1	4	文化工作に作品提供(芸能ニュース)								
2	14	1	4		進化論搖籃の地 東南亞細亞諸島の動物と分布①						鹿野忠雄(大鷲總督府ならびに日本拓殖協會囑託、理博)	
2	15	0	1						ビルマ共同防衛 蔣英印に成立説	ベルン(スイス)發同盟		
2	15	1	1						大膽、敵陣を横斷 マルタバン攻略戦 満潮を利し敵背へ	ビルマ〇〇にて佐山、小倉兩特派員ノモールメンにて水城特派員		
2	15	1	1						猛攻に英軍暗澹 ビルマ戦線	上海特電		
2	15	1	2	皇軍の戦果と逆封鎖(社説)								
2	15	1	2	シ港制歴後の世界情勢 樞軸の新作戦必至 米英對立次第に激化							ベルリン茂木特派員	
2	15	1	2	大東亜調査委員會結成 急ぐ 休會中の貴院								
2	15	1	2	[大東亜建設審議會](有題無題)								
2	15	1	4		親しみ易い風物 南方より歸りて①						千葉雄次郎	
2	15	1	4		二つの境界線 東南亞細亞諸島の動物と分布②						鹿野忠雄	
2	16臨	0	2						敗走列車に砲彈 敵完敗のマルタバン	マルタバンにて兒玉、水城兩特派員		
2	16	1	2	米英勢力を一擲 樞軸の世界再建を推進								
2	16	1	4	蔣政權の狼狽深刻 濠の不満募る							ブエノスアイレス今井特派員	
2	16	1	5	戦捷第一次祝賀の行事決る								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類	
2	16	1	6	新嘉坡陥落の意義 伯林駐在の両中將語る 英の崩潰に拍車 我が建設戦には筋金 坂西中將談						ベルリン特電	坂西一良陸軍中將		
2	16	1	6	覆滅せり“搾取の港” 米英逐つて“アジアの復興”へ 奥村情報局次長の放送							奥村情報局次長		
2	16	1	6	敵抗戦體制に“楔” 帝國に不拔の地位 野村中將談								野村宣邦海軍中將	
2	17	0	1						首相雄渾な國策闡明 印度獨立に援助を惜まず インドネシアの希望を尊重 ビルマ・印度に對する方策				
2	17	0	1		陸海兩相 議會で赫々の戦況報告 敵協同作戦を粉碎 陸軍 陸軍の活躍頗る活潑								
2	17	1	1		皇軍の眞意早くも南方諸地域に結實 我軍次期戦備へ精進 南方派遣軍報道部長談					〇〇特電			
2	17	1	1					東條聲明に泰國共鳴		バンコックにて増田特派員			
2	17	1	1						英防備線を突破 マルタバン西方に猛進 ビルマ戦線	上海特電			
2	17	1	1						マルタバン灣東海岸爭奪	上海特電			
2	17	1	2		議會に於る首相の聲明(社説)								
2	17	1	2						重慶への信頼揺ぐ 聖戦完遂 邁進あるのみ [ビルマルート]	上海特電			
2	17	1	2	東亞建設に巨歩 國府慶祝						南京特電			
2	17	1	2						[シ港攻略とインド、ビルマ](有題無題)				
2	17	1	4		南方諸國へニュース映畫(芸能ニュース)								
2	17	1	4		一夜に明朗化 南方より歸りて(二)						千葉雄次郎		
2	17	1	4		境界線の統一へ 東南亞細亞諸島の動物と分布③						鹿野忠雄		
2	18	0	1	ダフ・クーパー淋しく歸英す							ストックホルム特電		
2	18	0	1						蘭貢は大混亂 市民は半数以下に激減	上海特電			
2	18	0	1						サルウイン河の戦果	ビルマ前線〇〇特電			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類	
2	18	0	2	あす堰を切る大東亜戦 祝捷の奔流 民一億歸 揃へて萬歳 首相の放 送に唱和									
2	18	1	1	大和民族不撓の精神 大御稜威の下に凝集 豪壯無比の作戦展開									
2	18	1	1						ビルマ英軍總退却 サ ルウイン河を放棄す	ベルリン特電			
2	18	1	2	第一次祝賀國民大會 (社説)									
2	18	1	2	澎湃、東亜再建の潮 解放を公約する帝國の 友情に 南の兄弟蹶起 つ									
2	18	1	2					親日色彩強化 泰内閣 の改造		バンコクにて増田特 派員			
2	18	1	2						当該記事ナシ		マルタバン高地占領 バゴダの塔を背景に戦 友の遺骨を抱き萬歳を 叫ぶ 繁田特派員撮 影・台北電送		
2	18	1	3	謳へ大戦果・けふ“萬歳 の日”									
2	18	1	4	“食糧依存は禁物” 井 野農相、シ島陥落の感 激放送									
2	18	1	4	大捷(短歌)						吉植庄亮			
2	18	1	4		熱帯果實とビタミン①					山本亮(理研所員)			
2	18	1	4		東亜の新理念 南方よ り歸りて(三)					千葉雄次郎			
2	19	0	1	大東亜建設・一億の慶 祝 けふ戦捷第一次祝 賀の感激									
2	19	0	1	盟邦も共に慶祝 首 相、各國首脳と祝電交 換									
2	19	0	1	首相が高らかに音頭 天皇陛下萬歳を奉唱 國擧る陸海軍への感謝							東條首相の萬歳奉唱 首相官邸で		
2	19	0	1						“皇軍殺到”に蘭貢混亂 サルウイン西方既に卅 五キロ	上海特電／ベルリン特 電			
2	19	0	2	“この萬歳”全世界も聞 け 一億の歡喜と感謝 けふぞ爆發								沸き立つ帝都の感激 (上)銀座○張町の「正 午の萬歳」(中左)陸軍 省に殺到した民衆の歡 呼(中右)海軍省に繰込 んだ學生の萬歳(下)銀 座をゆく○樂更新	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類	
2	19	1	1	聖上・民草に御會釋 畏し二重橋に臨御 皇 太子殿下にも御出まし							二重橋上より畏くも御會 釋を賜ふ天皇陛下		
2	19	1	1	感涙に頬光らせて 莊 嚴なる「君が代」宮城 前に赤誠の奉唱									
2	19	1	2	光榮ある建設へ 戦捷 第一次祝賀國民大會 聖戦未だ第一歩 不敗 の態勢更に強化 首相 演説								新嘉坡占領の歴史的 第一報(上)シ島に敵の鐵 條網を破つて上陸した 我〇〇部隊-九日折井 特派員撮影(下)鐵舟を 捨てシ島に躍り上る 精銳-九日木村特派員 撮影(現地西貢間本社 機空輸・西貢福岡間特 別空輸・福岡電送)	
2	19	1	2	更に進攻策あり 子孫 の代まで戦ひ抜く 太 平陸軍報道部長講演要 旨								太平洋陸軍報道部長 (演説写真)	
2	19	1	2	愉安を望む勿れ 印度 洋の制壓遠からず 平 出海軍報道課長講演要 旨								平出海軍報道課長(演 説写真)	
2	19	1	2						ビルマ兩要衝サトンピリ ン占領	ビルマ〇〇にて佐山、 小倉兩特派員			
2	19	1	3	國民大會 征旅萬里の 偉業に感謝 五萬會 衆、拍手裡に決議す									
2	20	0	1	せいどイゲリラ戦 打つ 手なし 米英次期作戦							ブエノスアイレス今井特 派員		
2	20	0	1						皇軍攻撃を強化 英軍 のビルマ河撤退重大影 響 ビルマ戦線	ベルン(スイス)發同盟			
2	20	0	1						蘭貢全市民へ避難命令 出づ	上海發同盟			
2	20	1	2		南方文化政策と教育 (社説)								
2	20	1	2						ビルマ河を渡河 ビルマ 戦線	上海特電/ビルマ前線 〇〇發同盟			
2	20	1	2						キケート地区で激戦展 開	上海特電		ビルマ・タイ地図	
2	20	1	2						ビルマ猛爆 北邊の二 要衝へ巨弾	〇〇基地にて安田特派 員			
2	20	1	2					チエンマイに敵機		バンコック發同盟			
2	20	1	3						ビルマ國境百廿キロ 峻山貫く兵站線 岩石 を砕き“血の建設”	ビルマ前線〇〇にて上 西特派員			
2	20	1	4						通譯“太郎君”ビルマ の少年	モールメンにて			
2	21	0	1						ビルマ路廢棄聲明	上海發同盟			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	21	0	1						敵施設・貨車群爆碎 陸鷲・マンダレー、ピン マナを痛撃	ビルマ前線〇〇基地本 社特電		
2	21	0	1						シツタン河に肉薄 肉弾 戦でキケート攻略 ビル マ戦線	上海特電		
2	21	0	1						暗夜急湍を渡河 外賀 部隊工兵の苦心	ビルマ前線〇〇發同盟		
2	21	0	1	廿七日に初總會 大東 亜建設審議會								
2	21	0	2						我が荒鷲の猛爆に先を 争つて避難 燈の消え た變貌蘭貢	モールメンにて兒玉、繁 田特派員		
2	21	1	1						機械化部隊を殲滅 ビ ルマ戦線	ビルマ〇〇にて佐山、 小倉兩特派員		
2	21	1	1	ビルマか蘭印か 太平 洋作戦會議支離滅裂						上海特電		
2	21	1	2		南方軍政事務囑託 陸 軍、九氏を現地へ派遣					陸軍省發表	元内務次官大達重雄、 前鳥取縣知事八田三 郎、前福井縣知事久保 田駿、元秋田縣知事菊 池慎三、前新潟縣總務 部長久慈學、陸軍中將 片山省太郎、陸軍小將 伊丹政吉、陸軍小將助 川靜二、陸軍小將砂川 泰	
2	21	1	2	大東亜建設審議會官制 公布								
2	21	1	2	華僑対策の重要性(社 説)								
2	21	1	2	大東亜建設資料 統制 會より提出 官廳の計 畫と調整期す								
2	21	1	2	貴院大東亜調査委員會 組織決定す								
2	21	1	2						ビルマもマレーの轍 英 紙悲觀的見通し	ベルリン特電		
2	21	1	2						滇緬路延命策し 更に 新路線も設定 蔣訪印 の底意	南京特電		
2	21	1	4	感激と飛躍の基 富永 外軍少佐 戦ふ「報道 班」を讃ふ						大本營海軍報道部富永 謙吾少佐		
2	21	1	4		米英色の漂白 南方よ り歸りて(四)					千葉雄次郎		
2	22	0	1	建設的人物概要(鐵 筆)						安藤健一		
2	22	0	2						森に迷ひ河を横切り 辿り着けば出發後 軍 靴追つて東ビルマを行 く	ビルマ戦線ナブーにて 福井特派員	ビルマの我が占領地區 を宣撫して廻る目崎准 尉一行 福井特派員撮 影	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	22	1	2	結論の出ない作戦會議 (社説)								
2	22	1	2				泰佛印国境へ畫定委員 出發			サイゴン發同盟		
2	22	1	3			ハノイ印度人會結成				ハノイ特電		
2	22	1	4		熱帯果實とビタミン③					山本亮		
2	22	1	4		重要な文化工作 南方 より歸りて(五)					千葉雄次郎		
2	23	1	1						ビルマの皇軍に住民の 協力	ビルマ前線にて佐山特 派員		
2	23	1	1			芳澤大使近く打合せに 歸朝				ハノイ發同盟		
2	23	1	1					坪上大使近く歸國		バンコック特電		
2	23	1	2	“日本不敗の地位に” 重慶各紙一齊に告白						廣東特電		
2	23	1	2						輸送ばつたり杜絶 ビ ルマ路閉鎖に蔣狼狽	廣東特電		
2	23	1	2						該当記事ナン		我が猛爆に炎上するサ ルウィン河左岸の敵陣 ビルマ戦線 福井特派 員撮影	
2	23	1	3					救はれて泣く 泰國人 三百 日の丸の街に行 進		昭南港にて大立特派員		
2	23	1	4	大南洋の蜚						岸田久吉		
2	23	1	4					南方書短評 “タイ國 史” “蘭印統計書”(書 評)				
2	24	0	1						米英蘭の三十九機を撃 碎 陸鷲、蘭印ビルマを 制壓す	大本營發表	陸鷲の猛爆に懼伏する カリジヤチ飛行場	
2	24	0	1			芳澤大使泰へ				サイゴン發同盟		
2	24	0	1	大東亞日附線(鐵帶)								
2	24	0	2						微笑と踊り 皇軍もてな すビルマ	ビルマ、モールメンにて 兒玉、水城、繁田特派 員	平和還るモールメン 皇 軍勇士を慰める舞踊＝ 進藤特派員撮影	
2	24	0	2						“佛塔”に薫る信仰心 蘭真語る 吉田父子彩 管行		吉田遠志畫伯の「ラン グーン金塔」(絵)	
2	24	1	2		皇威更に南方に展ぶ (社説)							
2	24	1	2						前ビルマ首相何處へ (大戦と海外)	ストックホルム發同盟		
2	24	1	3	“海外同胞訓”を制定								
2	24	1	4		熱帯地方の特性 規則 正しい變化 南方圏の 氣候①					荒川秀俊(中央气象台 技師、理博)		
2	25	0	1						蘭貢の英官廳移轉	ベルリン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	25	0	1		南方開発金庫法 三月一日実施							
2	25	0	1			芳澤大使サイゴンへ				ハノイ發同盟		
2	25	1	1					英、タイ國名使用禁止		リスボン特電		
2	25	1	3						鐵牛の窓に映る 親日ビルマ 灯消して“歡迎の鐘” 大民舟が渡河に協力	ビルマ戦線〇〇にて上西特派員	ビルマの峻嶒に道路を拓く工兵部隊	
2	25	1	4	建てよ・東亜の金字塔 戦争完遂講演會 英の“鐵柵”兩斷 百年戦争も我辭せず 平櫛少佐								戦友の英軍抱いて昭南市に入城する鐵牛部隊 杉本特派員撮影
2	25	1	4	固し・陸海の協力 支離滅裂の敵據點 田代中佐								
2	25	1	4		住み馴れれば 快適な熱帯生活 南方圏の氣候②					荒川秀俊		
2	26	1	1	貴院大東亜調査委員								
2	26	1	4	展かれた斬新性 新東亜の創造 (一)						幣原坦(台北帝大名譽教授・文博)		
2	26	1	4		馴化力が強い 我等日本人の體質 南方圏氣候 ③					荒川秀俊		
2	27	0	1			佛印は日本に協力 芳澤大使、記者團に語る				サイゴンにて粕谷特派員		
2	27	0	2						生死越えて単機征く “空の血達磨斥候” 敵包圍に屈せぬ電鍵 ビルマ戦線	〇〇基地にて宍倉特派員	中谷健貞中尉	
2	27	1	1	“共榮圏の基礎成る”協力會議閉會に際し聖戦完遂の決議							寫眞 後藤議長發聲で一同の萬歳	
2	27	1	2	建設審議會に望む(社説)								
2	27	1	4		優れた發展性 南方と日本人の身體的特性①					石川知福(厚生科學研究所教授、鑿博)		
2	27	1	4	特異なる數事例 新東亜の創造 (二)						幣原坦		
2	28	0	1						三十四機を撃墜破す 陸鷲、ビルマ敵基地へ空襲	大本營發表		
2	28	0	1						蘭貢、マンダレー連絡絶つ	リスボン發同盟		
2	28	1	1					泰國内閣補強 經濟國防關係陣容を強化		バンコック發同盟		
2	28	1	1	朝野一體、熱意を傾注 大東亜建設審議會の初總會								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
2	28	1	3					日泰交換放送始る				
2	28	1	4		馴化性に一示唆 南方 と日本人の身体的特性 ②					石川知福		
2	28	1	4	道義に基く戦 新東亜 の創造 (三)						幣原坦		
3	1	0	1	ポパム大将歸英す						上海特電		
3	1	0	1	ウエーヴェル更迭か						ストックホルム發同盟		
3	1	0	2						突き破る“敵機の垣根” 噴火山と化した紅蓮の 飛行場 輝く蘭貢大空 襲に同乗	〇〇基地にて穴倉特派 員	写真はビルマ戦線〇〇 基地にて爆口の準備 に忙殺される陸鷺整備 員	
3	1	1	1						戦果擴大、次期作戦へ 二、ビルマ方面	大本營發表		
3	1	1	1						ビルマ、ジャバ 命旦夕 英の憂慮増大	チューリツヒ特電		
3	1	1	4		科學的研究の要 南方 と日本人の身体的特性 ③					石川知福		
3	1	1	4	輝かしい發足 新東亜 の創造 (四)						幣原坦		
3	2	1	1						蘭貢で英四機撃墜 焦 土戦術にビルマ民衆憤 激	上海特電		
3	2	1	1						蔣軍の斷末魔 わがビ ルマ進撃	〇〇基地特電		
3	2	1	2	大東亜思想戦と宣傳隊 (社説)								
3	2	1	4		南方經營の鍵 民族發 展と居住様式					石原憲治(住宅營團調 査課長)		
3	2	1	4	「東洋言語學の建設」 中島利一郎著(書評)						嘉治隆一		
3	3	0	1		南方指導の理念(鐵 箒)					佐々木牛		
3	3	1	3						叫ぶ女性「英打つべし」 山深き部落の親日 ビ ルマ第一線を征く	ビルマ〇〇河東方にて 福井特派員	ビルマの稜隙を突破す る皇軍 上西特派員撮 影	
3	3	1	4	統一ある大構想 新東 亜の創造 ⑤						幣原坦		
3	4	0	1					坪上大使ビュン首相と 要談		バンコック増田特派員		
3	4	0	2						“精銳”とは噂ばかり 名前も書けぬヨークン ヤー兵	ビルマ前線〇〇にて兒 玉、繁田兩特派員		
3	4	1	2			日本の物資待望 芳澤 大使佛印の近況を語る				台北電話		
3	4	1	3						ビルマ在留の邦人北部 へ移送か	ビルマ〇〇發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	5	0	2						”尊大な主人”へ報復 村人が敗残兵狩 ビル マ強き日本に歓呼	ビルマ戦線〇〇にて相 長特派員		
3	5	0	2						人柱埋めて拓く難路 新ビルマ路百七十キロ を突破	モールメンにて佐山、小 倉兩特派員		
3	5	1	1						撃墜寸前・よるめく敵機 陸鷲ラングーン飛行場 晝間爆撃		穴倉特派員撮影	
3	5	1	1						蘭貢政府移轉 市民の 過半も撤退す	ヴィシー發同盟		
3	5	1	1						モールメン再建進捗	モールメン特電		
3	5	1	1	濠、蘭印見捨てらる 英 の卑劣、敵作戦分裂す						ベルリン特電／ブエノス アイレス特電		
3	5	1	2			大使府の基礎確立へ 歸京の芳澤大使語る						
3	5	1	3						地上十米砂塵の中に 敵四機を押潰す 前代 未聞の低空々々中戦	ビルマ前線〇〇にて穴 倉特派員		
3	5	1	3	現地へ十六畫伯 大東 亜戦の記録畫制作								
3	5	1	4		種類が多い 南洋の蛇 ①					堀川安(大鸞総督府科 學博物館動物主任)		
3	6	1	1		南方總作戦の一翼 印 度防衛に狂奔の英空軍 破催 ビルマ戦線・陸鷲 の戦果				南方總作戦の一翼 印 度防衛に狂奔の英空軍 破催 ビルマ戦線・陸鷲 の戦果		陸鷲・サルウイン河敵 前渡河點對岸の敵陣爆 撃(ビルマ戦線)穴倉特 派員撮影	
3	6	1	1						ラングーン市 民續々 避難	ベルン(スイス)發同盟		
3	6	1	2			對米英感情を激化 佛 印人心に衝撃 英機の パリ盲爆撃				サイゴン特電		
3	6	1	4		漁場の總面積 實に數 百萬平方哩 南方の水 産物①					東秀雄(水産試験場技 師)		
3	6	1	4		樹上・水中にも 南洋の 蛇②					堀川安		
3	7	0	1						ウエーヴェル、蔣會見	リスボン發同盟		
3	7	0	2						英兵避けて休養 自決 させぬビルマ人	ビルマ〇〇にて松井挺 身宣傳班員		
3	7	1	2						敵船四隻を撃破 イラ ワジ河陸鷲の好餌	ビルマ〇〇基地特電		
3	7	1	2					坪上大使、ピブン首相 と會見 經濟問題懇談		バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	7	1	2	有力基地既に無く 戦局愈々英に非 英海軍大佐 欺瞞的樂觀を反駁						ベルリン特電		
3	7	1	4	學者同士の講演會								
3	7	1	4		再検討を要す 現地固有の處理法 南方の水産物②					東秀雄		
3	7	1	4		毒のある種類 南洋の蛇③					堀川安		
3	8	0	1	軍政囑託員の待遇確定 けふ勅令公布								
3	8	1	1					泰内閣總辭職		バンコックにて増田特派員		
3	8	1	2						ビルマ覺醒の秋 平櫛陸軍少佐の講演			
3	8	1	2		侍従武官を御差遣 南方の將兵聖旨に感激						マニラで聖旨傳達の山縣侍従次官(陸軍省檢閲濟)	
3	8	1	4	相ともに繁榮へ 大東亜共榮圈建設の理念(一)						羽田 亨(京大總長・文博)		
3	8	1	4		魚類副産物から重要なビタミン 南方の水産物③					東秀雄		
3	9	1	1					ピブン泰首相再組閣		バンコック特電／政府聲明		
3	10	0	1						ラングーン陥落す 援蔣路の完全遮断成る ビルマ作戦の主目的を達成	大本營發表		ビルマ周辺地図
3	10	0	1						重慶政權の死命を制す	ビルマ〇〇前線にて佐山、小倉、水城三特派員		
3	10	0	1						蘭貢市街に日章旗燦!	ビルマ前線にて佐山、小倉兩特派員		
3	10	0	1						ペグー占領	ビルマ前線にて佐山、小倉、水城特派員		
3	10	0	1						飯田中將 ビルマ方面陸軍最高指揮官	大本營發表	寫眞は飯田中將	
3	10	0	1						ビルマ第一の商業都市 援蔣路の起點・蘭貢			
3	10	0	1						ミンガラドン占領 ビルマ最大の飛行基地	ビルマ前線にて佐山、小倉兩特派員		
3	10	0	1						バヤジ攻略 蘭貢防衛據點	ビルマ前線〇〇にて佐山、小倉、水城特派員		
3	10	0	1						シツタン河以東を掃蕩	ビルマ〇〇前線、佐山、水城兩特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	10	0	1						月明下敵前渡河 濁流のシツタン河横断	ビルマ前線にて佐山特派員		
3	10	0	1						印度攻略の據點確保 ランゲーン攻略の意義 英の反攻企圖完封			
3	10	0	1						泰ビルマ間道路完成	ビルマ前線〇〇發同盟		
3	10	0	2						蘭貢なくて緬甸なし 綠樹茂る水邊の暑き近代都市		上 ランゲーンの中樞部バー街 下 シュエダゴン・パゴダ	
3	10	0	2						“日の丸”に蘇る掠奪街 眼前・援蔣輸血の殘骸 蘭貢入城	ランゲーン北部にて佐山、小倉特派員	東ビルマ平原の住民・僧侶たちと公〇する勇士 福井特派員撮影	
3	10	0	2						シツタン河畔 轟く武勇傳 敵隊長に鐵拳一撃 膽冷す“榮光聯隊” 四勇士七百名生捕り	シツタン河畔にて繁田特派員		
3	10	0	2						蘭貢陥落に泰國沸く	バンコック特電		
3	10	0	2						血の“武装解除”卑怯・狙撃の敵兵投降	シツタン河畔にて繁田特派員		
3	10	0	2						温厚にして果斷 覆面ぬいだ飯田中將			
3	10	0	2						抗戰重慶に致命傷 ビルマ路遮断の意義重大			
3	10	1	1						ビルマ司令官罷免	リスボン發同盟		
3	10	1	1	包圍陣今や我據點								
3	10	1	1						蘭貢北方へ急追	ビルマ前線にて佐山、小倉兩特派員		
3	10	1	1						空爆下敢然と協力 ビルマ獨立義勇軍の活躍	ランゲーン北郊にて佐山、小倉兩特派員		
3	10	1	1						撃墜破三百七十 陸鷲ビルマ空戰の戰果			
3	10	1	2	米、輿論緩和に躍起 印度に手を焼く英							ブエノス-東京國際電話	
3	10	1	2						印度兵もろ共 橋梁爆破 英兵の殘忍	ビルマ〇〇發同盟		
3	10	1	4	太平洋に挙る凱歌 英靈も喜ばんこの大戦果								太平洋の日本占領地地図
3	11	0	1			共榮圈各地の陸軍記念日 佛印				ハノイ特電		
3	11	0	1						ビルマ總督逃亡 印度まで落延びる	ベルリン特電		
3	11	0	2						黒煙下・埠頭は燒野原 ミンガラドン飛行場一番乗り	ランゲーンにて宍倉特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	11	0	2						退路に必殺砲火 佛都 ベグーの殲滅戦	ベグーにて佐山、小 倉、水城、兒玉四特派 員	佛都ベグー郊外の大塚 佛	
3	11	0	2						ビルマ戦線座談會 飛 乗つて“敵首”を刎る 「魂」なく戦車に大和魂 の體當り	ビルマ前線〇〇にて上 西特派員		
3	11	1	1		戦争遂行力の擴充に 中小商工業を再編成 政府の基本方針決定 積極的に轉換促進 企 畫院に委員會設置 情 報局發表							
3	11	1	2		南方農、水産政策に民 間を協力せしめよ 南 方農林水産協議會建議							
3	11	1	2		資源調査團派遣 南方 占領諸地域へ							
3	11	1	2					濠、泰に宣戦		リスボン發同盟		
3	11	1	2					泰内閣の改造成る		バンコック特電		
3	11	1	4	米・英・蘭を驅逐して わが子に 大東亞更新						百田宗治 土岐善磨		
3	11	1	4	新天地の創成へ 大東 亞戦争完遂のために 上						山田文雄(太平洋協會 調査部長)		
3	11	1	4	光輝ある使命 大東亞 共榮圈建設の理念 (二)						羽田 亨		
3	12	1	1	英、狂態の攻勢論						ストックホルムにて渡邊 特派員	我が爆撃で炎上した敵 のトラック群 ビルマ戦 線〇〇驛附近にて 繁 田特派員撮影	
3	12	1	1			芳澤大使首相に報告						
3	12	1	2		新たな資源作戦へ 南 方確保の經濟的意義							
3	12	1	2	[大東亞建設工作](有 題無題)								
3	12	1	2		南方圈用語の問題(社 説)							
3	12	1	2						事變解決に邁進 支那 派遣軍總參謀長談	南京發同盟		
3	12	1	2						滇緬路に替る道なし 瑞典探検家へ氏語る	ベルリン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	12	1	3						早や復興の兆 灰燼の援蔣トラック千余台 皇軍占領下の蘭貢	ランゲーンにて水城特派員	ビルマ戦線の凱歌(上) 敵の破壊した〇〇河鐵橋(中)シツタン先陣渡河の三勇士(右から二人目岸本兵長、三人目甲村曹長、左端阿部少尉)と一部隊長(下) 〇〇河會戦に奮戦した部隊の皇居遙拜式 福井、繁田両特派員撮影	
3	12	1	4	戦捷第二次祝賀に際して 欣然・肅然 勝つて驕らず、悦んで愈懐む						幸田露伴		
3	12	1	4	伸びゆく国力(短歌)						逗子八郎		
3	12	1	4	不屈の精神力 大東亜戦争完遂の爲に(中)						山田文雄		
3	13	0	1						ジャバ、ビルマを席卷 俘虜・鹵獲品莫大 蘭印資源は殆ど無事 陸相戦況報告			
3	13	1	1						英印軍續々退却す 印度總督、民衆の抗戦を要請 蔣、英通謀す	上海特電		
3	13	1	1	濠を據點に敗戦挽回 米英、豫防線つきの「攻勢論」						ベルリン特電		
3	13	1	2	大戦果“必勝の信念” いまぞ立つ全アジア 谷萩大佐講演								
3	13	1	2	[ワン・リンスコーテン] (有題無題)								
3	13	1	4	國民文化向上へ 聖戦完遂と博物館の建設						今關六也(東京科学博物館學藝員)		
3	13	1	4	われ等の責務 大東亜戦争完遂の爲に 下						山田文雄		
3	14	0	1						各自、勝手に退却 ビルマ聯合軍全く混亂	上海特電	ビルマ戦線・〇〇河右岸の敵情を視る 福井特派員撮影	
3	14	1	2	重慶に止めの一刀(社説)								
3	14	1	2	黄禍論は米英の愚劣な宣傳 ム首相指摘						ローマ特電		
3	14	1	2	東亞經濟懇談會新理事五名決定								
3	14	1	3						ビルマ作戦を語る 本社特派員座談會(上) “満點”のビルマ人秘書 案外一流品のない援蔣物資	ランゲーン特電 小倉、兒玉、繁田、水城、福井、上西、穴倉、島崎、福谷特派員	寫真はモールメンに到着したビルマ義勇軍	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	14	1	4						魂の極楽浄土 佛教の國・ビルマについて(上)	古川慈良(大正大學講師)		
3	15	0	1						ビルマ英軍司令部移轉	リスボン發同盟		
3	15	0	2						制服脱ぎ狂亂の放火 怯えた英兵印度へ邦人移送 蘭貢獄窓に視る 最期 親日ビルマ人の話	ランゲーンにて上西、福井、兒玉三特派員		
3	15	1	1		南方共榮圈を建設する人々 絢爛たる巨星の布陣 逞しき實踐力に期待						寫眞＝右上から寺内大將、塚田中將、今村中將、永田氏、村田氏、大峯氏、徳川侯、藤山氏、左上から山本大將、新見中將、山下中將、酒井中將、藤原氏、砂田氏、竹内氏、大野氏	
3	15	1	2						民衆抑壓に汲々 ビルマ戦線 敗戦英人の苦惱	ランゲーンにて福井特派員		
3	15	1	2		南方政策の確立へ 拓務省に臨時拓殖研究部新設							
3	15	1	2					泰、新政綱を決定		バンコック特電		
3	15	1	3						ビルマ作戦を語る 本社特派員座談會(下) 意表にでた“山岳突破” 拾ひ切れぬほど遺棄自動車	小倉、兒玉、繁田、水城、福井、上西、宍倉、島崎、福谷特派員		
3	15	1	4						強い民族精神 佛教の國・ビルマについて(下)	古川慈良		
3	15	1	4		ジャガイモ詮議(學界余滴)					野口彌吉(東大教授、農博)		
3	15	1	4		大地へ根を下せ 南方經綸への警告①					宮島幹之助(北里研究所副所長、慶大教授、醫博)		
3	16	1	1						ビルマ敗敵猛爆 重戦車、列車風潰し	ビルマ前線〇〇基地にて宍倉特派員		
3	16	1	2						新ビルマ路は夢 天嶮に猿群の妨害 ドイツ側の傳ふる情報	ベルリン特電		
3	16	1	3		南方藝能協會發會							
3	16	1	4		民族衛生の問題 南方經綸への警告②					宮島幹之助		
3	17	1	1		道義の軍政を展開 南方建設順調に進む							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	17	1	2						壓制三百年英の印度侵略史 残虐の完全なる標本 教育の代りに飲酒・阿片 ビルマ人の覺醒			
3	17	1	2					戦時態勢強化 泰内閣の新政策	バンコックにて増田特派員			
3	17	1	3	打建つ“東亞醫學會” 歐米依存を脱し共榮圏に新發足								
3	17	1	4		最も有効な武器 南方の文化工作と音楽					堀内敬三		
3	17	1	4		血統と子女教育 南方經綸への警告③					宮島幹之助		
3	18	1	1	英東亞屬領供給會議解體か						リスボン發同盟		
3	18	1	1		國家總力の大進軍 南方軍政建設の人々							
3	18	1	1	陸軍軍政陣容を完備 三顧問・五司政長官を追加 多彩の人材起用							顔合せの南方軍政首腦 前列左より櫻井氏・杉山參謀總長・兒玉伯木村次官・林氏・大塚氏・後列左より杉田氏・千田氏・北島氏・武藤軍務局長(円内は郡司氏)	
3	18	1	2	大東亞建設に勇躍 陸軍軍政三顧問、五司政長官略歴								
3	18	1	2		南方開發金庫設立委員							
3	18	1	2						重慶の物資窮乏	上海特電	ラングーンに山なす援蔣物資の殘骸(下)夕陽沈むワオ附近警備の皇軍勇士 繁田特派員撮影=現地東京間特別空輸=	
3	18	1	3						虚を衝く“血の楔” 倒れ・躓き・誘き寄す間道戦 おゝ蘭貢陥つ・涙の凱歌 先遣隊の苦闘記	ラングーンにて上西特派員	敵の焦土戰術に燃えるラングーンの繁華街タロギー・ロード 繁田特派員撮影=現地東京間特別空輸	
3	18	1	3		捧げん“南の知識” 司政長官に經濟人二氏							
3	19	0	1	マツクアーサー遂に濠州へ遁走す 聯合軍司令官に就任						ベルリン特電	マツクアーサー	
3	19	1	1	大東亞建設座談會① 寶庫確保成れり 不敗態勢の基礎は全し 鮮か二大海戰の先制								座談會の写真/坪出英夫大佐(顔写真)/岡田菊二郎大佐(顔写真)/出席者一覽
3	19	1	2					在泰日本人貿易會發足		バンコック特電		
3	19	1	2		南洋興發が南貿を合併							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	20	0	1	1 聯合軍司令部設置						リスボン發同盟		
3	20	0	1					泰國軍強化		バンコックにて増田特派員		
3	20	1	1	大東亜建設座談會 本社主催② 船が沈めば英も沈没 粘りは米國の方が弱い								蠟山政道氏(顔写真) / 出席者一覧
3	20	1	3		南方へ「日本語早分り」							
3	20	1	3		南方から砂糖や石炭 来た銃後へ“戦捷の寶船”						(上)續々東京に入る石炭(下)南から来た砂糖	
3	20	1	4	重要な“心の糧” 大東亜共榮圈の建設と藝能(一)						河竹繁俊(早稲田演劇博物館長)		
3	20	1	4		南方の動物① 猩々					福田三郎(上野動物園長代理)		
3	21	0	2						佛教の都・蘭貢に解放の叫び高し 街に歌聲「愛國行進曲」若き血沸る日本名持つ義勇軍	ラングーンにて兒玉特派員	寫眞は〇〇部隊のラングーン入城式 シューエ・ダゴン・パゴダ附近にて繁田特派員撮影	
3	21	1	2	大東亜建設座談會 本社主催③ 撃滅一路に護れ提携 樞軸共同の目的へ突貫								芳澤氏(顔写真) / 出席者一覧
3	21	1	3	學生に「大東亜講座」								
3	21	1	4		南方へ化學稀元素調査團							
3	21	1	4		南方の動物② 手長猿					福田三郎		
3	21	1	4	指導精神の確立 大東亜共榮圈の建設と藝能(二)						河竹繁俊		
3	21	1	4						沈む船に置く 鬼畜の英船長 ビルマ人・救はれて痛憤	〇〇基地にて犬石特派員(海軍報道班員)		
3	22	1	1	大東亜建設座談會 本社主催④ 起ち上らせる指導 共榮圈にはこれが大切								久原房之助氏(顔写真) / 出席者一覧
3	22	1	2	米英の兵力、今や二分 聯合軍の反撃畫策空し								
3	22	1	3		南に旅行社出張所							
3	22	1	3					日本刀鍛錬に感嘆〔中華、泰兩國大使〕				
3	22	1	4	蒐集・保存の要 大東亜共榮圈の建設と藝能(三)						河竹繁俊		
3	22	1	4		南方の動物③ 馬來の虎					福田三郎		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	23	1	1	大東亜建設座談會 本社主催⑤ 国防資源獲得の軍政 帝國の死活この一線に								出席者一覧
3	23	1	2					緒戦の大戦果が、泰國の外交に断 二見公使談 日泰外交の苦心			二見公使	
3	23	1	2		南方石油と有機工業(社説)							
3	23	1	2						該当記事ナシ		朝露を衝いて進撃 ラングーン北方高地に進出した坂本部隊(上西特派員撮影)	
3	23	1	4		南方の動物④ 象					福田三郎		
3	24	0	1					坪上大使近く歸朝		バンコック特電		
3	24	0	1						儂なし新援蔣路 重慶軍引出しの“空餌”	ラングーンにて兒玉、相良兩特派員		
3	24	1	1	大東亜建設座談會 本社主催⑥ 産業の配分が肝要だ 南方だけに頼りきるな								中山伊知郎氏(顔写真)ノ出席者一覧
3	24	1	2			南方基地“佛印”の現状わが真意の徹底へ 佛人の理解未だし				サイゴンにて福永特派員		
3	24	1	3	電波も米英撃滅 世界に誇る海外放送								
3	24	1	3		拓南クラブ會長決る							
3	24	1	4		海岸の植物群 マングローブ①					小倉謙(東大教授、理博)		
3	24	1	4	戦争は正に建設 大東亜共榮圏と自然科学①						宮川米次(東大教授、同仁會副會長、日本醫學會副會頭)		
3	25	0	1		南方開發・戦時金融 両金庫總裁内定 小倉・佐々木兩氏を起用						上 小倉正恒氏 下 佐々木謙一郎氏(顔写真)	
3	25	1	1	議會あす開院式 大東亜建設の歴史的役割果たす								
3	25	1	2		經聯、南方産業立地を調査 特別委員會を設置							
3	25	1	3		南方研究の殿堂 帝都に大東亜俱樂部							
3	25	1	4	奇妙な“呼吸根” マングローブ②						小倉謙		
3	25	1	4	南方への建設力 大東亜共榮圏と自然科学②						宮川米次		
3	26	0	1						サイプラス島の英軍 ビルマ國境の防備へ	アンカラ特電		サイプラス島周辺地図
3	26	0	1				畫定専門委員現地へ			サイゴン發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	26	0	2						ビルマ攻略報告講演會 (社告)			
3	26	1	1	大東亜建設座談會 本 社主催⑦ 航空工業の 大飛躍へ 制壓せよ米 英の生産力								出席者一覧
3	26	1	1					坪上大使、泰首相と懇 談		バンコック特電		
3	26	1	2			”米の心配は無用” 吉 田ハノイ總領事談						
3	26	1	2		南方開發金庫第一回出 資金交付							
3	26	1	4	一奇觀“胎生” マング ロープ③						小倉謙		
3	26	1	4	今後の使命や大 大東 亜共榮圏と自然科学③						宮川米次		
3	26	1	4						ビルマ義勇軍 輝く開 兵式 歡喜に沸き立つ 蘭貢	ラングーンにて住田特 派員		
3	27	1	1	陸軍司政官に六氏を任 命 南方建設第一線實 務へ							青森縣總務部長岡利 和、鹿児島縣總務部長 熊野周二、山梨總務部 長福光正義、愛知縣學 務部長藤澤喜久郎	
3	27	1	1	大東亜建設座談會 本 社主催⑧ 石油の不安 全く解消 船の問題は 議論よりも実行								藤原銀次郎氏(写真)
3	27	1	3						蘭貢、民族の凱歌 ビ ルマ攻略報告講演會		ビルマ攻略報告講演會 の聴衆(円内) 檀上の 福井特派員	
3	28	0	1						印度洋制壓愈々全し 蘭貢に海軍堂々進駐 英の“謀略會談”へ重 壓	ラングーン特電		
3	28	0	1		南方共榮圏に好感 意 義深い法王廳との修交							
3	28	1	2		貿易統制會 貿易會を 改稱							
3	28	1	2			石炭を綜合統制 大東 亜石炭統制協議會を新 設						
3	28	1	2					新駐泰獨公使着任		バンコック發同盟		
3	28	1	4		南方への郵便物は内容 に氣をつけてどい送 れ・慰問文や慰問袋							
3	29	1	1	陸軍司政官更に二氏任 命							三重縣書記官宇佐川 秀、熊本縣書記官前田 ○次郎	
3	29	1	4		暑い氣候と皮膚の色 (南方片語)					佐藤正(元國際傳染病 情報局長・醫博)		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
3	30	1	2			佛印の閣僚重取締				ハノイ發同盟		
3	30	1	2						蘭貢に治安維持會發足 一流人物を網羅	ラングーンにて兒玉、相 良特派員		
3	30	1	3					共榮圏代表招き 市青 少年團一周年の記念式 典				
3	30	1	4		南方圏と湿度 温度の 表現①					田中貢(元通信省電氣 試験所大阪出張所長)		
3	31	0	2		南へ新聞郵送 來月か ら取扱							
3	31	1	2		南方金庫副總裁 武井 理三郎氏に決定							
3	31	1	2			鑛山、林業に収穫 佛 印資源調査團歸る				ハノイ特電		
3	31	1	3						ラングーン空中戦の戦 慄 穴倉特派員手記		ラングーン爆撃巨弾石 油タンクに命中火焰天 に沖す 金井特派員撮 影	
3	31	1	4		輻射熱の作用 温度の 表現②					田中貢		
4	1	1	1			西貢燈管を解除				サイゴン特電		
4	1	1	1						敗將衛立煌 ビルマ方 面司令	〇〇基地特電		
4	1	1	2		南方鑛産と我邦工業							
4	1	1	2					開戦前後の泰國 田村 浩大佐談 熱意の人・ ピブン總理・真珠灣捷 報以前に同盟を決心			寫真は田村大佐ノピブ ン泰首相	
4	1	1	3	大東亜戦解説普及版 刊行								
4	1	1	3	東亞民族分布図完成								
4	1	1	3						新聞も生まれた蘭貢	ラングーンにて住田、水 城兩特派員		
4	1	1	4	戦果に即應して 大東 亜縦横斷鐵道論①						上村義夫(日本製鐵総 務局勤務)		
4	2	1	2		棉花綿羊の増産 南方 も加味し新計畫							
4	2	1	4	さまざまな軌幅 大東 亜縦横斷鐵道論②						上村義夫		
4	2	1	4	共榮圏の一指針 温度 の表現③						田中貢		
4	3	1	1					本省と最後の打合せへ 坪上大使歸朝		バンコックにて増田特 派員		
4	3	1	2			佛印クローム鑛開發に 着手						
4	3	1	2					泰の躍進驚異 駐泰獨 公使談		バンコック發同盟		
4	3	1	2						該当記事ナシ		ビルマ・ルートを進撃す るわが銀輪部隊	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	3	1	4	建設への大使命 大東 亜縦横断鐵道論③						上村義夫		
4	5	0	1						ビルマ航空兵力撃滅 反撃企圖脆くも潰ゆ 増援の百二機撃墜破	大本營發表		ビルマ沿岸部地図
4	5	0	1						ビルマ南方要衝猛爆	上海特電		
4	5	0	1					坪上大使歸途へ		バンコック特電		
4	5	1	2						北ビルマ要衝猛爆	ベルリン特電		
4	5	1	2					バチカン、泰へ使節		バンコック特電		
4	5	1	2					日泰の經濟提携 坪上 大使 一段の緊密化強 調		バンコック増田吉田兩 特派員	坪上大使	
4	5	1	2					泰、畫期的の大増税		バンコックにて増田特 派員		
4	5	1	2					泰國貨幣持出嚴禁		バンコック特電		
4	5	1	2					湯河食糧局長官着泰		バンコックにて増田特 派員		
4	5	1	3		勇し彩管の征途 南方 へ畫家達出發						東京驛を出發する南方 派遣従軍畫家たち	
4	5	1	4					タイ國にわが新軍歌		バンコックにて奥村特 派員		
4	6	1	2						ビルマ爆撃熾烈 退却 中の蔣・英軍に鐵槌	リスボン發同盟		
4	6	1	3		南方に世界驚異の金字 塔 マラリヤは千人に 二人 コレラー名もなし 燦たる衛生作戰の戦果						寫眞は衛生作戰を語る 岡田大佐	
4	6	1	4		「太平洋の民族=政治 學」平野義太郎・清野 謙次合著(書評)					小山榮三		
4	6	1	4			佛印へ映畫「西住戰車 長伝」						
4	7	0	2	軍陣醫學の最高峰 前 線特殊病院の座談會 米英も及ばぬ大仕掛 戦傷死未だ無し 痛い とはいはぬ荒鷲達						〇〇基地にて見田特派 員		
4	7	0	2	火花散る電波の突撃 世界宣傳戦も日本が中 心						〇〇基地にて鳥越特派 員	寫眞は〇彈機を抱へて 突撃する放送宣傳隊= ナチブ戦線	
4	7	1	1						ビルマ制空權掌握	ラングーン特電		
4	7	1	1					泰から慶祝使節 ピヤ・ バボン前首來朝				
4	7	1	1					坪上大使歸朝				
4	7	1	2	共榮圏の食糧確保に十 年計畫の大増産 主要 農産物對策成る								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	7	1	3						民生保全に物資の作戦 次はビルマからお米 やがて漁業にも油の援 軍 徴備船・帰りは貨船 (岡田戦備課長談話)		岡田戦備課長	
4	7	1	3			佛印の資源探し 學術 調査團へ参考案						
4	7	1	4	東亞科學創造へ 陸軍 技術研究會生まる								
4	8	0	1					泰使節團一行入京				
4	8	0	2						熱風に物言はぬ哀情 水なき道と軍馬 ビルマ 峻嶮・愛撫行進	ビルマ前線にて兒玉、 相良兩特派員		
4	8	1	1					シンゴラ上陸 忽ち泰英 國境を突破				
4	8	1	2						マンダレーを猛爆	上海特電		
4	8	1	2					泰經濟使節團入京				
4	8	1	4		『ただ感嘆して来た』 南方視察の樞軸國武官 歸京							
4	9	0	1					ワニット使節首相訪問				
4	9	0	2						もう直ぐ届くぞ ビルマ 米の味 兵隊さんが贈 る”貨船”	ラングーンにて住田特 派員		
4	9	0	2						親鷲の自爆に悲憤 ビル マ・空の血陣 あれよ “紅脚機”も見參	ビルマ前線〇〇基地に て安田特派員	岡田貞部隊長	
4	9	1	2	一億一心、大詔を奉戴 世界史筆造の思想戦 奥村情報局長放送								寫眞は奥村情報局長
4	9	1	2					泰國法律大改正へ		バンコック特電		
4	9	1	4						バゴダの國ビルマ(上) (南方片語)	立花俊道(駒澤大學前 學長)		
4	10	0	1						全ビルマ皇軍に協力 敵勢力一掃の日近し 日に増す民族的共感	サイゴン特電		
4	10	0	1				國境畫定事業着々進む			サイゴン發同盟		
4	10	0	2					インド獨立に拍車 盤谷 で遭難志士の追悼會		バンコックにて奥村情 報局長特派員		
4	10	1	2					泰中央銀行 設立案上 程		バンコック發同盟		
4	10	1	3						北ビルマ猛空襲 本社 記者の同乗記	ビルマ前線〇〇基地に て安田特派員	ビルマ空襲 蘭貢上空 を征く陸鷲 小原特派 員撮影=下は安田特派 員	ビルマ地図
4	10	1	3					文化交流の春開く 泰 に日本文化の殿堂を新 設 初代館長に柳澤健 氏		バンコックにて吉田、増 田兩特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	10	1	4						バゴダの國ビルマ(下) (南方片語)	立花俊道		
4	11	0	2						ビルマ空の戦果 撃墜 した敵機の残骸		写真は撃墜した敵機の 胴体のマーク	
4	11	1	2						強制引揚續く 北部緬 甸住民	ビルマ前線〇〇にて兒 玉、相良兩特派員		
4	11	1	4						ビルマのクン族(上)(南 南方方語)	國分正三(ビルマ研究 會々長)		
4	12	1	1	南方建設の大構想 東 亞自給經濟を確立 斷 乎米英に物資攻勢展開 (加藤中佐談)	南方建設の大構想 東 亞自給經濟を確立 斷 乎米英に物資攻勢展開 (加藤中佐談)						写真は加藤中佐	
4	12	1	2						蔣軍の十六機撃破 陸 鷲・敵のビルマ増援企 圖を砕く	ビルマ前線〇〇基地特 電		ビルマ・タイ・中國國境 地図
4	12	1	3						ビルマ最前線に挺身 空の報道戦に散る 本 社安田特派員・壮烈な 最期	ビルマ戦線〇〇特電	故安田晃本社特派員	
4	12	1	3						路上に昏倒	ラングーンにて上西特 派員		
4	12	1	3					泰國大使の講演(「泰 の國民性と婦人問題」)				
4	12	1	4						ビルマのクン族(下)(南 南方方語)	國分正三		
4	13	1	2	物資交流迅速化に 貿 易統制法規整理 一元 的整備の前提								
4	13	1	2		南方建設の軍政方針 (社説)							
4	13	1	3			從軍十四畫伯西貢着				サイゴン特電		
4	13	1	4		熱帯の毒虫① 山びる					高島春雄(東京文理大 動物學教室勤務)		
4	14	1	1						蔣、重慶へ歸る	リスボン發同盟		
4	14	1	2					在泰印度人獨立の決議		バンコック特電		
4	14	1	4		航路と船賃(南方案内)							
4	14	1	4		熱帯の毒虫② ハナク ソビル					高島春雄		
4	15	0	1		南方へ建設部隊派遣 農林資源開發と集荷調 整に挺身							
4	15	0	1			芳澤大使も要談						
4	15	1	2		物資交流と貿易統制法 (社説)							
4	15	1	3		我らの舞台開く 双肩に 南方經濟建設の責任 勇躍“第二の故郷へ”						根本榮次氏	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	15	1	4		熱帯の毒虫③ さそり					高島春雄		
4	16	0	1					泰政府産業省新設		バンコック發同盟		
4	16	1	1		協力が生んだ戦果 總力が生む建設 南方戦線視察の感激 大本營報道部富永少佐談						富永少佐	
4	16	1	1						蘭貢陥落一箇月で重慶抗戦力激減す 輸送路杜絶自滅待つ	漢口特電		
4	16	1	2	共榮圏の棉花増産 東亞棉花懇談會開く								
4	16	1	2		融資主力は石油、棉花、鑛物、佐々木南方開發金庫總裁談							
4	16	1	3					日泰交換學生募集				
4	16	1	4		熱帯の毒虫④ サソリの種類					高島春雄		
4	17	0	1	大東亞圏の片貿易も調整								
4	17	0	1		原棉の自給確立へ 南方で五ヶ年計畫 陸軍愈々建設に乗出す						陸軍案を説明する吉積局長	
4	17	0	1			芳澤大使歸任						
4	17	1	2		米穀、樂觀は禁物 南方諸地域も減産の惧れ 農林省總務局長放送							
4	17	1	2			湯川食糧局長官近く歸國の途に				サイゴン特電		
4	17	1	4		熱帯の毒虫⑤ 極東サソリ					高島春雄		
4	18	0	2			佛印で列車顛覆				サイゴン發同盟		
4	18	0	2						旗を振つて大歡迎 復興の村から村へ”笑の巡回”ビルマ	ビルマ前線〇〇にて相良、兒玉兩特派員		
4	18	1	1					泰中央銀行の機構組織		バンコック特電		
4	18	1	1					泰で新紙幣發行		バンコック特電		
4	18	1	2		南方棉花計畫の樹立(社説)							
4	18	1	2			資源開發に努力 芳澤大使台北で語る				台北電話		
4	18	1	4		熱帯の毒虫⑥ サソリの解毒					高島春雄		
4	19	0	1						蘭貢から猛追撃 英印蔣軍約五萬を撃破 敵屍四千五百を超ゆ ビルマに赫々の綜合戦果	大本營發表		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	19	0	1						貿易路八方塞がり 重慶資材と隔絶 ビルマで英軍と軋轢	廣東特電		
4	19	0	1						ビルマ印度人避難	リスボン發同盟		
4	19	0	1					泰、首都を移轉か		バンコック特電		
4	19	1	1						印度海兵四萬 ビルマから撤退	リスボン發同盟		
4	19	1	1						蘭貢復興に印度人も協力	ランゲーン發同盟		
4	19	1	2			芳澤大使 ハノイ歸任				ハノイ發同盟		
4	19	1	2					同盟國を支援せん 泰國ビブン首相演説		バンコック特電	ビブン首相	
4	19	1	2					ロツプブリ 新首都候補地		バンコック特電		
4	20	1	2					“日泰一心同體邁進せん” パホン訪日使節團長談		バンコック發同盟		
4	20	1	4					日泰親(善)の集ひ(芸能ニュース)				
4	21	0	1			佛印の地位明朗へ ラヴアル内閣に期待				サイゴンにて福永特派員		
4	21	1	1						蘭貢の印度人起つ 皇軍の治安工作に協力	〇〇基地特電		
4	21	1	3						手に手にガソリン瓶 重戦車へ“死の礫” 敗走の跡に夥し残骸	ビルマ前線〇〇にて水城特派員	ビルマ戦線・肉弾の凱歌 炎天下のビルマ戦線に活躍するわが〇〇砲陣地 喜多特派員撮影	
4	21	1	4		文化語としての日本語(特輯 日本語の南方進出)					木村新(東亞學校高等科教授)		
4	21	1	4		教科書の編纂 新文化の建設へ—國語の整備こそ急務—(特輯 日本語の南方進出)					石黒修		
4	21	1	4		教師と教授法 挺身・協力の要(特輯 日本語の南方進出)					西尾実(東京女大教授)		
4	21	1	4		南方語との親縁 最近二十年間の成果(特輯 日本語の南方進出)					新村出(京大名譽教授、文博)		
4	22	0	2					使節の歡迎(泰)(鐵箒)		浅間正善		
4	22	1	1					物資の交流を圓滑化 パート切下でなく圓價の増大		バンコックにて増田特派員		
4	22	1	1					日泰經濟協力 原則的諒解成立 円・パートの新価けふ実施				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	23	0	1					泰、わが提議を快諾 急激な影響極力回避 日泰共同コミュニケ		バンコック特電		
4	23	0	2						日毎殖える義勇軍 脱 ぎ捨てたきのふの卑屈 さ 芽をふく新生ビルマ	ラングーンにて吉村特 派員	写真は皇軍入城のラン グーンの街 シュエ・ダ ゴン・バゴダ附近 繁田 特派員撮影=陸軍省検 閲済	
4	23	1	1					泰の慶祝使節来る ビ ヤ・パホン氏ら福岡入り			泰國使節歓迎の乾杯 (日航福岡支所で○印 ビヤ・パホン氏)=福岡 支局電送	
4	23	1	1					心から敬服 ビヤ・パボ ン團長談				
4	23	1	1					使節團員略歴(泰)				
4	23	1	1					使節一行の日程(泰)				
4	23	1	1					日本商社の協力を要望		バンコック特電		
4	23	1	1			芳澤大使 ドク-總督 訪問				ハノイ發同盟		
4	23	1	1					満州國々幣もパートと 等價		新京發同盟		
4	23	1	2	大東亞道路技術會議を 開催							バタビア捕虜收容所に 入るスタルケンボルグ 前總督(背廣)とテル ポールテン蘭印陸軍長 官(風田川特派員撮 影)	
4	23	1	2					日泰の關係愈々緊密 (社説)				
4	23	1	4			佛印より歸りて 印象的 に美しいハノイの並樹 路 婦人文化使節 森 女史のみやげ話					ハノイの道寺にて-森女 史	
4	24	0	1		南方開發は實踐へ 開 發金庫も近く役員會							
4	24	0	2					泰國使節團、別府へ向 ふ		福岡電話		
4	24	0	2					ワラワン殿下の王子		神戸電話		
4	24	1	1					泰國使節團別府に宿泊				
4	24	1	2		朝鮮棉花 愈々南方進 出							
4	24	1	2	電波戦にも擧る勝閑 東亞の聲力強し、敵性 放送僅かに餘喘						郷特派員○○基地にて		
4	24	1	2		南方開發經營に指導機 構の創設 日商建議							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	24	1	2		[南方通貨](有題無題)							
4	24	1	2		台銀、南方へ積極態勢 機構改革・南方部(假稱)の設置考慮 倍額増資も有力化							
4	25	0	1	今年度物動計畫けふ閣議決定 對米英攻防の戦備増強 海上輸送力にも重点								
4	25	0	1					泰使節團謁見 廿七日 晴れの参内				
4	25	0	1					使節團東上(泰)				
4	25	1	2		洋灰界南方へ進出 先づ三社 遊休設備を活用							
4	25	1	2					台湾から泰へ砂糖 經濟協定の發足を飾る		バンコック特電		
4	25	1	3		南の砂糖を特配 兵隊さん有難う 嬉しい五月							
4	25	1	3					泰使節東上		下関電話		
4	25	1	3		博物館で南方文化展							
4	26	0	1					泰使節東上			写真は大阪駅を通過するバホン中將=大阪本社電送	
4	26	0	2					盤谷の邦人も黙禱		バンコック特電		
4	26	1	1			佛印泰米の輸入順調 湯河食糧局長官歸朝談		佛印泰米の輸入順調 湯河食糧局長官歸朝談				
4	26	1	1					泰國慶祝使節晴れの入京 東京驛頭、盟邦感激の交驛			同盟の固き握手を交はずピヤ・バホン中將と東條首相(東京驛にて)	
4	26	1	2	[共榮圏の通信](有題無題)								
4	26	1	2			日佛印の往来便宜化=爲替許可制度を引上げ					ハノイ特電	
4	26	1	2						ビルマ戦線の弱體ぶり暴露 英従軍記者列擧の七敗因	上海特電		
4	26	1	4			渡邊源一郎著「佛印の鑛産資源」(書評)				青山秀三郎(東大教授、工博)		
4	26	1	4	二つの新國立研究所① 共榮圏内指導へ 鐵道技術研究所の使命						吉田謹平(鐵道技術研究所長)		
4	27	1	1					泰國使節けふ晴れの謁見 靖國の英靈に祈念 遺族の姿に感激一しほ			靖國神社參拜のピヤ・バホン中將(中央)	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	27	1	1						重慶軍ビルマで暴虐 蔣も呆れて嚴罰を命令	ビルマ前線〇〇發同盟	ビルマ密林に〇〇砲の 威容 喜多特派員撮影 陸軍省検閲済	
4	27	1	2	共榮圏物價の綜合調整 (社説)								
4	27	1	2					日泰文化の親善強化 柳澤文化會館初代館長 赴任				
4	27	1	3						戦陣に聴く“秘境ビル マ” 六千尺・魔の大高 原に鬼氣迫る“死の饗 宴” 英支・砂金繞る秘 密戦争	ビルマ戦線〇〇にて赤 司、兒玉、相良三特派 員	(上)ベトウイン族の頸 長女(中)死人の肉を食 らふといふワー族(下) 美人郷シャンステートの 代表的美人	ビルマ地図
4	27	1	4		藝談(上)(南方片語)						黒澤隆朝	
4	27	1	4		咬んだら放さぬ 南洋 の有毒魚①						檜山義夫(東大農學部 助教授)	
4	27	1	4		国力發展の姿 南方地 方の改稱について(一)						小倉進平(東大教授、 文博)	
4	28	0	1					泰國使節團けさ参内 恭しく國書捧呈 優渥な る御言葉に恐懼				パホン使節感激の参内
4	28	0	2						食べ切れぬ“白米の 泉” ランゲーンから「内 地へ補給」	ランゲーンにて吉村特 派員		
4	28	1	1					究極の勝利獲得へ日本 と共に戦ふ、ピヤ・パホ ン團長聲明				外相主催の泰使節歓迎 會の乾盃
4	28	1	1					勳章御贈與(來朝した 泰の使節らへ)				
4	28	1	1					泰國皇帝へ御禮電				
4	28	1	1					東郷外相の挨拶(泰 へ)				
4	28	1	2					泰輸出品市場活況			バンコック發同盟	
4	28	1	2						ランゲーンに公定價	ランゲーンにて寺倉特 派員		
4	28	1	4		藝談(下)(南方片語)						黒澤隆朝	
4	28	1	4		觸れると刺す 南洋の 有毒魚②						檜山義夫	
4	28	1	4		音譯か、意譯か 南方 地名の改稱について (二)						小倉進平	
4	29	0	1						ビルマ蔣軍總引揚か 蔣、連敗を怒る	上海發同盟		
4	29	0	2					泰使節見學に 千葉陸 軍野戰砲兵校へ			千葉電話	
4	29	1	1					いや固き親善の絆 首 相主催泰國使節招待會				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
4	29	1	3		南からお米 湯河長官 の視察談					〇〇電話		
4	30	1	1						ビルマ[大東亜の天長 節]	ビルマ〇〇前線發同盟		
4	30	1	1			ハノイ[大東亜の天長 節]				ハノイ發同盟		
4	30	1	1			サイゴン[大東亜の天 長節]				サイゴン特電		
4	30	1	1					バンコック[大東亜の天 長節]		バンコック特電		
4	30	1	2					政府關係者を招待 泰 使節團が晚餐會				
4	30	1	4		食べるとあたる 南洋の 有毒魚③					檜山義夫		
4	30	1	4		戒心すべき問題 南方 地名の改稱について (三)					小倉進平		
5	1	1	1		増永[陸軍]囑託南方 へ							
5	1	1	1						ビルマ敗殘兵監視	バンコック特電		
5	1	1	2		軍票携行を許可 南方 向け送金							
5	1	1	2		南方開發金庫人事							
5	1	1	3		南の民族問題に科學陣 を築く 人口機構室も新 設							
5	1	1	3					タイ使節團を招待				
5	1	1	4		自然を征服する 民族 生活様式の創造(上)					石原憲治(住宅□□調 査課長)		
5	1	1	4		五十種に上る 南洋の 有毒魚④					檜山義夫		
5	2	0	1						重慶機關、ラジオより引 揚ぐ	リスボン發同盟		
5	2	1	3					泰使節・大使招宴へ				
5	2	1	4		日本住宅の性格 民族 生活様式の創造(下)					石原憲治		
5	2	1	4		鑑別知識の要 南洋の 有毒魚⑤					檜山義夫		
5	3	0	2		“南のお砂糖”七日頃か ら特配							
5	3	0	2					泰使節、多摩御陵參拜			寫眞は午餐會の首相と 泰使節	
5	3	1	1						皇軍マンガレー占領 英・蔣聯合の中樞崩壊 ビルマ北上怒濤の進撃	大本營發表／マンガ レーにて兒玉、相良兩 特派員		ビルマ地図
5	3	1	1						重慶全く孤立化 印度 解放氣運を促進	大本營陸軍報道部長談		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	3	1	1						敵の放火で全市灰燼	マンダレーにて松井挺身宣傳班員		
5	3	1	1						ビルマ第二の商都マンダレー			
5	3	1	2						マンダレー攻略の意義(社説)			
5	3	1	2					日泰“圓決済”取極成る 圓中心金融圏愈々擴る				
5	3	1	4		南方向映畫 第二陣きまる(芸能ニュース)							
5	3	1	5					日泰協會の招待宴〔泰國使節團〕				
5	3	1	5					血の楔・マンダレー入城 累々・街を埋む屍の山 燃ゆる“蔣軍の墓場” 暴虐・バゴダも破壊	マンダレーにて兒玉、相良兩特派員	寫真はマンダレーのパゴダ		
5	3	1	5					佛塔の都 マンダレーの横顔				
5	3	1	5	歡聲沸く“共榮園の學生”								
5	3	1	6	川西正鑑著「東亞地政學の構想」(書評)						野間三郎		
5	4	1	1						米に新援助路を哀願 張群を派遣、印度で畫策 蔣、マンダレー失陥に血走る	ストックホルム茂木特派員	ビルマの嶮路を戦車部隊征く 喜多特派員撮影 陸軍省検閲済	ビルマ・タイ・インド地図
5	4	1	1						重慶要人の馬車姿 米紙、ビルマ油田失陥を悲觀	ブエノスアイレス特電		
5	4	1	2					“完勝法要”に出席 昨日の泰使節一行				
5	4	1	2					日泰圓決済の取極成立(社説)				
5	4	1	2						[ビルマと英](有題無題)			
5	4	1	3						ビルマ戦線・灼熱に喘ぐ行路 足も爛れる熱路 悪疫と飢餓の新戰場		炎熱のビルマ嶮路を征く牛車部隊 喜多特派員撮影=陸軍省検閲済	
5	4	1	3						マンダレーの内紛 睚み合ひから發砲襲撃 “戦争”騒騒ぎの英將兩軍 堪りかねて英軍遂に脱出	マンダレーにて兒玉、相良兩特派員		
5	4	1	3						原住民に爪弾き 空腹を嘆く蔣軍捕虜	ビルマ前線發同盟		
5	5	0	1					離京御暇乞ひの記帳をなす バホン中將				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	5	0	1						ビルマ北上、皇軍破竹の進撃 英印軍を一撃に粉碎 蔣の遠征忽ち血祭に上ぐ	ビルマ前線〇〇にて兒玉、相良兩特派員/ビルマ前線トンゲーにて兒玉、相良兩特派員	ビルマ油田へ肉薄攻路(イェナンジョンにて)陸軍省検閲済	ビルマ・タイ・インド地図
5	5	0	1						ブROOM、敵火に灰燼	ビルマ前線〇〇にて兒玉、相良兩特派員		
5	5	0	1						ビルマの増援、英あきらむ	ヴイシー發同盟		
5	5	0	2						北へ北へ・ビルマ戦線席卷 崩れゆく援蔣ルート“焔の路”を覆み鐵牛の進撃	ビルマ前線〇〇にて相良、兒玉兩特派員	我先に投降してくる英兵 イェナンジョンにて=陸軍省検閲済	
5	5	0	2						暴虐の集中攻撃 死して愛機を離さず	ビルマ戦線〇〇にて相良特派員		
5	5	0	2						片肺・なほ矢はぬ闘魂 後田機自爆期して“創痕の生還”	ビルマ戦線〇〇基地にて水城特派員		
5	5	0	2						吹つ飛ぶ敵貨車群 ビルマ爆撃同行乗記	ビルマ前線にて水城特派員		
5	5	0	2						赤司、富樫兩本社員ビルマ戦線に散る 壮烈、敵包圍陣に挺身	ビルマ本社前線本部特電		
5	5	0	2						現地軍からの弔電	ビルマ本社前線本部		
5	5	0	2						マンゴーを献上 泰からの贈物、パホン中將が	バンコック特電		
5	5	1	1						該当記事ナシ		皇軍に歡呼するビルマ人 ビンマナにて(福岡電送)陸軍省検閲済	
5	5	1	1	八紘爲宇の大義治く顯現 大東亞自立經濟を完成 大東亞建設審議會方策を決定								
5	5	1	2	建設の具體化と専門化 [大東亞建設審議會] (社説)								
5	5	1	2						英印軍に最後の鐵槌 敵全面的に撤退す	上海特電/ビルマ前線にて〇〇にて兒玉、相良兩特派員		
5	5	1	2						米援軍も殘滅 ビルマ戦線	ビルマ〇〇前線發同盟		
5	5	1	2						羅卓英ビルマ總司令へ	廣東特電		
5	5	1	2						マンダレー攻略の經過 空陸緊密の協力 四代激戦 英蔣の機械化部隊完碎		トンゲーの激戦要圖	
5	5	1	2						泰使節歡迎會 經濟團體が主催			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	5	1	2		南方棉花の栽培 指定業者近く現地へ							
5	5	1	3	けふ開く大東亜建設展								
5	5	1	3						曳光弾の幕を突き抜け地上すれすれに掃射吹飛ぶ格納庫・逃げ迷ふ敵兵	海軍〇〇基地にて澤山特派員(海軍報道班員)		
5	5	1	3						“炎の正月”日傘の花	ラングーンにて兒玉特派員	写真は刺殺式に向ふ行列のビルマ娘=陸軍省検閲済(赤司特派員遺作)	
5	5	1	3						杉山機・壮烈な自爆	ビルマ〇〇基地にて水城特派員		
5	6	0	1						“一路、印度へ通ず”ビルマ戦果、敵味方とも重視	ローマ特電		
5	6	0	2					泰國使節日光を見物		日光電話		
5	6	1	1						駐重慶ビルマ代表絶命	北京發同盟		
5	6	1	1			内田總領事東上				ハノイ發同盟		
5	6	1	2						マンダレー攻略血戦記 現地軍宣傳班長談 蔣の虎の子ハヶ師粉碎 涙ぐまし協力する民衆	ビルマ前線にて兒玉、相良兩特派員		
5	6	1	2						特異の作戦奏功 敵、我が術策に陥込む 某幕僚談	〇〇基地同盟		
5	6	1	3						今ぞ踏み砕く重慶の輸血路 劫火燃ゆるビルマ公路 棄てさらす援蔣物資 血を絞られた住民の憤激	トングーにて兒玉、相良兩特派員	援蔣物資を積んで軍用トラックが列をなしてゐたビルマ公路	
5	7	0	1						アキヤブ飛行場占領 印度國境へ僅か二十五里 ビルマ方面戦況大進展	大本營發表	皇軍が占領したアキヤブ飛行場	ビルマ・インド國境地図
5	7	0	2						マンダレーへ血の道一寸刻み・砲火潜る進撃日誌	マンダレーにて鎮目軍宣傳班員	マンダレー戦線(上)イラワジ河支流の破壊された鐵橋を進むトラック隊(下)エナンジョン激戦の跡に残骸さらす敵戦車(以上陸軍省検閲済)	
5	7	0	2						蔣軍に女の兵隊 脱走したわが宣撫班員が語る ビルマ戦線・敵の内情	ビルマ戦線マニワ發同盟		
5	7	1	1						ビルマの敗敵を痛爆 陸鷲 永昌に潜伏の蔣軍も爆碎	〇〇基地にて水城特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	7	1	1						ビルマ敗戦の糊塗策 獨の見解 佛新政府の 試金石	ベルリン特電		
5	7	1	2						遂に印緬國境に迫る (社説)			
5	7	1	2	アジア民族の覺醒 米 政府震へ上る						ブエノスアイレス特電		
5	7	1	3		出ました“南のマリ”嬉しい マーク『戦捷第一次 祝賀』							
5	8	0	1						重慶、ビルマ敗戦弁明	南京發同盟		
5	8	0	1	興亞同盟改組成る 海 外皇民化運動に重點 總裁に林大將指名							林銑十郎大將	
5	8	0	1			佛印與論沸く〔英軍マダ ガスカル島上陸に〕				ハノイ特電		
5	8	0	1					泰、産業商業兩省新設		バンコック特電		
5	8	0	2					泰使節副團長來社				
5	8	0	2	論文募集「文化共榮」 〔國政文化振興會〕								
5	9	0	1						陸鷲、敗敵猛爆	ビルマ前線〇〇基地同 盟		
5	9	0	2		ワーイ・南からのゴム穂 だ						寫眞は配給された南か らのゴムマリに喜ぶ學 童たち＝泰明國民學校 にて	
5	9	1	1						長驅雲南へ進攻 敗敵 急撃龍陵を占領	大本營發表／ビルマ前 線〇〇基地にて兒玉、 相良兩特派員		
5	9	1	1						カーサの敗敵痛爆	〇〇基地にて水城特派 員		ビルマ・中國國境附近 地図
5	9	1	1						怒濤の進撃	〇〇基地特電		
5	9	1	1						ラシオ平靜へ	ラシオにて山本軍報道 班員		
5	9	1	1						バーモの戦果	バーモ發同盟		
5	9	1	1			内田總領事歸京						
5	9	1	2						皇軍雲南省に進撃(社 説)			
5	9	1	2						機甲部隊雲南の嶮突破 ビルマの敵へ完全に止 め	上海特電		
5	9	1	2						米英匙を投ぐ	ストックホルム特電／ 上海特電		
5	9	1	2		南方經濟懇談會建議							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	9	1	3						包圍鐵環・ビルマ作戦の全貌 現地軍幕僚談 酷熱の廣野に呻吟 廿萬の敵いまや四散	ビルマ前線〇〇にて兒玉、相良兩特派員	怒濤の如くマンダレー入城(上)マンダレー王宮前を堂々進撃してゆくわが軍旗(下)〇〇河を渡河マンダレーへ肉薄するわが部隊=以上喜多特派員撮影(台北支局電送)陸軍省検閲済	
5	9	1	3						機上觀戰 櫻の下續く日の丸	ビルマ前線〇〇にて寺倉、相良兩特派員		
5	9	1	4		衣服の注意(南方案内)							
5	10	0	1						蔣の敗軍、山地を彷徨ビルマでゲリラ戦も術なし	ビルマ戦線〇〇にて兒玉、相良兩特派員	羅卓英	
5	10	0	1						敵戦車續々鹵獲 ラシオ北東方の戦果	〇〇基地にて郷特派員		
5	10	0	1						ビルマ人の怨み爆發 米兵と詐稱し英兵逃げ廻る	〇〇基地にて郷特派員		
5	10	0	2						邦人一家マンダレーで救出 船底で聞く“殺す相談” 父と投身を覺悟 童心で綴る涙の日記	マンダレーにて寺倉特派員		
5	10	0	2					進む日泰文化協定 まつ交換學生先發		バンコックにて増田、上山兩特派員		
5	10	1	1	驚異の日本海軍 南海を完全制壓 駐日獨武官視察談放送								
5	10	1	1						惠通橋雲南附近に進出 北ビルマの要衝 ミチーナも無血占領	ビルマ前線〇〇基地特電/ビルマ北部戦線同盟		ビルマ・中國國境附近地図
5	10	1	1						敗敵の退路を断つ 英高級將校續々逃亡	ビルマ前線〇〇にて寺倉、相良兩特派員		
5	10	1	1						陸鷲保山を大爆撃	〇〇基地にて郷特派員		
5	10	1	1						キヌを占領	ビルマ西部前〇〇同盟		
5	10	1	2	歐州戦局と大東亜建設(社説)								
5	10	1	4	熱帯感冒の豫防(南方案内)						南崎雄七氏談		
5	11	1	1						陸鷲印度へ初の大空襲 チッタゴン飛行場潰滅す 再爆、港湾設備も巨弾	ビルマ前線〇〇基地にて水城特派員/ストックホルム特電	灼熱のビルマを征くマンダレー街道を進む我が輜重部隊 陸軍省提供 軍宣傳班員 久米茂撮影	ビルマ・タイ・インド・中國國境附近地図
5	11	1	1						ミチーナ北方で敗敵の退路断つ 我が快速に鹵獲品山積	ビルマ戦線〇〇にて寺倉、相良兩特派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	11	1	2		南方戦後の建設 具體案樹立 現地陸軍関係官會同					〇〇基地發同盟		
5	11	1	2						寸斷されたビルマ・ルート 重慶の死命を制す 援蔣路完封、昆明に重壓			
5	11	1	4		「南の風」の配役(映畫)(藝能ニュース)							
5	11	1	4					新秩序の達成へ—日本精神との融合—		泰國 ピヤプリチャ・ヌサツク		
5	12	0	1					訪日の使命を果し 泰國使節けさ離京 驛頭、東條首相と感懐籠る別離			東條首相と握手するヒヤ・バホン中將	
5	12	0	1						敗走する英軍を捕捉 印度イムパール痛爆 敵軍用車輛へも巨弾の雨	ビルマ前線〇〇基地特電	愛車を偽装・敗敵追撃の我が鐵牛部隊＝ビルマ戦線＝小川特派員撮影(陸軍省検閲済)	ビルマ・インド國境附近地圖
5	12	0	1						ビルマ政府、インドに移轉	ストックホルム特電		
5	12	1	1						緬甸、印度洋作戦を御嘉尚 優渥なる勅語を賜ふ	大本營發表		
5	12	1	1						ミトキーナ緬支國境完全占領	大本營發表		
5	12	1	1						緬甸作戦 重慶、米英の連繫切斷		ビルマ作戦經過要図／シツタン河上流兵隊の活躍＝ビルマ戦線＝陸軍省〇〇	
5	12	1	1						緬甸方面戦況日誌 ラングーン陥落以後			
5	12	1	1						作戦の一段階終了す 緬甸作戦の五大特性			
5	12	1	1						撃墜破五百五十四機 緬甸方面陸營部隊開戦以來の綜合戦果	大本營發表		
5	12	1	1						陸鷲、カレワ附近爆撃	ビルマ前線〇〇基地同盟		
5	12	1	1						マニワ附近で大撃滅戦	ビルマ前線〇〇基地發同盟		
5	12	1	1						ブダリン、タバイン占領	ビルマ前線發同盟		
5	12	1	1						ビルマ民衆 皇軍に協力	ビルマ〇〇前線發同盟		
5	12	1	2	副總裁、理事長も決定 興亞同盟新役員								
5	12	1	2	東西呼應“新秩序”へ 東郷外相、太平洋協會で演説								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類	
5	12	1	3						御嘉尚に輝くビルマ作戦 柳川中將の話 世界戦史に比なし“不可能”に近い山岳戦		語る柳川中將		
5	12	1	3						蘇る鐵路・五百卅軒 ビルマ戦線に疾風の修理作業	ランゲーンにて住田特派員	写真は敵が徹底的に破壊して行ったトングー駅 =喜多特派員撮影(陸軍省検閲済)		
5	12	1	4						報道班員便り「ビルマと日本軍」	豊田三郎(一少年の話)／松井透(列車の開通)			
5	12	1	4		“南から歸つた人”(東寶映画)(新映畫評)								
5	12	1	4		熱帯神經衰弱(南方案内)						南崎雄七氏談		
5	12	1	4		ジャバの洋樂界 南方の音樂工作について(一)						バタビヤにて 飯田信夫		
5	13	0	1						バーモ治安回復 皇軍怒江の線確保	□□省前線發同盟			
5	13	0	1						ビルマ政府崩潰 英緬全官吏悉く逃亡	ビルマ前線にて寺倉、相良兩特派員			
5	13	0	2					パポン中將參宮		山田電話			
5	13	1	1		香港と南方運送開始						香港發同盟		
5	13	1	1						更に退路遮斷 ビルマ殘敵掃蕩する		ビルマ前線〇〇にて寺倉特派員		
5	13	1	2	大東亞建設と文教刷新(上) 全世界指導に目標 花咲かせ、大東亞文化									
5	13	1	2					泰、大臣代理を任命			バンコック特電		
5	13	1	3		南を拓く科學(上) すばらしい“火山發電”戦争中も續いてゐた研究發表[座談會]						昭南島本社支局發特電	写真は噴煙濛々と吐くジャバのプロモ火山	田中館氏、徳川侯(顔写真)／出席者一覧
5	13	1	4		熱帯に適應せぬ體質(南方案内)								
5	13	1	4		樂團編成の要 南方の音樂工作について(二)						バタビヤにて 飯田信夫		
5	14	0	1						敵、包圍内を徒に彷徨ビルマ 英蔣軍戰意を喪失		ビルマ戦線〇〇にて寺倉特派員		
5	14	0	2						竹の柱に暖い藁敷 住民の手で病舎 わが戦傷兵に心の奉仕		ビルマ方面陸軍報道班員高田一夫記		
5	14	1	2		轉廢業者の活用 南方經濟懇談會政府に建議								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	14	1	2	大東亜建設と文教刷新 (下) 国家育英制の要 望 優賢者を民族の前 線へ								
5	14	1	2			対日協力愈々緊密 共 榮圏確立に貢献 ド クレー総督談				ハノイ發同盟		
5	14	1	3		南を拓く科學(下) 刺 身など飛んだ話 日本 食は體がもため							
5	14	1	3					泰將校が空の勉強				
5	14	1	3						血の報道戦線 マンダ レーへの道(上) 本社 従軍記者の座談會 後 れじと“はだしの入城” 腐った飯に泥水かけて 腹拵へ	マンダレー前線特電	寫眞は焦土と化したマ ンダレーに入城する騎 兵部隊=喜多特派員撮 影=陸軍省検閲済	
5	14	1	4		出發前の注意(南方案 内)							
5	14	1	4		肥沃な處女地 南方の 音楽工作について (三)					バタビヤにて 飯田信 夫		
5	15	0	1						ビルマ遠征費要求 重 慶、英の落日につけ込 む	廣東發同盟		
5	15	0	1			ハノイで二機撃墜 敵、 老開方面から空襲				サイゴン特電		
5	15	0	2					泰國使節奈良へ		奈良電話		
5	15	1	2						偉勳輝く大平大尉 ビ ルマ偵察に譽の感状	陸軍省發表	大平大尉	
5	15	1	2		南方圏交通 對策を建 議 南方經濟懇談會							
5	15	1	3		南へ贈る慰問文と畫							
5	15	1	3		南を拓く科學(下) 學 者も進め一線へ 益々 有望ボーキサイト							出席者一覧
5	15	1	3						血の報道戦線 マンダ レーへの道 本社従軍 記者の座談會(下) 協 力ちかふ'山刀部隊'涙 ぐまし住民の真心款待		寫眞は皇軍の渡河に協 力するビルマ住民=陸 軍省検閲済	
5	15	1	4		蚊帳と帽子(南方案内)							
5	16	0	2					泰から切手の注文		バンコック特電		
5	16	0	2						ビルマ拉致邦人の消息 壁に残す烈々の文字 毅然印度へ向ふ 獄中 乱ぬ一致団結	ラングーンにて吉村特 派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	16	1	2						ビルマ航空作戦の全貌 〇〇部隊長談 戦爆交代で徹底痛撃 神速・敵空軍の主力撃滅			ビルマ地図
5	16	1	3					泰使節一行大阪着		大阪電話		
5	16	1	3						神速皇軍に散々 食ふに物なく傷兵も歩く惨さ 米記者の英軍従軍記 “眼の通り”ビルマ最後の日”	リスボン発同盟	ビルマ人も協力・工兵隊苦心の架橋を渡る我軍自動車 マンダレー南郊にて喜多特派員撮影＝陸軍省検閲済	
5	16	1	4						血に縋るシヤン偵察報告	ビルマ戦線〇〇にて寺倉特派員撮影		
5	17	0	1			日佛印経済交渉 理想通りに協定 内山公使談				サイゴン特電		
5	17	0	1						雲南の要衝騰超に達すビルマ国境より八十軒進出	リスボン発同盟		ビルマ地図
5	17	1	1					泰國のインド団体合同		バンコック特電		
5	17	1	1						神速・雲南の騰超占領兵器等莫大な資材鹵獲	大本営発表		ビルマ北部地図
5	17	1	2		建設は堅実な快速調南から帰った〔砂田・永田〕両軍政顧問語る							砂田重政氏、永田秀次郎氏（顔写真）
5	18	1	1						ビルマの敗残英軍に鐵槌 主力二萬を一挙に撃滅す 印緬国境カレワの大戦果 英蔣軍殆ど掃蕩 印度防衛の脅威増大	大本営発表／ビルマ前線〇〇にて寺倉特派員	ビルマ残敵へ巨弾を見舞ふ 灼熱下皇軍に協力する住民（マンダレー前線基地にて）陸軍省検閲済	ビルマ地図
5	18	1	1						雄渾なる誘導殲滅戦	ビルマ前線〇〇にて寺倉特派員		
5	18	1	1						北部ビルマの戦果	北部ビルマ〇〇発同盟		
5	18	1	3						監禁の獄舎で結婚式 戦勝も知らず散った花二輪 ビルマ邦人の決意偲ぶ	三宅挺身隊長記	マンダレー王宮内廣場にドラム罐と竹筒の偽高射砲 喜多特派員撮影＝陸軍省検閲済	
5	18	1	3						沈む船に非道い置きり 日本潜水艦に救はる英人を呪ふビルマ人とインド人	〇〇基地にて海軍報道班員石川達三		
5	18	1	4		石井信太郎著「東亜の熱帯病」(書評)					細谷省吾		
5	18	1	4		西村真次「日本海外発展史」(書評)					板澤武雄		
5	18	1	4		南洋の食生活と栄養上					井上兼雄		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	18	1	4			舊制度の打破へ 現代安南文學について 上				サイゴンにて 文環		
5	19	0	1						ビルマ閣僚らを保護	ラングーン發同盟		
5	19	0	1						迷惑な英荷軍風潰し 數百名づつ各地で捕捉 ビルマ人も戦闘に協力	ビルマ前線〇〇發同盟	南部シヤン山脈の谿谷に架橋 ビルマ作戦に工兵部隊の活躍 陸軍省検閲済	ビルマ地図
5	19	0	1	アジアから手を引け ガンジー英に“犠牲”を説く						リスボン發同盟		
5	19	0	2						すくすく伸びる復興の稲苗 お米の國ビルマに響く建設譜	北部ビルマ〇〇にて同盟		
5	19	0	2			佛印で列車事故				サイゴン發同盟		
5	19	1	2						ビルマ戡定と重慶(社説)			
5	19	1	3		南方に医学の掩護 東大教授団の研究會							
5	19	1	4		南洋の長生活と楽養下					井上兼御雄		
5	19	1	4			未來への希求 現代安南文學について 下				サイゴンにて 文環		
5	20	0	1	委員十名増員 大東亜建設審議會								
5	20	0	1						ビルマ奥深く擾荷蹄寸断 赫々！二旬來の綜合戦況			ビルマ地図
5	20	0	1						皇軍、怒江を渡河進撃	ビルマ前線〇〇にて寺倉特派員	ビルマ戦線・我が荒鷲に撃墜された英機の残骸(鯨の頭部に擬してある)ラシオ飛行場にて＝陸軍省検閲済	
5	20	0	2						蓮と塔の都、マンダレー 日夜独立を祈る民 悠久の歴史を秘めて澄む 王城の濠	マンダレー特電	寫真(上右)サンダムニ・バゴダよりマンダレー・ヒルを見る(同左)蓮の花咲くマンダレー王宮の外濠(下)アラカン・バゴダで獨立ビルマを祈る住民＝陸軍省検閲済	
5	20	0	2		戦戦に偲ぶ南進日本兵の尖兵 武装して先覚者の群 勇名各地に轟く アンコールワットに残る筆蹟					サイゴンにて郷特派員	タイ國アユチャヤ王宮跡に残る日本人街遺跡	
5	20	1	1	東亞民族研究會を創設 共榮圈確立の基本対策								
5	20	1	1						重慶紙、英軍を痛罵[ビルマ敗戦]	リスボン發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	20	1	2						ビルマ作戦目的達成 重慶へも進撃可能 竹 田少佐放送 英米の狼 狽笑止		写真は放送する竹田少 佐	
5	20	1	4		南方句信(高浜虚子 選)(短歌)							
5	20	1	4	時局下における研究所 の使命(上)						真島利行		
5	21	1	1						儚し滇緬公路の夢 暁 町・劫火の跡を征く	緬支国境暁町にて相良 特派員		
5	21	1	2		現地に支金庫 南方開 発金庫陣容整ふ							
5	21	1	2		南方作戦に活躍した我 が兵器 陸軍兵器當局 談 彼我の差、廿年の 開き 精神力の差は更 に大						写真は陸軍省提供①英 米軍を遥かに凌駕しそ の性能を誇る我が十口 加農砲②軽快ながら南 方戦線で活躍した皇軍 野砲③優れた射程と機 動力により戦力を発揮 した我が十五口榴弾砲 ④ピツカースガーデンロ イドの敵小型戦車	
5	21	1	2						ビルマ敗戦を英議會で 猛追及 アトリー弁明に 大童	ストックホルム特電		
5	21	1	4		「南海の花束」(東實映 畫)(新映畫評)							
5	21	1	4	時局下における研究所 の使命(下)						真島利行		
5	21	1	4			銅鑼や笙・銅鼓 佛印、 泰の楽器(南方案内)		銅鑼や笙・銅鼓 佛印、 泰の楽器(南方案内)				笙と銅鼓の写真
5	22	0	1					坪上大使、神戸へ				
5	22	1	1	勝ち抜く文教・人口政策 を決定 興亞指導の大 國民を鍊成 共榮圏の 推進力に増強配置						情報局発表		
5	22	1	1	興和同盟役員決る								
5	22	1	2					“戦時体制完備” パホ ン特使一行帰還 日本 を語る		バンコック特電		
5	22	1	2						ビルマ敗戦と英議會 (社説)			
5	22	1	2						英軍、印度に於てもビ ルマの轍踏まん 米記 者さへ英の敗戦を豫報	チューリツヒ田口特派 員		
5	22	1	3						ビルマ人死の掩護 サ ルウインの流に光る口 三つ 爆撃下に血の操 舵	ラングーン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	23	0	1	大東亜共榮圏經濟建設 座談會 業者の経験を 生かせ 輸送力の解決 が急務						バンコック特電	写真は座談會	
5	23	0	2	建設は更に具体的なれ (社説)								
5	23	0	2					朝野に謝電 泰國使 節、一層友好を誓ふ				
5	23	0	2						英蒋軍残存はデマ ビ ルマ戡定作戦の全貌 現地軍幕僚談	〇〇基地發同盟		
5	23	1	3						援蒋僣し”海なき港” ラジオ 今や皇軍進撃 の拠点(國境超えて雲 南を征く 上)	雲南省龍陵にて=相良 特派員	写真は戦前のラジオに おける物資集散の中心 街・円内は援蒋物資の 補給に躍つたジョン・ ペーカー	
5	23	1	4		南方歌信(斎藤茂吉 選)							
5	23	1	4		南方の映畫工作につ いて (一)					上野一郎		
5	23	1	4					泰の豪華な塗工(南方 案内)				金箔口胎飯器の写真
5	24	0	1	海軍司政長官を増員 新たに九氏発令さる								
5	24	0	2	儀礼章(鐵箒)								
5	24	1	4		南方の映畫工作につ いて (二)					上野一郎		
5	24	1	4		南方諷詠(飯田蛇笏 選)							
5	25	1	1						ビルマ対策空評定[重 慶英]	南京特電		
5	25	1	2					泰、英に辛辣に応酬		バンコック特電		
5	26	1	3						敵屍に群る秃鷹 蒋軍 に皮肉「誓詞出郷」のビ ラ(國境超えて雲南を征 く 中)	雲南省龍陵にて=相良 特派員		
5	27	0	1		高松宮殿下南方戦線を 御視察 将兵に御仁慈 の御言葉					マニラにて河上、久門 兩海軍報道班員謹記		
5	27	1	2		南方指導者養成に綜合 訓練機関設置							
5	27	1	2					泰の新首都決定す		バンコック特電		
5	28	0	1	濠洲は速かに措置を決 し 印度の米英軍を驅 逐せよ 共榮圏の團結 固し 東條首相演説								
5	28	0	2	大勢は米英に非 反撃 の拳に備へよ 外相演 説								
5	28	1	1					満泰公使交換		新京電話		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	28	1	2	大戦争・建設展開の下 不動の銃後 財政 共 榮圏金融も着々整備 賀屋蔵相演説								賀屋蔵相演説写真
5	28	1	2	共榮圏に輝く海軍記念 日 昭南港・マニラ・バ タビア・スラバヤ・バン コック								
5	28	1	3						雲近き峰・おゝ日章旗 ”魔の谷”怒江も今や我 脚下に(國境を超えて雲 南を征く 下)	雲南省龍陵にて=相良 特派員		
5	29	0	1					日泰共同作戦 泰軍ケ ンタン占領	日泰共同作戦 泰軍ケ ンタン占領	バンコック特電		
5	29	0	1	大東亜の経済力發揮 自主國防の基礎完成 首相建設の三重点闡明 〔衆院予算委員会〕								
5	29	0	1		南方へ要員派遣 官庁 事務簡素化で実現 首 相答弁						けさ豫算總會で答辨す る首相	
5	29	0	1	翼賛議會、東亜建設の 全議案成立								
5	29	1	1					[泰軍]ケンタン占領に 祝辞	[泰軍]ケンタン占領に 祝辞	バンコック特電		
5	29	1	2		南方經濟懇談會 解散 と決定 東亞經濟懇談 會に合流							
5	29	1	2		開發は積極的に 徳川 軍政顧問歸來談							
5	29	1	2					驚嘆すべき団結力 泰 法相の訪日印象記		バンコック特電	タムロン法相	
5	29	1	4	第一回東亞道路技術會 議 上						藤井眞透		
5	30	0	2	東亞道路會義開く								
5	30	1	1			横山氏〔佛印資源調査 団長〕西貢発歸國				サイゴン特電		
5	30	1	1						ビルマ英軍 印度遁入 公表	ストックホルム特電		
5	30	1	2			相馬氏〔大使府經濟部 長〕佛印出発				ハノイ特電		
5	30	1	3		南方宛書籍も取扱							
5	30	1	3						荒れた路上に佛の首 ビルマ戦線	アキアブ發同盟	寫眞はビルマ戦線路上 に横はる佛像=陸軍省 検閲済	
5	30	1	4	第一回東亞道路技術會 議 下						藤井眞透		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
5	31	0	2						ビルマに鐵路の凱歌 二千六百キロ制服 ラ シオへ直通列車	ビルマ前線にて寺倉、 相良兩特派員	鐵路部隊・血のにじむ 復舊作業(上)マンダ レー駅構内の活躍(喜 多特派員撮影)(下)ラ シオ駅警備(相良特派 員撮影)=陸軍省検閲 済=	
5	31	0	2	次回は満州國で開催 東亞道路會議終る								
5	31	1	2						ビルマ縦貫鐵道開通	ビルマ前線〇〇にて相 良特派員		
5	31	1	4	共榮圈へ映畫進出(芸 能ニュース)								
5	31	1	4		熱帯になぜ蔬菜が育た ぬか ①						石井悌	
5	31	1	4			目の辺り我が威光 空 襲の敵機をたちまち撃 墜 ハノイ市民讃歎的 的					ハノイにて福永特派員	
6	1	1	1	岡田司政長官新任参拜								
6	1	1	1					坪上大使福岡着				
6	2	0	1					泰軍、ヨン占領[シャン]	泰軍、ヨン占領[シャン]	バンコック特電		
6	2	1	2		華北から南方行政官 (逞しき南方の息吹)						北京發同盟	
6	2	1	2	正金、各地に出張所							昭南發同盟	
6	2	1	3						乞食姿・泣の涙で逃避 ビルマの敗將スチルウ エル		〇〇にて郷特派員	
6	2	1	4		熱帯になぜ蔬菜が育た ぬか ②						石井悌	
6	2	1	4	機長なる自信 大東亞 戦下・文學の方向(一)							中村光夫	
6	3	0	1	資金統制、更に計畫化 軍需充足に優先考慮 資金統制、貿易計畫成 る								
6	3	0	1						重慶軍印度へ遁走 ビ ルマ政庁も近く亡命		ストックホルム特電/リ スボン發同盟	
6	3	0	1						対日協力を確立 ビル マ土候會議[南北シャン 州]		北ビルマ・センウイ發同 盟	
6	3	0	2	火花散る”浮べる兵器 廠							寫眞は特務工作船〇〇 丸における電氣溶接= 中井特派員(海軍報道 班員)撮影=海軍省許 可濟第五六九號	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	3	1	1	翼政會関係から委員十名を増員 大東亜建設審議會								
6	3	1	2	資金と貿易の國家計畫(社説)								
6	3	1	2		損保の南方進出 近く実現 協會の立案進む							
6	3	1	3		生れる石油學校							
6	3	1	4		南方通信(土屋文明選)(和歌)							
6	3	1	4	我民族の若き血 大東亜戦下・文學の方向(二)						中村光夫		
6	3	1	4		熱帯になぜ蔬菜が育たぬか ③					石井悌		
6	4	0	1						怒江西岸の残敵に大掃蕩戦を開始 ビルマ戦線渡河中の敗敵潰滅	ビルマ前線にて相良特派員		
6	4	1	2			日佛印經濟協定近く調印				ハノイ特電		
6	4	1	2			坪上[駐タイ]大使サイゴン着		坪上[駐タイ]大使サイゴン着		サイゴン特電		
6	4	1	2						懸崖へ決死の作業 神速鐵路を修復 ビルマ建設部隊の偉業 現地軍幕僚談	ビルマ前線にて相良特派員		
6	4	1	4	先人苦闘の賜 大東亜戦下・文學の方向(三)						中村光夫		
6	5	0	1						ビルマ避難民インドへ	ストックホルム特電		
6	5	0	2						ビルマの人、物すべて日本の戦捷に捧ぐ 要人ら飯田最高指揮官に誓ふ	ビルマ前線にて相良特派員		
6	5	1	1	共榮圏人口問題討論								
6	5	1	2			日佛印經濟協定 消費米以外は悉く日本へ				ハノイ特電		
6	5	1	2					泰國から総領事派遣 日泰貿易協定に備ふ		ストックホルム特電		
6	5	1	2					わが占領地区へ移住を希望 泰國の華僑覚醒す		バンコックにて吉田特派員		
6	5	1	4		南方歌信(佐々木信綱選)							
6	5	1	4			「西住戦車隊長伝」ハノイで大当り(芸能ニュース)						

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	6	0	1						ビルマに軍政を施行 中央行政機関を設立 速やかに治安産業を回復 飯田軍司令官恩威 備はる布告／武権と政 権分離 義勇軍の本分 訓す／中央行政機関の 設立委員 九氏の略歴 ／〔飯田〕軍司令官布 告／永い反英運動 バ・モ博士／東亞の地 に団結 バ・モ博士烈々 の演説	ビルマ前線にて相良特 派員／ビルマ〇〇發同 盟／ビルマ〇〇發同盟 ／ビルマ前線發同 盟／ビルマ前線〇〇に て同盟	飯田軍司令官／バーモ 博士	
6	6	0	2						変装して敵中に潜入 隠家のバ・モ博士を救出	ビルマ前線發同盟		
6	6	1	2						ビルマの軍政施行(社 説)			
6	6	1	4		南方の過剰資源①					友田宜孝		
6	7	0	1			復仇成ると佛印感謝 〔デエゴ・スワレス攻撃〕				サイゴン發同盟		
6	7	0	1			佛印、儲備券相場を發 表				サイゴン特電		
6	7	1	1					泰新首都近く着工		バンコック發同盟		
6	7	1	2	共榮圏通貨政策の運営 (社説)								
6	7	1	4		南方の過剰資源②					友田宜孝		
6	8	1	1	占領全域に軍政確立 俘虜実に三十四萬二千						大本營発表		
6	8	1	1	開発も飛躍進展 占領 地わが本土の四倍								
6	8	1	1	共榮圏豊かなり 民族 の団結愈々強固 南方 作戦幕僚談						〇〇基地にて郷特派員		
6	8	1	1					文化提携推進 坪上大 使帰任談		バンコック特電		
6	8	1	2	大東亞戦争正に半年 (社説)								
6	8	1	2		南方生活の設計を急げ 三木陸軍医務局長談					バタビヤ特電		
6	8	1	2	敵軍破摧に資源十分 齋藤報道部長談 雄々 し建設の響						〇〇特電		
6	8	1	2					泰ムオンユウ市占領	泰ムオンユウ市占領	バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	8	1	3					共榮圏の南と北に二代の挺身 故鄭孝胥氏の御曹司泰國へ		奉天特電	鄭禹氏	
6	8	1	3					日泰交驩の集ひ				
6	9	0	1	徴兵合格者へ現地語 全國で講習								
6	9	0	1		官庁の増員見合せ 南方 要員に充足 けふ次 官會議 各省協力申合 せ							
6	9	0	1	占領地の地名統一 大 東亞建設に即して改変								
6	9	1	2		邦人雄飛を待つ南方 建設戦に参加せよ 南 方派遣軍幕僚談					〇〇基地發同盟		
6	9	1	3		開南義塾開かる							
6	9	1	4	「大亞細亞先覚伝」(書 評)						田中正明		
6	9	1	4	宗教政策の基調(一)						古野清人		
6	9	1	4		ウオーレス著・谷田專治 訳「熱帯の景觀」(書 評)					鹿野忠雄		
6	9	1	4		南方の過剰資源③					友田宜孝		
6	10	0	2		児童へ南方紹介展							
6	10	0	2		南から出る莫大な資源 新しい活用の道研究 科學技術の権威者で委 員會							
6	10	0	2		南方事情講習會開く							
6	10	0	2		南方拓土の花嫁養成							
6	10	0	2					泰から近く珍果も到來 ドリアンやマンゴスチン		バンコック特電	寫眞は(上)ドリアン (下)マンゴスチン	
6	10	1	2				泰佛印新國境遠からず 畫定			サイゴン發同盟		
6	10	1	3					泰國大使夫人らの訪れ 〔訪日〕		福岡電話	寫眞はブイチャナム女 史(右より三人目)の一 行=觀光ホテルにて= 福岡支局電送	
6	10	1	3						残骸さらす”湖江物資” 援蔭裏街道の起点パー モ 劫火の跡。はや復 興色	イラワジ河畔にて寺倉 特派員	パーモ埠頭に遺棄され た英軍の軍需品=陸軍 省検閲済	
6	10	1	4	宗教政策の基調(二)						古野清人		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	10	1	4		南方の過剰資源④					友田宜孝		
6	10	1	4						アキヤブ・住民の手に還る 眼を輝かし協力 近代 都市に蘇る生色		アキヤブにて水城特派 員	
6	11	0	2		南方の女性 華僑の娘 (絵と文)					中村研一		女性の絵
6	11	1	4	宗教政策の基調(三)						古野清人		
6	11	1	4		南方の過剰資源⑤					桑田勉		
6	12	0	2					タイ経済はタイ人で 外 人に廿七種の職業閉出 し		バンコック特電		
6	12	1	1						阿修羅の空中戦 丸 山、上田兩機ビルマに 散る	ビルマ〇〇基地發同盟		
6	12	1	2					泰で印度獨立大會 東 亞在住二百萬を結集		バンコックにて吉田特 派員		
6	12	1	3	海の從軍断想①						澤山特派員 海軍報道 班員		
6	12	1	3					泰國大使夫人入京				
6	12	1	4		華僑①(南方案内)							
6	12	1	4		南方の過剰資源⑥					桑田勉		
6	13	1	1					新興タイ國に革新の旋 風 固有の文字も廃棄 盟主日本に指導の重責		バンコックにて増田特 派員		
6	13	1	2						國防資源の宝庫ビルマ 無尽蔵の重要鉱物 米 も内地を賄ふに十分 ビルマ作戰軍參謀談	ビルマ前線特電		
6	13	1	3		業務用椰子油を配給							
6	13	1	3	海の從軍断想②						澤山特派員 海軍報道 班員		
6	13	1	4		華僑②(南方案内)							
6	13	1	4		南方の過剰資源⑦					岸武八		
6	14	0	1					[インド]獨立運動代表 泰外務省を訪問		バンコック發同盟		
6	14	1	2					泰軍、モーンカルク占領		バンコック特電		
6	14	1	2					泰緬間の貿易回復	泰緬間の貿易回復	バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	14	1	2						南方圏の進軍譜 “東の潮に乗る” パ・モ博士協力を語る	ランゲーン発同盟		
6	14	1	2						緬甸方面軍慰霊祭	ビルマ前線にて寺倉特派員		
6	14	1	2	日本は新秩序の先駆 大東亜建設を敬慕 フランスに湧る共鳴						ヴィシー特電		
6	14	1	2			印度支那防衛部隊本部 開庭式				ハノイ特電		
6	14	1	2			栗山事務総長西貢へ				ハノイ発同盟		
6	14	1	3	海の従軍断想③						澤山特派員 海軍報道班員		
6	14	1	3						印緬国境・スウエー血の戦ひ 隊長の代ること五度び 鬼神も避く肉弾突撃 激戦を物語る 夥しい鹵獲品	ビルマ前線にて寺倉特派員	河を渡り悪路を征服し前線に食糧を運ぶ自動車隊 ビルマ戦線にて杉本特派員撮影＝陸軍省検閲済杉本	ビルマ・インド国境地図
6	14	1	4		華僑③(南方案内)							
6	15	1	1					けふ 盤谷に獨立大會		バンコック特電		
6	15	1	2					華僑から「失地」回復一定職業は泰人独占		バンコックにて増田特派員		
6	15	1	3	海の従軍断想④						澤山特派員 海軍報道班員		
6	15	1	4		動物の宝庫 無尽蔵な熱帯の自然					江崎悌三		
6	15	1	4		豊富な植物資源					本田正次		
6	15	1	4		日本的に見直せ 重要な地下資源					大塚弥之助		
6	16	1	2	大東亜電気懇談會								
6	16	1	2					泰政府文武官に布告		バンコック特電		
6	16	1	2						ビルマ報道五戦士慰霊祭	ビルマ前線にて寺倉特派員		
6	16	1	3						長いパイプに安堵の煙り ビルマの印度人	喜多特派員	ビルマ戦線メイミヨにて文・寫眞喜多特派員	
6	16	1	4	シャルル・ブロンデル著 宮城音弥訳「未開人の世界 精神病者の世界」(書評)						今野武雄		
6	16	1	4	國際日本語確立の根柢(一)						石黒魯平		
6	16	1	4		華僑④(南方案内)							
6	17	0	2		南方資源研究所の陣容							
6	17	1	1			西貢から[印度獨立]支持の電報				サイゴン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	17	1	4		南方余談①					北村小松		
6	17	1	4	国際日本語確立の根柢(二)						石黒魯平		
6	18	0	1		谷情報局総裁 官吏減員を示唆 南方の要員一萬五千							
6	18	0	1					泰國日本圓貨を法定基準に 大蔵省きのふ布告		バンコック發同盟		
6	18	1	1		各省高等官の定員 三割程度を減員 事務簡素化と南方充足へ							
6	18	1	1						全ビルマの佛教徒聯盟 結成 建設へ協力	ビルマ前線發同盟		
6	18	1	2		南方棉系研究會長に阿部氏							
6	18	1	2		陸軍南方作戦と食糧 腐敗を梅干で制圧 海路万里輸送陣の苦心							
6	18	1	2				該当記事ナン				共榮圏に聳える記念塔 バンコックに完成近き 泰佛印国境畫定記念忠靈塔、来る二十四日に 除幕(大東特派員撮影・台北電送)	
6	18	1	2					日泰經濟を強化 泰國保証準備圓貨指定の意義		バンコックにて増田特派員		
6	18	1	3					泰國革命記念の祝賀 [泰大使館]				
6	18	1	3						悶絶する“空の要塞” 単機で米の秘蔵機に喰ひつく 陸鷲ランゲーンの殊勲	ビルマ〇〇高地にて水城特派員	写真はボーイングB十七E型機	
6	18	1	4		女子の職業①(南方案内)							
6	18	1	4		南方余談②					北村小松		
6	18	1	4	国際日本語確立の根柢(三)						石黒魯平		
6	19	0	1					英米の攪乱企図粉碎 賀屋蔵相談 經濟提携緊密化す[借款]				
6	19	0	1					日銀に預金勘定開設 [タイとの円決済]				
6	19	0	1					日銀を中心とする総合決済制確立 責任重大、結城総裁談				
6	19	0	1					借款協定要綱				
6	19	0	1					泰へ二億円の借款供与 大東亞經濟圏のわが理想実現 けふ調印、契約成立す			日泰借款協定調印式 (右)結城日銀総裁 (左)ワニツト經濟使節	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	19	0	1					ワニット代表談[日タイ 借款]				
6	19	0	2		越中富山のお菓も「南 方進出」					富山電話		
6	19	0	2		観光局も南方進出 宣 撫と接収ホテル経営							
6	19	1	1					日商、泰へメッセージ				
6	19	1	1						該当記事ナシ		バ・モ博士の挨拶(ビル マ中央行政機関設立準 備委員会結成式にて) 軍宣傳班提供【台北よ り無線電送】	
6	19	1	2	東亞交易機構の確立を 要望 日商政府に意見 書								
6	19	1	2					泰國へ借款供与(社 説)				
6	19	1	4		女子の職業②(南方案 内)							
6	19	1	4		南方余談③					北村小松		
6	20	0	2						世界の秘境シャン・ス テートを征く”日本人 そっくりでせう” 冗談飛 ばし喜ぶ王様 懐し松 の香 宛ら秋の六甲	タウンジーにて兒玉特 派員	南シャンステート行略圖 ／寫眞(上)インレ湖の 足漕ぎ舟、片手片足で 重心をとりながら舟をあ やつる船頭(下)ソーパ の私口=喜多特派員撮 影	
6	20	1	1			日佛印の交易 本年度 実行協定成る				サイゴン特電		
6	20	1	2	英國首相の再訪米(社 説)								
6	20	1	3	東亞研究の殿堂実現へ								
6	20	1	4		女子の職業③(南方案 内)							
6	21	0	1					パートの信用に盤石の 基礎 坪上大使談		バンコック發同盟		
6	21	0	1					泰、専任外相任命		バンコック發同盟		
6	21	0	1					塚田総参謀長盤谷訪問		バンコック特電		
6	21	0	2			大學専門校へ寶船 佛 印の皇軍が押収圖書を 贈る						
6	21	1	1						ビルマ中央行政機関設 立へ 初打合會開く	ビルマ前線特電		
6	21	1	1					廣田氏ら一行の略歴				
6	21	1	1					廣田特使抱負を語る 理解を深めに泰は初め てだが宿縁深い				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	21	1	1					情報局発表〔廣田特使派遣〕				
6	21	1	1					慶祝使節団一行				
6	21	1	1					泰では國賓の歓迎		バンコック特電		
6	21	1	1					泰國へ答礼使節 廣田元首相を特派			使命を語る廣田大使	
6	21	1	1					提携強化の大役 盤谷に使用する重臣廣田				
6	21	1	1					矢田部大使親任式			従三位勳三等矢田部保吉、外務省南洋局長水野伊太郎、陸軍小將岡本清福、海軍小將岩越寒季	
6	21	1	2					廣田弘毅氏の泰國差遣(社説)				
6	21	1	2					泰の中銀九月に開業 金融財政着々と整備へ		バンコック發同盟		
6	21	1	3						秘境シャン・ステート 第二報 まるでお伽の夢の國 風のまにまに動く湖上の浮島や そろりと歩く頸長女	タウンジーにて兒玉特派員	インレ湖の浮島に住む湖人インラー族の水上部落とバザーで買物をして頭にのせて帰るシャン女口=喜多特派員撮影	
6	21	1	4		風俗と習慣 ①(南方案内)							
6	22	1	2			暁に翻る佛國旗 ベタン政府絶対支持(西貢)(共榮團行進譜 明るく健実)				サイゴン特電		
6	23	1	2					けふ盟邦泰の革命記念祭 英靈に感謝の黙禱 獨立國の誇り高らかに		バンコックにて上山特派員		
6	23	1	3		邦人の南進導く 科學研究費に十万円							
6	23	1	4		風俗と習慣 ②(南方案内)							
6	24	0	1					日泰兩國に感謝 コミュニケ[11]バンコック會議]		バンコック發同盟		
6	24	0	2					王朝謳歌祝典から二ヶ月後に革命 あす泰の十周年記念			語る宮崎申郎氏	
6	24	1	1	起て!日本へ集れ 今ぞ大乗大団結の秋(大東亞諸民族への公開状)						大川周明	大川周明博士	
6	24	1	2		軼廢貿易業者の南進(社説)							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	24	1	2					昭南・盤谷間直通列車 七月一日より運転		昭南發同盟		
6	24	1	2						ビルマの郵便復活	ラングーン發同盟		
6	24	1	3						咲誇る花蔭に地獄繪 熱風に屍臭漂ふマンダ レー ビルマ彩管行 田 村孝之介畫伯	バンコックにて上山特 派員	田村幸之介畫伯	
6	24	1	4		都會生活(南方案内)							
6	24	1	4		南方の爬虫類①					古賀忠道		
6	25	0	2						敗敵去って日に蘇るア キヤブ 敵襲に驚かぬ 住民 野菜献げて建設 に協力	ビルマ、アキヤブにて水 城特派員		ビルマ地図
6	25	0	2						偲ぶ”ビルマの松蔭”亡 命を助けた邦人 いまも 生きる傑僧烈々の氣	長崎電話	寫真はオツタマ僧正	
6	25	1	2	日本は“圓の隣組長” 共榮圈金融は東京中心 原口〔大蔵省為替〕局 長放送							寫真は原口為替局長	
6	25	1	2						バ・モ博士抱負を語る 治安回復が先決 ビル マ独立へ今ぞ光明	ラングーンにて根津特 派員	バ・モ博士	
6	25	1	3	新京で興亞教育大會								
6	25	1	3					盟邦こそぞて集ふ、帝 都で泰國革命十周年祝 賀會			祝賀會で泰國楽器の説 明を聴く東條首相(中 央)と説明するワニツト 經濟相(左)	
6	25	1	4		田舎の生活(南方案 内)							
6	26	1	2		南方電力開発の早急実 施 日本經聯建築							
6	26	1	3	東京から一週間で昭南 港へ直進 軌道に乗る 大陸縦断鐵道								大陸横断鐵道地図
6	26	1	4		南方の爬虫類②					古賀忠道		
6	26	1	4		熱帯の毒虫①(南方案 内)							
6	26	1	4			午睡もしない兵隊さん サイゴン(南方から銃後 へ)				日本ホテル會計員 田 中マリ子さん	寫真は田中マリ子さん	
6	27	0	1		興南鍊成所新設 南方 經營の官民鍊成							
6	27	0	1					廣田、矢田部兩大使に 謁謁				
6	27	0	2			泰、佛印へ邦樂を		泰・佛印へ邦樂を				
6	27	1	2	[外國人關係取引取締 規制]指定外國人除外								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	27	1	2			日佛印経済協定 正式 調印近し				サイゴン發同盟		
6	27	1	2				泰佛印国境畫定 愈よ 正式調印			サイゴン發同盟		
6	27	1	3		空飛ぶ往復葉書 南へ 結ぶ温い便り							
6	27	1	4		毒虫②(南方案内)							
6	27	1	4		南方の爬虫類③					古賀忠道		
6	27	1	4			安南娘も兵隊さんが好 き(南方から銃後へ)				軍口保會計係 増井照 子さん	寫眞は買物をする兵隊 さんに應對する増井照 子さんと安南娘たち	
6	27	1	4			よく働く安南婦人 まず 言葉の握手が第一(南 方から銃後へ)				新政策派協會員 荻須 高德		
6	27	1	4						ビルマ二題 大江卓の 繼走記	雑賀博愛		
6	27	1	4						ビルマ戦記 日映で製 作(芸能ニュース)			
6	28	0	2			南佛印高原ゆく寺内将 軍 湖畔の“秋”に慰問 の旅 花乱れ咲く新療 養所を訪ねて				ダラツトにて福永特派 員	寺内最高指揮官の和や かなひととき ジャバ島 チバナスの宿舎で兒玉 伯(左)と歓談=武野特 派員撮影	
6	28	1	2					廣田特使歓送 外相の 招宴			挨拶する廣田特使(右 端)	
6	28	1	2						”安心出来るビルマ人” 台北着の杉田司政長官 談			
6	28	1	4		木船建造と南洋の材木 (上)					森三郎		
6	28	1	4			日本への希望に充ちて ペトルスキー高校生阮 氏風					圖は阮氏鳳さんの筆蹟	
6	28	1	4						ビルマ二題 新國号考	雑賀博愛		
6	29	1	2			織維戦線に新鋭兵 佛 印の黄麻を大增産 經 済協定明るく反映				ハノイ特電		
6	29	1	2					待たれる特使 圓、 バートの二人三脚(共 榮團の雄々しき成長)		バンコック特電		
6	29	1	2						愛國聯盟を結成 ビル マ青年、独立へ躍起	ラングーン特電		
6	29	1	3	學生の希望・南へ行く 就職夏の陣 繰上げ卒 業に大東亜景氣							募集の掲示板に見入る 學生たち	
6	29	1	3					日本はなぜ強い 隣組 にも眼を注ぐビブン首 相 信望日に高し“泰の 柱”		バンコック特電	泰國革命十周年記念祭 第二日に・泰佛印国境 畫定記念塔の除幕式に 臨むビブン首相=大東 特派員撮影	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
6	29	1	3						危険なし、資源は豪勢 「ビルマへ来い」と飯田 軍司令官	ランゲーン特電	陣中で語る飯田最高指 揮官	
6	29	1	4		木船建造と南洋の材木 (下)					森三郎		
6	30	0	2						ビルマ前線の貯金熱	ビルマ前線にて寺倉特 派員		
6	30	0	2						傑僧オツタマの思ひ出 ここにも感慨の一家 凄 じい気魄の人 独立を 語るあの表情		傑僧オツタマ氏を語る 丹羽禮介畫伯・同みよ 夫人・浪江さんら(左よ り)	
6	30	1	1	徳義の商道を拓け 目 覚めよ南方華僑(大東 亞諸民族への公開状)						井出季和太	井出季和太博士	
6	30	1	1					泰國の[交換]米人ら出 発		バンコック特電		
6	30	1	2					躍進する馬來「陸と海」 の交通 けふ昭南島・ バンコック直通急行開 通		昭南特電		
6	30	1	3					泰へ初の交換學生		大阪電話		
6	30	1	4						兵隊さん大喜び 鮮か な日本の童謡や軍歌 ビルマ人の慰安音楽會 (南方から銃後へ)	ビルマ前線にて寺倉特 派員		
6	20	0	1			芳澤大使西貢へ				ハノイ特電		
7	1	0	1		南方諸地域開拓農民の 錬成 八月から開始							
7	1	0	1					泰佛印国境畫定の苦心 矢野委員長一行に秘話 を聴く(上)熱帯自然の 障碍克服 敢然メコン 河の秘境へ		サイゴン特電	[上]象でゆく委員一行 [下]太湖における水上 測量=□□を見る井上 総領事・指測量をする 梅松技師、左端は竹内 中佐	タイ・佛印国境地図
7	1	0	1					広田特使けさ泰國へ出 発 攻守同盟 晴れの 慶祝答礼		外務省発表	廣田特使・見送りの首 相以下に挨拶(東京駅 にて)	
7	1	1	4		よく工夫されてゐる原住 民の家屋や衣服(南方 から銃後へ)					藤田嗣治		
7	1	1	4		適格者①(南方案内)							
7	2	0	1					泰佛印国境畫定の苦心 矢野委員長一行に秘話 を聴く(下)豹虎の襲撃 睨む大蛇 密林二百四 十軒の測量		サイゴン特電	上 ソワイ・トンテオウ の國境標柱(泰側から 見たもの) 下 ジャン グル地帯で測量する一 行	
7	2	1	1	大東亞建設新二方策成 る「農林水産業」と「交 通」を審議會答申						情報局発表		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	2	1	1	構想雄大な具体策 鈴木幹事長談 実行性を指摘								
7	2	1	1	内地人口、農村に四割 主要食糧は日満自給 交通は“戦略へ転換”確保								
7	2	1	3		宮本三郎畫伯帰る					台北電話		
7	2	1	3		南方へ富嶽の名畫 小室翠畫伯が赤誠の献納						小室翠畫伯	
7	2	1	3			西貢に南洋學院						
7	2	1	4		適格者②(南方案内)							
7	3	0	1		遣南文官を優遇 内閣に人事課を新設							
7	3	0	1			昭南佛居留民佛印へ				昭南發同盟		
7	3	0	2					「勝利の記録」に絶讃の嵐 我戦況映畫にバンコック沸く		バンコック特電		
7	3	1	2		遣南文官の銓衡 人事課が中心で着手							
7	3	1	2		【南方】建設案更に進む(社説)							
7	3	1	3		南方派遣の人々に特典 軍属の所得税を免除 在任中従軍と同じ扱ひ							
7	3	1	3		さアこれに“戦場便り”を南へ「空の往復葉書」を郵送						寫眞は「空の往復ハガキ」の荷作り	
7	3	1	4		南洋木材の腐朽性 上					十代田三郎		
7	3	1	4		南の空は燦たり (一)					藤田嗣治		
7	3	1	4		適格者③(南方案内)							
7	4	0	1		内閣三長官ら南方問題協議							
7	4	0	2			浅間丸西貢に寄港				サイゴン發同盟		
7	4	0	2						復興のビルマ縦断記 日本の機關車も一役高らかに響く更生譜	ラングーンにて相良特派員	平和還るメイミヨ高原 喜多特派員撮影	
7	4	1	4		南洋木材の腐朽性 下					十代田三郎		
7	4	1	4		南の空は燦たり (二)					藤田嗣治		
7	4	1	4		適格者④(南方案内)							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	5	1	2						豊富多様の資源 積極 開発が喫緊 ビルマ桜 井軍政顧問談	ラングーン特電		
7	5	1	2	興亞同盟陣容 部長、 次長決る								
7	5	1	2		竹田宮恒徳王殿下 三 たび南方御視察 きの ふ福岡に御帰還						昭南島ブキテマ高地で 説明を御聴取遊ばされ る竹田宮殿下(越智特 派員謹寫)	
7	5	1	2					日泰の圓決済きのふ実 施		バンコック特電		
7	5	1	2					泰、為替管理を断行		バンコック特電		
7	5	1	2					泰の遷都正式決定		バンコック特電		
7	5	1	3		南進の先駆偲ぶ 菅沼 貞風の顕彰大會							
7	5	1	3			南洋學院募集要項						
7	5	1	4		保健の注意(南方案 内)							
7	5	1	4		南方諸地域の港湾 上					黒田静夫		
7	5	1	4		南の空は燦たり (三)					藤田嗣治		
7	6	1	1						”抗戦は亡國のみ” 在 ビルマ華僑代表通電を 発す	ビルマ前線發同盟		
7	6	1	2				喜色溢る新國境誕生 泰佛印協定 十一日に 調印			サイゴンにて福永特派 員		
7	6	1	2					泰中銀本月中に開業		バンコック發同盟		
7	6	1	2						續々歸る避難民 正金 へ預金者の殺到 ビルマ (共榮園の建設進む)	ラングーン特電	日本語を學ぶ蘭貢の僧 侶 松本特派員撮影	
7	6	1	4		ニュース映畫 南方工 作進む(芸能ニュース)							
7	7	0	2		生活にも潤ひを 留日 學生の指導に新団体							
7	7	1	2	大東亞學術教育聯絡協 議會設置								
7	7	1	3		南方戦線従軍畫展覽會 (社告)							
7	7	1	4		乳幼児の衛生①(南方 案内)							
7	7	1	4		南方諸地域の港湾 中					黒田静夫		
7	8	0	1			共榮園の七・七記念日 西貢				サイゴン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	8	0	1					共榮圏の七・七記念日 バンコック		バンコック特電		
7	8	0	1						共榮圏の七・七記念日 ビルマ	ラングーン特電		
7	8	1	1					謀略を許さず 岩田情 報部長談[タイ中國交]		バンコック發同盟		
7	8	1	1					外務當局談[タイ中國 交]				
7	8	1	1					國府外交部発表[タイ 中國交]		南京特電		
7	8	1	1					國交を妨げた米英の奸 策 猪外交部長談[タイ 中國交]		南京特電		
7	8	1	1					タイ國、國民政府を承 認す 大東亜の団結い よいよ固し				
7	8	1	1					全アジアを挙げて重慶 否認 史上最初の中タ イ國交				
7	8	1	1					泰國の國民政府承認 (社説)		南京特電		
7	8	1	1					民族の結合を希求 泰 政府通告文		バンコック特電		
7	8	1	2					泰國の國民政府承認 (社説)				
7	8	1	3		南方作戦記録畫製作畫 家報告講演會(社告)							
7	8	1	3					さあ“隣組の祝賀會” 喜びの泰、中華兩大使				
7	8	1	4		乳幼児の衛生②(南方 案内)							
7	8	1	4		南方諸地域の港湾 下					黒田静夫		
7	9	0	1					重光大使、汪主席に祝 辞[タイ中國交]		南京發同盟		
7	9	1	1						ビルマ大作戦の全貌		最高指揮官もこの勞苦 ビルマ方面最高指揮官 飯田中将のシツタン河 畔における宿舎(陸軍 省提供)	
7	9	1	2						ビルマ民衆に告ぐ 新 精神で建國せよ アジ アのために日緬親和せ ん 緬甸作戦手記の感 激8社説)	緬甸研究會會長 國分 正三	國分正三氏	
7	9	1	3		青年南方文化協會							
7	9	1	4		乳幼児の衛生③(南方 案内)							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	10	0	1				泰・佛印國境畫定成る 十一日調印式			サイゴン發同盟		
7	10	1	2		該当記事ナシ						南の流行、代用傘 富 重本社特派員(海軍報 道班員)撮影 海軍省 許可済第五六九号	
7	10	1	2					特使に沸立つ盤谷 ピ ブン首相も宿舎を檢分		バンコック特電		
7	10	1	3	戦跡に揮ふ彩管 畫心 も弾む 從軍三畫伯の 講演會							會場を埋めた講演會の 聴衆、円内は(下の右) 宮本(同左)鶴田(上の 右)藤田の各畫伯と(上 の左)秋山中佐	
7	10	1	4	大東亞戰從軍畫展(美 術界)								
7	11	0	1					広田遣泰特派大使 晴 のバンコック入り 駅頭 ピブン首相と固き握手		バンコック特電	サイゴン到着の廣田特 使 出迎への芳澤大使 と握手=サイゴン飛行 場にて繁田特派員撮影	
7	11	0	1					文武百官出迎へ バン コック驛頭の盛観		バンコック特電		
7	11	0	2	留日學生會發會式								
7	11	0	2			踊り一つにも滲む東亞 同種の香り 矢野公使 の安南談義				サイゴンにて福永特派 員	寫眞はカンボジアの舞 姫と矢野公使(円内)	
7	11	1	1	大迫元繁氏 陸軍司政 長官に							大迫元繁	
7	11	1	1				泰佛印國境畫定 けふ 西貢で輝く調印			サイゴン特電		
7	11	1	2				泰佛印國境の確定(社 説)					
7	11	1	2						ビルマ治安良好 ビル マ作戦軍報道部長の談	ビルマ前線特電		
7	11	1	3					広田さんに沸く盤谷 迎 ふ“チャイヨー”の嵐 異 彩駅頭にターバン姿		東京=盤谷 國際電話		
7	11	1	4						笑顔で睦み合ふ ビル マ女性と兵隊さん(南方 から銃後へ)	ラングーン發	寫眞は兵隊さんの指導 で懸命にミンシをあやつ るビルマ女性	
7	12	0	1				蜿蜒二千二百軒 僅か 一年で難事業完遂			サイゴン特電		
7	12	0	1				平和条約の理念具現 三國委員の努力に感謝 矢野委員長演説			サイゴン特電		
7	12	0	1				[國境畫定]委員會解 散式本月末挙行			サイゴン發同盟		
7	12	0	1				共榮の確立近し 三國 の友好更に緊密 泰代 表演説			サイゴン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	12	0	1				日本委員に感謝 佛印代表演説			サイゴン發同盟		
7	12	0	1				泰・佛印國境畫定調印成る 東亞の恒久平和に一礎石 三國の眞摯協力実を結ぶ			サイゴンにて内藤特派員		タイ・佛印國境地図
7	12	0	1					広田特使 王宮に参入 “疲れも出ずに元気” 広田君盤台着の父を語る		バンコック發同盟		
7	12	0	2	大東亞佛教団のお盆まつり								
7	12	0	2		「南方文協」が発足							
7	12	1	2				新東亞を急がく爽やかなベン 歴史的な泰・佛印國境調印式			サイゴンにて内藤特派員		
7	12	1	2				矢野委員長放送			サイゴン特電		
7	12	1	2					“國情をよく視察” 廣田大使 入泰第一歩の所感		バンコック特電		廣田大使(顔写真)
7	12	1	2					〔使節団〕由緒の寺院に参詣、寄進				
7	12	1	4		南方植物の病害蟲対策①					上遠章		
7	12	1	4						バタン族の奇習 頸の長いほど美人(南方から銃後へ)	日本ビルマ協會 山田秀口氏	写真はバタン族の頸長女	
7	13	1	1					広田特使國書を捧呈 撰政殿下懇ろに御答禮		バンコック特電	廣田特派大使	
7	13	1	1					日泰の友好不変・広田特使声明		廣田特使聲明		
7	13	1	1					使節団一行に贈勲 盛大、歡迎の晩餐會				
7	13	1	2			玉蜀黍増産に力瘤 カンボジャの健全な足取り(共榮團の週間記録)				西貢特電	田植えの号令に吹く水牛の角笛=佛印ミトにて繁田特派員撮影=	
7	13	1	2					〔日タイ関係〕(有題無題)				
7	14	0	1					廣田特派大使 傷病兵を慰問		バンコック特電		
7	14	1	2		日本經濟聯盟の〔南方立地意見〕捷論							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	14	1	2					日泰締盟の饗宴 ピン首相、廣田特使を招待		バンコック特電	廣田特使、出迎へのピン首相と固き握手(バンコックのチットダラー駅)下は一向に歓呼を浴びせる沿道の男女學生(ピツサヌローク路にて)十日大東特派員撮影 台北より無線電送	
7	14	1	4		南方植物の病害蟲対策②					上遠章		
7	14	1	4		進出せよ都會の女性(南方から銃後)					帝國美術院會員 藤田嗣治		
7	14	1	4						ビルマ人形 糸繰り(南方から銃後へ)	西澤笛畝		人形の写真
7	15	1	2			日佛印実行協定調印 我要求を全的に承認				サイゴン發同盟		
7	15	1	2					各病院に寄附金〔廣田大使〕		バンコック特電		
7	15	1	2					日泰協力の誓ひ 廣田大使、入泰第五日		バンコック特電		
7	15	1	2					贈物は機関銃 ピン首相四十五回の誕辰		バンコック特電		
7	15	1	3					三百有余年前の壁畫に“日の丸”既に南へ進軍 泰に我國旗の新資料			寫眞 上 日の丸を押したてゝ行軍する山田長政の軍隊を描いたバンコック博物館所蔵の壁畫の一部 下 今は廢墟のアユチャヤ王朝の跡(円内)は語る笹原助氏	
7	15	1	4		使用人①(南方案内)							
7	15	1	4		南方植物の病害蟲対策③					上遠章		
7	15	1	4			健気な日本女性の献金〔ハノイ〕				ハノイ特電		
7	15	1	4						ビルマ張本人形(南方から銃後へ)	西澤笛畝		人形の写真
7	16	0	2		軍票以外は嚴禁 南方渡航者は注意							
7	16	0	2					廣田特使アユチャへ		バンコック發同盟		
7	16	1	1		鈴木企畫院總裁南方を視察 戰鬥精神で獨創建設 物資獲得見込みも期待以上							
7	16	1	1			日、佛印の交渉妥結 輸出入細目、十八日調印				サイゴン特電		
7	16	1	1					廣田特使放送 泰國民に呼かく		バンコック發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	16	1	4		使用人②(南方案内)							
7	16	1	4		南方植物の病害蟲対策④					上遠章		
7	16	1	4					泰の衣装人形 手操り [南方から銃後へ]		西澤笛畝		人形の写真
7	17	0	1					該当記事ナシ			泰王宮前の廣田特使 (謁見を終って退出した一行)大東特派員撮影 (福岡支局電送)	
7	17	1	1					廣田特派大使 各方面を視察		バンコック特電		
7	17	1	1					泰國民の國防献金		バンコック特電		
7	17	1	2		南方建設は創造的なれ(社説)							
7	17	1	3					日泰文化會館 盤谷の離宮に計畫		バンコック發同盟		
7	17	1	4		使用人③(南方案内)							
7	17	1	4		南方植物の病害蟲対策⑤					上遠章		
7	17	1	4					泰の土製“風俗人形”(南方から銃後へ)		西澤笛畝		人形の写真
7	18	0	1			日佛印通商諒解事項 あす西貢で調印				サイゴン特電		
7	18	1	2			日佛印經濟交渉の協定 内容けふ發表						
7	18	1	2					“勝利は我らに” 廣田特使 泰官民に強調		バンコック特電		
7	18	1	4		使用人④(南方案内)							
7	18	1	4		南方植物の病害蟲対策⑥					上遠章		
7	18	1	4						今こそ恩返し 皇軍に慕ひよるビルマ娘の看護婦さん(南方から銃後へ)	ビルマ前線にて寺倉特派員		
7	19	0	1			日佛印經濟協定 けふサイゴンで調印				サイゴン發同盟		
7	19	0	1						ビルマ英司令官歸國	ベルリン特電		
7	19	0	1						警官に變装して脱走間一髪、英蔭軍から逃る 獄を逃れ皇軍の手へ(バ・モ博士手記)	ラングーン特電	バ・モ黨に迎えられるバ・モ博士(ラングーンにて杉本特派員撮影)	
7	19	0	2					日本にある心地 嬉しい長政以來の交り 廣田さんの泰印象談		バンコックにて上山特派員	革命記念寺を参拝した廣田特使(○印)と坪上大使 大東特派員撮影	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	19	1	1			ゴムは本國と交渉中 〔經濟協定〕				サイゴン發同盟		
7	19	1	1			情報局発表〔日佛印經 濟協定〕						
7	19	1	1			日・佛印、物資交易全し 本年度取極調印さる						
7	19	1	1			対日供給量激増 佛印 へは繊維製品等						
7	19	1	1			大使府発表〔日佛印經 濟協定〕				サイゴン特電		
7	19	1	1			芳澤大使談〔日佛印經 濟協定〕				サイゴン特電		
7	19	1	2			日佛印經濟協定成る (社説)						
7	19	1	2					廣田特使 保養地ホワ ビンに遊ぶ		バンコック特電		
7	19	1	4		季節風と雨期乾期(熱 帯気象の特異性)					荒川秀俊		
7	19	1	4		熱帯暴風雨 五つの大 洋を荒しめる(熱帯気象 の特異性)					大谷東平		
7	19	1	4		スコールの現象(熱帯 気象の特異性)					高橋正吾		
7	20	1	1			内山公使東上				サイゴン特電		
7	20	1	2						南海の神秘に挑む 泥 のアンダマン海に大漁 の歓声 鯛や「えび」の 大饗宴 荒波の底には 未開の新漁場	ランゲーンにて吉村特 派員	アンダマン海ロス島の 風景=青井特派員(海 軍報道班員)撮影(海 軍省許可済第五六九 号)	
7	21	0	1		南方農業は重點處理 民心は軍政に全く安定 企畫院總裁閣議に報告 進言							
7	21	0	1					〔日・タイ〕外交官交換 船 交換地に近づく		ブエノスアイレス特電		
7	21	0	2						ビルマを背負ふは夫 畏敬と愛情で救ふ 語 るバ・モ博士夫人	ランゲーンにて兒玉特 派員	バ・モ博士夫人	
7	21	0	2	興亞鍊成所長決る								
7	21	1	1			ド總督ダラットへ				サイゴン發同盟		
7	21	1	1			佛印經濟の存立は全く 日本に依存 ドクー總 督意義を強調				サイゴン特電	ドクー總督	
7	21	1	2					"今こそ獨立の好機"廣 田特使、〔タイで〕ポー ス氏を激励		バンコックにて上山特 派員	(上)廣田特使(下)ポー ス氏	
7	21	1	2						弾雨下に執るメス 世 界に冠たり軍陣醫學 ビルマ衛生作戦を語る 第一線衛生部隊座談會			

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	21	1	3	米、印、濠抑留邦人								
7	21	1	3		行け、南方は招く 英語 教員に新職場							
7	21	1	4		南方地方の高温と多湿 (上)					福井英一郎		
7	21	1	4			映画“桜の國”サイゴ ンで封切(芸能ニュー ス)						
7	22	0	1	わが國力に畏怖 英紙 「日本の不敗」を説く						ストックホルム發同盟		
7	22	0	1					未曾有の特使派遣 日 泰結盟を強化 慶祝使 節日程を終る		バンコック特電		
7	22	0	2					ピブン首相「戦ひの店」 開業		バンコック特電		
7	22	1	1					獨立の誇り高し 泰人 今後の努力が肝要 訪 泰所感 遣泰答禮使節 團首席隨員 特命全權 大使 矢田部保吉手記		バンコック特電	矢田部大使	
7	22	1	2					廣田訪泰特使 博物館 を訪問		バンコック特電		
7	22	1	2					泰撰政ヨチン大将(計 報)		バンコック發同盟	寫眞はヨチン大将	
7	22	1	3	「大東亞史」文部省で編 纂								
7	22	1	4		人材鍊成の機関(南方 案内)							
7	22	1	4		南方地方の高温と多湿 (下)					福井英一郎		
7	23	0	2					日泰學生の鍛鍊會		日光電話		
7	23	1	2	大東亞省創設 日商か ら建議								
7	23	1	2	東亞農業研究所生る 所長には石黒前農相								
7	23	1	2			該当記事ナン					日佛印經濟協定調印式 (芳澤大使の調印・左 はドクー總督)繁田特派 員撮影=台北電送	
7	23	1	4		相つぐ南方行の希望者 檀家率あて住職も 一 番多い中小工業者 相談室の窓口統計							
7	23	1	4		空の赤道を越えて 上					吉田正秋		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	24	1	1	大東亜経済の建設構想 全く成る「鉱工業電 力」「金融財政交易」 両基本方策を審議會答 申 船舶航空機等九種 に重点 聖戦完遂の生 産力を確立 皇國を核 心に金融圈設定						情報局発表 鈴木幹事 長談		
7	24	1	1	道義の秩序に礎石 大 東亜建設審議會の輝く 成果								
7	24	1	1	金融財政及び交易基本 方策								
7	24	1	1	鉱工業・電力建設基本 方策								
7	24	1	2	[大東亜]建設基本案 茲に全し(社説)								
7	24	1	2		南方貿易業者に福音 社員の補充制限を緩和							
7	24	1	2					泰國で女子軍編成(共 榮圈短信)		バンコック特電		
7	24	1	3			贈る國宝級卅一點 佛 印への交換美術品決る				宮内省発表	(上)佛印に贈る清水焼 猿置物(下)佛印から來 るガネーシヤ坐像	
7	24	1	4		南方佛陀祭日比谷公會 堂で(芸能ニュース)							
7	24	1	4		渡航の方法(南方案 内)							
7	24	1	4		空の赤道を越えて 下					吉田正秋		
7	25	0	1	東亜海事興業 きのふ 創立								
7	25	0	2					引揚船中で安産 日本 と泰の赤ちゃん		ロレンゾ・マルケスにて 米洲引揚本社記者團		
7	25	1	2			佛印の友好協力 經濟 協定 内山公使歸朝談					内山公使	
7	25	1	4		暑氣と精病の関係 ①					式場隆三郎		
7	25	1	4		薬品の話(南方案内)							
7	26	1	2						活躍する邦人商人 預 金に見るインド人の經 濟力(蘭貢)(共榮圈の 週間記録)	蘭貢特電		
7	26	1	3						兄に見せたい日章旗 起ち上る日本婦りの”ピ ルマ娘” インゾマ女史 と語る	ラングーンにて兒玉特 派員		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	26	1	3						来たぞ故國の初便り・ 綻ぶ勇士の顔	ビルマ前線にて喜多特 派員	来たぞ故國の初便り・ 綻ぶ勇士の顔 ビルマ 前線にて喜多特派員撮 影	
7	26	1	4					泰の張抜彩色玩具 象 と馬(南方の人形)(南 方から銃後へ)		西澤笛畝		
7	27	1	1			佛印に進駐して一箇年 全面的に協力に轉換 大東亞戦の影響甚大				サイゴン特電		
7	27	1	1					軍官民盛大な[廣田大 使]歓迎 バンコック驛 頭の盛観		バンコック特電		
7	27	1	1					廣田特使歸還 日泰親 善の使命全し 國運を 賭し我と共同 福岡で 語る泰國朝野の決意			博多ホテルの官民合同 歓迎會に臨んだ廣田特 派大使=福岡支局電送	
7	28	0	1	日独伊、直接手を繋ぎ 今こそ大追撃戦の秋 作戦に必勝、建設に必 成 東條首相蘭明 聖 戦完遂！総力結集へ 翼賛會翼政會共同大講 演會								東條首相 けふ大阪に て=電送=
7	28	0	2						抗日華僑團を國許追放 魔の怒江を渡らせる アツ対岸の蔣軍が斉射	ビルマ前線にて兒玉特 派員		ビルマ地図
7	28	0	2						戦況は知り申さず の んきな米蔣の捕虜	ビルマ前線にて寺倉特 派員		
7	28	1	1	義勇奉公に透徹せよ これぞ必勝への大道 帝都で國民總力結集大 會							熱弁を揮ふ鈴木企畫院 總裁	
7	28	1	1					廣田大使けふ東上				
7	28	1	2	[大東亞博物館](有題 無題)								
7	28	1	2			印度の完全獨立に武力 闘争も辞せず 佛印回 教徒聯盟教主語る				サイゴンにて福永特派 員		
7	28	1	2					泰空軍が編隊で歓送 朝野に刻む親善の巨歩 廣田特使訪泰日誌		随員 丸山眞壽夫の氏 手記	丸山眞壽夫氏	
7	28	1	2						ビルマ人へ 初の感謝 状	ラングーン發同盟		
7	28	1	3		南方關係に優先権 雇 入れ就職に“指定”の特 権							
7	28	1	3					[泰の裸足嚴禁](青鉛 筆)		バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	28	1	4		暑気と精病の関係 ②					式場隆三郎		
7	29	0	1		南方教育建設 學術、 技術の総合企画 聯絡 協議會を強化							
7	29	0	2		南の知識を一堂に 大 東亞博物館の計畫							
7	29	0	2		南の香り・戦果の贈物 紅茶とコーヒー八月末 に配給							
7	29	0	2			佛印官民大喜び 寺 内大将規那を贈る				サイゴン特電		
7	29	1	2	強力運動を展開 興亞 同盟地方支部を設置								
7	29	1	4		ジャングル(南方案内)							
7	29	1	4					日泰文化會館について (1)		柳澤健		
7	30	0	1						ビルマ行政府八月一日 に成立式	ラングーンにて兒玉特 派員		
7	30	0	1	東亞は戻らず 米國い まさら嘆く						チューリツヒ特電		
7	30	0	1					泰外相近く訪日 廣田 特使の車中談				
7	30	1	1			芳澤大使昭南島へ				昭南特電		
7	30	1	1				猛獸、密林を征服 矢 野氏談 泰佛印新國境			バンコック特電		
7	30	1	1					廣田特使晴れの歸京 訪泰の使命全し			寫眞は東京駅にて出迎 への首相と挨拶する廣 田特使	
7	30	1	2						ビルマ、軍政に甦る 中 央政府に期待強大	ラングーンにて穴倉特 派員	上 バ・モ博士 下右 ティン・モン博士 左ウ バ・ペー氏	
7	30	1	2		南方文化の聯絡協議會 (社説)							
7	30	1	2		南洋拓殖債券募集							
7	30	1	2	有機肥料の確保 大東 亞肥料調査會建議								
7	30	1	3					[純白大礼服](青鉛 筆)				
7	30	1	4			佛印の言語(南方案 内)				高橋邦太郎氏		
7	30	1	4					日泰文化會館について (2)		柳澤健		
7	31	0	1						行政府組織を下命 ビ ルマー日に輝く任命式	ラングーン特電		
7	31	0	1						各部長も内定	ラングーン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
7	31	0	1					日泰の交誼厚し 東條、ピブン両首相の挨拶交換			上 東條首相 下 ピブン首相	
7	31	0	2						結婚する勿れ・酒を飲む勿れ ビルマの奇習 ウワゾー生活始る	ビルマ前線にて寺倉特派員		
7	31	1	1					外相、泰へ謝電〔廣田特使帰京〕				
7	31	1	2	廣域経済の中核體 創造的精神に則れ(統制會の進むべき道②)						小日山直登	小日山直登氏	
7	31	1	2					泰、西条約改正交渉		バンコック特電		
7	31	1	2						緬甸前線の敵潜伏 米英空軍も姿を消す	ラングーンにて日高特派員		
7	31	1	4			安南人の話(南方案内)					高橋邦太郎氏	
7	31	1	4					日泰文化會館について(3)			柳澤健	
7	31	1	4						和やかな家庭生活 戦火遠のくビルマ戦線風景〔南方から銃後へ〕	ビルマ前線寺倉		ビルマ女性の写真
8	1	0	2					教練や柔道で日本精神を勉強 三島子爵が語る泰青少年団			柔道の猛練習をするイワチヨシ	
8	1	0	2					泰の比留學生故國へ		サイゴン發同盟		
8	1	1	1	濠洲在住者も合せて日英外交官交換成立 龍田丸、鎌倉丸交換地 ロレンソ・マルケスへ							白十字の標識鮮かな龍田丸	
8	1	1	1					引揚日泰人千八百名		外務當局談		
8	1	1	2		南方従軍畫展(社告)							
8	1	1	2	大東亞百年の大計 氣魄もて指導せよ(統制會の進むべき道③)						石川一郎	石川一郎氏	
8	1	1	2						ビルマ行政府の新発足(社説)			
8	1	1	2						ビルマの二大政黨合同(共榮圈短信)	ラングーン發同盟		
8	1	1	3	戦捷祖國へ急ぐ邦人英、濠印から交換地へ						リスボン特電		
8	1	1	4	大東亞戦と無線通信						網島毅		
8	1	1	4		南進の文化構想 芸能祭にかはるもの					堀内敬三		
8	1	1	4		日本人遺蹟(南方案内)					高橋邦太郎氏		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	1	1	4						慕ひよるビルマ女性 白衣の天使から南の速 達便(南方から銃後へ)	ビルマ前線〇〇にて寺 倉特派員		
8	2	0	1						歓喜沸く開庁式 行政 機構並に成立 新生ビ ルマ建設の巨歩	ラングーンにて兒玉特 派員	バ・モ博士、テイン・モン 博士、ウ・バ・ウイン氏 タキン・バセイン氏 タ キン・トンオク氏、バン ドラー・ウーセン氏 ウ ラ・ベ氏 タキン・ミヤ氏	
8	2	0	1						十長官任命			
8	2	0	1						長官官房に高野源進氏	ラングーン發同盟		
8	2	0	2						ビルマ人のビルマへ發 足 萬歳・待望の日は 來た 悠々たる初代長 官バ・モ博士 新行政 府に蘭真沸く	ラングーンにて日高特 派員		
8	2	1	2		[南方行政の一元化] (有題無題)							
8	2	1	2	日本・中國中心 經聯、 綿業立地計畫建議								
8	2	1	2			米穀收穫倍加へ 北部 の農業を大改良 ハノ イ[共榮園の週間記録]				ハノイ支局發		
8	2	1	2						新ビルマ並に発足 印 度よ蹶起せよ 飯田最 高指揮官語る	ラングーン特電		
8	2	1	2						実力を涵養せよ 飯田 中将布告	ラングーン特電		
8	2	1	3						ビルマ新生の歡喜に沸 く 十人男・血で獲た凱 歌 いまぞ実を結ぶ地 下の苦闘 本間幸次郎 氏談		語る本間氏	
8	3	1	2					闘ひ抜いたピブン首相 夫人 内助の功も酬い られ 喜び溢る“泰の 母” 愛児帰國に胸も開 く		バンコックにて上山特 派員	寫眞は歓談するピブン 首相と夫人	
8	4	0	2		断然多い南方志願 初 の試み・各省一斉に採 用試験						商工省の新官吏採用試 験	
8	4	0	2		南方へ鐵の指導							
8	4	1	1						[ビハリ・ボース氏]バ モ長官に祝電	バンコック發同盟		
8	4	1	2						該当記事ナシ		ビルマ行政府組織の軍 命令傳達式 飯田軍司 令官、バ・モ博士に手交 =ビルマ軍收監部にて 穴倉特派員撮影=福岡 電送	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	4	1	3			佛印への江戸の香 鏝 や駕籠を追加交換						
8	5	1	2					廣田特使帰朝歓迎會				
8	5	1	2					百姓も軍人と同待遇 泰に畫期的労働法		バンコック特電		
8	5	1	2					クロスビー盤谷引揚げ 泰で辣腕 40餘年の英 公使		バンコックにて相良特 派員	クロスビー	
8	5	1	2					泰外相、東郷外相へ答 電				
8	5	1	4		銃後から前線の兵隊さ んへ 雑誌や小説類を 送りませう							
8	5	1	4			南方工作へ 映畫「北 極光」(芸能ニュース)						
8	6	0	2						ビルマ公路点描①	田村孝之助・畫		タマリンドの並木路
8	6	1	1					泰の統制峻烈 売惜み に禁固二十年		バンコック特電		
8	6	1	2	敵の抗戦力を侮るな (社説)								
8	6	1	2	芳澤大使、南方縦横談 各地域の特性尊重 自 由裁量の余地を與へよ						サイゴン特電	寫眞は芳澤大使	
8	7	0	2		悪疫一步の近よせず 台湾に南方防疫曲を新 設案					台北電話		
8	7	0	2						ビルマ公路点描②	田村孝之助・畫		一千哩の難コース
8	7	1	1	戦時下國民生活の艱路 井野・岸兩相に聴く ①								
8	7	1	2				泰佛印国境畫定委員會 けふ解散			バンコック特電		
8	8	0	1				國境畫定委員會解散 麗しき協力精神の發露			バンコック特電		
8	8	0	1				コミュニケ發表			バンコック特電		
8	8	0	1				矢野公使關係者招待			バンコック發同盟		
8	8	0	1					“謀略彈壓に屈すな”泰 國獨立聯盟 印度の同 志を激勵		バンコック特電		
8	8	0	2	共榮圏の美術を交流 大東亞美術協會の初仕 事								
8	8	0	2						ビルマ公路点描③	田村孝之助・畫		パゴダとカラス

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	8	1	1	戦時下国民生活の針路 井野・岸兩相に聴く②							井野農相	
8	9	0	2						ビルマ公路点描④	田村孝之助・畫		へいたんしぶ
8	9	1	1	激勵の断食祈禱 共榮 圏各地の印度人						バンコック特電		
8	9	1	1	戦時下国民生活の針路 井野・岸兩相に聴く③							岸商相	
8	9	1	2					該当記事ナシ			外交官引揚船に乗込む 駐泰英公使クロスビー バンコックにて大東特 派員撮影 台北電送	
8	9	1	2					泰で矢野公使歓送(共 榮圏短信)		バンコック特電		
8	9	1	2						ビルマでも富籤売出し (共榮圏短信)	ランゲーン發同盟		
8	9	1	3			佛印から留學生 毎年 男女五名を選抜				ハノイ特電		
8	9	1	4			佛印から来る古美術品 カンボジア宗教芸術の 逸品				佐波甫		6枚のクメール石像など の写真
8	11	1	2						ビルマ印度人も決議 〔會議派支持〕	ランゲーン發同盟		
8	11	1	2		村山本社長、南方將士 を慰問 建設の状況を 視察							
8	11	1	2		南方司政官の人選 内 閣人事課きのふ初打合 せ							
8	11	1	2	戦時下国民生活の針路 井野・岸兩相に聴く④								
8	12	0	2		「南方旅行相談所」店 開き						寫眞は店開きした南方 旅行相談所	
8	12	0	2						ビルマ公路点描⑤	田村孝之助・畫	路上兵器展覽會	
8	12	1	2	戦時下国民生活の針路 井野・岸兩相に聴く⑤								
8	13	1	2					該当記事ナシ			在バンコック印度民衆 の不服従示威運動 ボース議長の演説に沸 く民衆 大東特派員撮 影=台北電送	
8	13	1	4		海の英靈へ“讚光” 南 方行に際して私の詩心					橋本関雪		
8	14	1	1					該当記事ナシ			盤谷の印度獨立示威行 進 大東特派員撮影	
8	14	1	1					泰、〔印度の〕反英を支 持 意見を公表		バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	14	1	1					泰、國民皆労制を実施		バンコック特電		
8	14	1	2	商組中央會に大東亞商業問題委員會								
8	14	1	4						南の暑さ・東京の暑さ上	榊山潤		
8	15	0	2	商業者進出打合せ								
8	15	0	2						ビルマ公路点描⑥	田村孝之助・畫		公路復興
8	15	1	4						南の暑さ・東京の暑さ下	榊山潤		
8	15	1	4		南方へ映畫輸出陣躍進							
8	16	1	3		血でかち得た南の戦果 山なすゴムタイヤ(戦ふ日本 ^⑬)							山なすゴムタイヤ
8	16	1	3	東亞開発協會生る								
8	16	1	4		デング熱の正體(特集)				デング熱の正體(特集)	ラングーンにて吉村特派員		
8	17	1	2		南方志願者への鍊成 〔海外同胞中央訓練所〕							
8	18	1	3		南海へ日の丸の奔流 國旗工場(戦ふ日本 ^⑭)							國旗工場
8	18	1	3					交換學生に森博士 (ニュース縮刷版)		福岡電話		
8	18	1	3						炎熱下の〔鐵道〕建設 戰記 尊い犠牲早瀬部隊長	ラングーン發同盟		
8	19	0	1	教科書は地域別 今秋、教員五百名の講習會								
8	19	0	1		南方日本語普及案成る 文部省に普及協議會(假称)設置 教科書編纂、教員を養成							
8	19	0	2	學生大會や鍊成 大東亞留日學生會事業着々と進む								
8	19	0	2	東亞厚生大會開く						奉天發同盟		
8	19	1	2	[回教徒](有題無題)								
8	19	1	2	東亞農業研究所役員								
8	19	1	3						ビルマ再建を誓ふ俘虜 解放式 喜びに腫れた赤い眼 日本語の號令に生ゝと我家へ	ラングーン特電	懐しの故郷へ續々歸るビルマ人 喜多特派員撮影	
8	19	1	3	"興亞文化賞"設定								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	19	1	3	日本語の普及に便宜主義は不可 笠井氏が語るコソ								
8	20	1	2	阿片戦争百年記念に當りて 東亞保衛に闘はん 林柏生宣伝部長手記						南京發同盟		
8	20	1	2		南方の配給業務へ 東商・中小業者 派遣を建議							
8	20	1	2	[東亞農業研究所](有題無題)								
8	20	1	3	大東亞戦映畫に感嘆						クイブイシエフ特電		
8	20	1	3					泰に行く寫真移動展				
8	21	0	2	新天地に活かす體驗 米洲引揚民の東亞開發協會誕生								
8	21	0	2	東亞厚生大會終る						奉天特電		
8	21	1	2					駐滿泰國公使赴任				
8	21	1	3	阿片戦争・歴史を畫して百年目 英が吸血の始り 東亞の屈辱いま清算							語る大川博士	
8	22	0	2	民族學協會けふ發會式								
8	22	1	3	大東亞資源館 圖書館と共に今秋創立								
8	22	1	3		南へ送る”土の先達”							
8	23	1	1	俘虜收容所 挑戰台灣 泰等七箇所に新設								
8	23	1	1		南方建設を見る 上					海軍顧問 藤山愛一郎	藤山愛一郎氏	
8	23	1	2			佛國船佛印へ帰還(共榮圈短信)				サイゴン發同盟		
8	23	1	2					物價抑制に新施策 難物の切符制も解決(バンコック)(共榮圈の週間記録)		盤谷支局發		
8	23	1	4		南方へ行くレコード(芸能ニュース)							
8	24	1	1		南方建設を見る 下					藤山愛一郎		
8	24	1	2		[生姜南方へ](青鉛筆)					静岡電話		
8	24	1	2					“御佛を仰ぐ同じ心” 一杖を友にひらく親善の道 泰國へゆく大谷句佛師			語る大谷句佛師	
8	25	1	1					泰首相の祝辞 海相に伝達				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	25	1	4						ビルマの子供①	絵と文・田村孝之介		スコール(絵)
8	26	1	2	重慶、英米に抗議 ア ジアの不平等撤廃せよ						廣東特電		
8	26	1	2					泰は印度に同情 対日 協力も一途具体化 ビ ン首相、施政抱負を 語る		バンコック特電	ビブン首相	
8	26	1	3		南方向音盤更に選定							
8	26	1	3					ビブン家の喜び 愛児 歸るに沸き返る		バンコック特電		
8	26	1	4						ビルマの子供②	絵と文・田村孝之介		玩具(絵)
8	26	1	4			佛印の海底火山 日本 汽船若狭丸が発見				大塚彌之助		
8	27	0	1						ビルマ防衛軍誕生 獨 立義勇軍の改編成る	ラングーン特電		
8	27	0	1						飯田司令官[ビルマ防 衛軍]閱兵	ビルマ、ビンマナにて兒 玉特派員		
8	27	0	1		南方司政に大増員 陸 軍、臨時職員設置制を 改正							
8	27	1	1			佛印米の輸出順調に進 む				サイゴン發同盟		
8	27	1	1					アドウン少将進級		バンコック特電		
8	27	1	3	宣戦一周年記念 大東 亜戦争美術展作品募集								
8	27	1	3						ビルマの柱石、義勇軍 解かる 映ゆ血の孔雀 旗 民族解放に不滅の 功	ラングーンにて兒玉特 派員	写真はビルマ獨立義勇 軍	
8	27	1	4						ビルマの子供③	絵と文・田村孝之介		買物(絵)
8	27	1	4		働く女性の南方行(生 活問答)							
8	27	1	4		南方へのレコード					堀内敬三		
8	27	1	4			“海の子”の誇り安南 人の胸に燃える信仰 (南方から銃後へ)				河内特電		
8	28	0	1	東亞問題調査機關 綜 合一體化を圖る								
8	28	0	1					駐滿泰公使御接見		新京電話		
8	28	1	2	婦人委員は四人 作家 など多彩な顔觸								
8	28	1	2					日蓮寺改名(各府縣か ら)				
8	28	1	3		海の勇士に特急便							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	28	1	4	防疫情報局と東亜医学研究所を設置せよ(特輯・熱帯病の移入防止)						鶴見三三	鶴見博士(顔写真)	
8	28	1	4	関門を設けて禍を未然に防ぐ方策(特輯・熱帯病の移入防止)						宮川米次	宮川博士(顔写真)	
8	28	1	4						ビルマの子供④	絵と文・田村孝之介		牛飼ひ少年(絵)
8	29	0	1	調査機関を精選統合「調査研究聯盟」設立内閣所管二部組織で十月發足								
8	29	0	1	龍田丸到着 きのふロレンソ・マルケスへ						ロレンソ・マルケス發同盟		
8	29	1	2	今は興亜の記念日(社説)								
8	29	1	2	民族科學の確立へ(大共榮園)								
8	29	1	2	汪主席の反英演説(大共榮園)								
8	29	1	2	海を渡る新商道(經濟手帳)								
8	29	1	2					該当記事ナシ			親子揃つて喜びのピン首相 前列首相夫妻 後列令息令嬢、バンコック首相官邸にて増田特派員撮影=台北無線電送	
8	29	1	4		暑さと衣服 上					小川安朗		
8	29	1	4						ビルマの子供⑤	絵と文・田村孝之介		おんぶ(絵)
8	30	1	1	陸軍司政長官 新に二十七氏を任命								
8	30	1	2	岡本總領事ら交換地に到着						ロレンソ・マルケス發同盟		
8	30	1	2			日本語進出目ざまし 邦人病院の計畫も進む 佛印(共榮園の週間記録)				西貢支局發		
8	30	1	3		いぢらし原住民 日本を慕ひ協力する姿 南方の視察行脚より帰って 兩氏の土産話						寫眞は羽田に歸着した吉川氏(右)と横山畫伯(左)円内は橋本畫伯	
8	31	1	1	大東亞指導の新使命 不斷の創造進展を期待 教育制度座談會①						緒方主筆		出席者名簿と顔写真
8	31	1	1						馬脚を露呈 蘭貢爆撃のデマ	ラングーン發同盟		
8	31	1	1						ビルマにおける特殊性 尊重 那須軍政監部總務部長談	ラングーン發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
8	31	1	2	共榮圏の逸品揃ひ あ す開く大東亜美術展							写真は大東亜美術展に 陳列される(上)印度美 術品(下)セレベス島で 発見された安南陶器	
8	31	1	2	マレーや印度を転々 抑留の旅二百日間 龍 田丸感慨の祖國へ						ロレンソマルケスにて二 宮特派員(前シンガ ポール駐在)		
8	31	1	2						桜並木に祖國の香 明 るくなつた緬支國境を征 く	緬支國境〇〇にて日高 特派員		
9	1	0	2	亞細亞へ贈る光(銃後 の尖兵6)								電球の写真
9	1	1	3	[共榮圏]人口問題の 協議會								
9	1	1	4		厚さと衣服 下					小川安朗		
9	2	0	1	語學放送(鐵箒)						福原太一寄		
9	2	0	1		南方建設に挺身せよ 商相訓示 時局要員講 習會							
9	2	0	2		南方要員養成講習會							
9	2	1	1	大東亜建設を一元化 陸海軍と協力聯繫 東 條首相談[大東亜省設 置]								東條首相(顔写真)
9	2	1	1	大東亜省を新に設置 大建設戦の完遂態勢成 る 要綱決定・十月一 日より実施								
9	2	1	1	大東亜省設置要綱(情 報局発表)								
9	2	1	1	不動の對外政策 作戦 に即応強力遂行へ[大 東亜省設置]								
9	2	1	1	外交を除く政務擔當 拓務省・興亞院・對滿 事務局等は廢止[大東 亜省設置]								
9	2	1	1	現地機關を統合 軍に 即應協力の構へ[大東 亜省設置]								
9	2	1	1	閣議一致[大東亜省設 置]								
9	2	1	1	民間の人材登用 注目 される運営方針[大東 亜省設置]								
9	2	1	1	拓務省の変遷[大東亜 省設置]								
9	2	1	2	大東亜省の設置(社 説)								
9	2	1	2	興亞同盟總務局長								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	2	1	3	楽譜を浄化 情報局乗出す[大東亜音楽文化]								
9	2	1	3	解放された邦人 歓喜の上陸 ロレンソ・マルケスへ						ロレンソ・マルケスにて二宮特派員		
9	2	1	3		建設戦の熱意集めて「南方科学技術講座」開く						写真は田辺忠男氏の講演	
9	2	1	4		南方科学技術講座(学芸だより)							
9	2	1	4		南方各地へ 二つの戦争映畫(芸能ニュース)							
9	2	1	4		南方向け日本語教員(生活問答)					文部省國體局大岡國語課長談		
9	3	0	1	佛印でも期待大(大東亜省新設の反響)		佛印でも期待大(大東亜省新設の反響)				サイゴン發同盟		
9	3	0	1	専任外相の詮衡 大東亜相と睨み合せて決定								
9	3	0	1						新ビルマの成長 全印の關心 飯田最高指揮官視察談	ビルマ〇〇にて兒玉特派員		
9	3	0	2						ビルマ語で[日本]美術紹介			
9	3	1	1	大東亜省新設と泰・佛印		大東亜省新設と泰・佛印		大東亜省新設と泰・佛印		バンコック特電/サイゴン特電		
9	3	1	1	建設審議會は存続 官吏数は少数、能率高度化へ 設置準備會を設立か 大東亜省								
9	3	1	2	監禁の憂愁も一掃 龍田丸へ乗込む 日英兩國人交換完了						ロレンソ・マルケスにて藤井、二宮兩特派員		
9	3	1	2			對等の輸出權獲得 日佛印經濟協定順調				河内特電		
9	3	1	3	新しい外交の道は下三寸の突撃だ 大東亜省の發足 白鳥氏談							語る白鳥氏	
9	4	1	1	大東亜博物館建設 五十年計畫の雄大な案								
9	4	1	1	大東亜建設の巨歩推進 新省設置に各省と有機的聯絡								
9	4	1	2						ビルマ語學校再開(共榮團短信)	ラングーン發同盟		
9	4	1	2	鎌倉丸、來月五日歸國 濠洲引揚邦人ら八百七十名								帰國者氏名

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	4	1	2	新省準備會に要望す (社説)								
9	4	1	4	「大東亜外交史研究」 田村幸策著(書評)						古垣鐵郎		
9	5	0	1	大東亜省(鐵筆)						有馬大助寄		
9	5	0	1	設置の準備進む 大東 亜省委員會を設けず								
9	5	0	1	大東亜圈を征く①飛行 機(一)東京より福岡						橋本蘭雪		山の絵
9	5	1	1	大東亜省の管制案 來 週中に閣議で決定								
9	5	1	1	關係省の簡素化原則は 不變[大東亜省設置]								
9	5	1	1	内外地の食糧行政 農 林省の綜合一元化へ								
9	5	1	2		北支へ南の米					天津特電		
9	5	1	3	拓務省に“大臣の親心” 大東亜省の本據に生れ 變り							井野兼撰拓相	
9	6	0	1	大東亜省、準備進む								
9	6	0	1	大東亜圈を征く②飛行 機(二)東京より福岡						橋本蘭雪		絵
9	6	1	3	興亞同盟の文化工作 文藝家も協力 全國で 講演會								
9	7	1	1			芳澤大使ハノイへ				サイゴン發同盟		
9	7	1	2						“ビルマの英雄”が電撃 結婚	ランゲーンにて兒玉特 派員	オンサン大佐	
9	8	0	1	大東亜博物館の計畫發 表 類似施設の設立は 差止め								
9	8	0	1	大東亜圈を征く③マニ ラ(一)						橋本蘭雪	マニラ	
9	8	0	1		南方物資の交流 各地 關係緊密化せん 芳澤 大使南方視察談	南方物資の交流 各地 關係緊密化せん 芳澤 大使南方視察談				ハノイ特電		
9	8	1	2	大東亜博物館に寄す (社説)								
9	8	1	2	大東亜省設立 協議會 續行								
9	9	0	1	大東亜圈を征く④マニ ラ(二)						橋本蘭雪	コレヒドール要塞	
9	9	0	2		“前線の熱意に應へよ” 兵隊さんの貯金に感激 の蔵相							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	9	0	2						血染めの札も 殲滅戦 を了へて貯金ビルマ	ランゲーン特電		
9	9	1	2		南方の新聞					サイゴン特電		
9	10	0	1	大東亜省官制、今週にも 閣議に								
9	10	0	1	大東亜圏を征く⑤メナド の街						橋本蘭雪	牛車 メナドにて	
9	10	0	1		海軍司政官など増員 南方要員二万名に達す							
9	10	0	1					泰の閣員入れ換へ		バンコック特電		
9	10	1	2		電気材料と南方圏(社 説)							
9	10	1	4		南方へゆく「ビルマ戦 記」(芸能ニュース)				南方へゆく「ビルマ戦 記」(芸能ニュース)			
9	10	1	4		誠実の缺乏 南方畫に 貴重な一収獲 二科展 評(上)					富永悠一		
9	11	0	1	大東亜省官制審議進む あす閣議附議か								
9	11	0	1	大東亜圏を征く⑥メナド 納岩山荘喜仁露温泉						橋本蘭雪	喜仁露温泉	
9	11	0	1		南方の映畫工作 近く 處理要領を發表							
9	11	0	1					泰、ソ大使ら拝謁				
9	11	1	1	省名変更せず 大東亜 省の諸準備成る								
9	11	1	3		配給は映配社の一手 「南方映畫工作」に業界 も協力							
9	11	1	3		日映文化映畫局長星野 辰男氏談							
9	11	1	3					凜々し戦ふ“泰の母”			寫眞は軍服姿のピブン 首相夫人	
9	11	1	3						「ビルマ戦記」特別試写 會(社告)			
9	11	1	4		南方児童へ 音楽短篇 映畫(芸能ニュース)							
9	12	0	1	管制案折衝 大東亜省 準備								
9	12	0	1	東亞經濟懇談會會十一 月大會								
9	12	1	1	大東亜省管制案成る 内外地行政を一元化 満州、支那、南方など 四局を設置 純外交を 除く政務を施行								
9	12	1	1	外務省は四局に縮減								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	12	1	1	民間の遺南諸手続等も所管[大東亜省]								
9	12	1	1	政務局を新設 外務省調査活動強化								
9	12	1	3			日・佛印交換教授決る				京都電話		
9	12	1	4		“デング熱”の解剖 蚊に刺されぬよう 突然高熱を發するが 七日たてば必ず癒る病氣							
9	12	1	4		三つの媒介蚊 阿部康夫氏談[デング熱]							
9	12	1	4		わが國で流行の例 野辺地慶三博士談[デング熱]							
9	12	1	4						働くビルマの女性①(南方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特派員	写真は放送中のメタソンさん	
9	13	0	1	東亞都市大會 けふ開會式						新京電話		
9	13	0	1	大東亞圈を征く⑦マカツサル						橋本蘭雪		牛車の絵
9	13	0	2						「ビルマ戦記」試写會			
9	13	1	1						蘭真總領事館を閉鎖	ラングーン特電		
9	13	1	2	鎌倉丸口港[ロレンソ・マルケス]出帆						ロレンソ・マルケス發同盟		
9	13	1	2		南から華北へ寶船					〇〇發同盟		
9	13	1	2	難しい華僑対策 千田陸軍司政長官談						昭南特電	千田司政長官	
9	13	1	2		南方映畫工作の展開(社説)							
9	13	1	2		龍田丸引揚げの邦人南方建設に挺身 五百五十名昭南で下船							下船者名簿
9	13	1	4			枢軸側の報道が第一 佛印(特輯・南方新聞界の現状)				サイゴン特電		
9	13	1	4					日増に熱する興亞の論調 泰(特輯・南方新聞界の現状)		バンコック特電		
9	13	1	4						英字紙全滅 ビルマ(特輯・南方新聞界の現状)	ラングーン特電		
9	13	1	4						働くビルマの女性②(南方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特派員	写真はミンを踏むビルマの娘さん達	
9	15	0	1	大東亞圈を征く⑧プロモ火山						橋本蘭雪	口噴火山帯展望	
9	15	1	1	大東亞省官制けふ閣議決定								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	15	1	2					引揚泰國人は歸國〔昭南から〕(大共榮圏)		昭南發同盟		
9	15	1	4						働くビルマの女性③(南方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特派員	写真はフィルムを整理する三人姉妹	
9	16	0	1	大東亜省管制案 御諮詢手續を急ぐ								
9	16	1	1					ピブン首相の〔満州國建國十周年〕慶祝放送		バンコック特電		
9	16	1	2	興南鍊成院 來月一日開院								
9	16	1	2		南方要員詮衡 聯絡協議會							
9	16	1	2			佛印、労働時間短縮(共榮圏短信)				サイゴン發同盟		
9	16	1	2					泰國皇帝陛下御誕生記念日慶祝行事		バンコック特電		
9	16	1	2					泰に國旗尊重運動(共榮圏短信)		バンコック特電		
9	16	1	3	三田の福澤邸に言語の學舎 十講座集め十月開校								
9	16	1	3		南方向き映畫いよく着手							
9	16	1	4		南映發展的解消(芸能だより)							
9	16	1	4						働くビルマの女性④(南方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特派員	写真は兵隊さんにお給仕する食堂婦	
9	17	1	4					「印度支那於る邦人發展の研究」杉本直治郎・金永鐵共著(書評)		宮本忍		
9	17	1	4						働くビルマの女性⑤(南方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特派員	写真は豆タイピストマ・ニニイさん	
9	18	0	1	外務大臣に谷正之氏 國防相に青木一男氏 情報局總裁は外相兼任								
9	18	0	1	一意御奉公 青木新國務相語る								
9	18	0	1	谷新外相談								
9	18	0	1	閣内調和に強味 戦時宣傳の統一強化 谷外務大臣								
9	18	0	1	建設戦遂行の陣容全し〔外相・國務相決定〕								
9	18	0	1	財政經濟の手腕 共榮圏建設の期待 青木國務相								
9	18	0	1	大東亜圏を征く⑨スラバヤ						橋本蘭雪	花國と防空壕 バンドン	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	18	0	2	新登場の両大臣を語る 谷外相・圓滑な大人格 質実な秀才・信念を貫く 青木さん							語る白鳥氏	
9	18	1	1	不動の外交踏襲 谷外 相道義の大東亜強調								
9	18	1	1	外相事務引継								
9	18	1	1	建設第二段階へ邁進 兩相入閣に陣容強化								
9	18	1	1	東亜赤十字大會						新京電話		
9	18	1	1			共榮圏の期待 サイゴ ン[新外相就任]				サイゴン特電		
9	18	1	1					泰の内閣制度改革		バンコック發同盟		
9	18	1	2	新外相國務相に望む (社説)								
9	18	1	3	共に築く東亜の文化 南の文學者集めて協力 會議								
9	18	1	4						[インド]獨立聯盟緬甸 委員會開催 ビルマ戦 記[日映社作品](新映 畫評)			
9	18	1	4						働くビルマの女性⑥(南 方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特 派員	寫眞はカレン人看護婦	
9	19	0	1	大東亜省の設置費・千 二百七十四萬圓 第二 餘備金を支出								
9	19	0	1	大東亜圏を征く⑩イスラ ムの靈場						橋本蘭雪	イスラムの靈場にて	
9	19	0	1			滿州建國十周年慶祝會 [サイゴン]				サイゴン特電		
9	19	0	2	「海外同胞訓」發表會								
9	19	1	1	外務次官に山本熊一氏							山本熊一氏	
9	19	1	1			我眞意を認識 建設へ 一役 強大資本・米市 場を壟断 佛印(共榮 圏に動く華僑 中)				西貢支局		
9	19	1	1					經濟活動に制限「泰 人の泰」に壓せらる タ イ(共榮圏に動く華僑 中)		盤谷支局		
9	19	1	4						働くビルマの女性⑦(南 方から銃後へ)	ラングーンにて吉村特 派員	寫眞は街頭で一般民衆 に餘防注射をしてゐる 女醫ラケテイさん	
9	20	0	1	大東亜圏を征く⑪樹海						橋本蘭雪	スコール□□□	
9	20	0	2					泰首相に畫を贈る		バンコック特電		
9	20	1	1						ビルマ要人の遊説	ラングーン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	20	1	2						土地税は半額に 人頭税、阿片吸飲税は廃止 ビルマ(共榮圏の週間記録)	ラングーン支局		
9	21	1	1						適性分子一掃 協力気運漸く擡頭 ビルマ(共榮圏に動く華僑 下)	蘭貢支局		
9	21	1	2					泰國大使館へ勅使				
9	22	0	1	大東亜圏を征く⑫昭南港(一)						橋本蘭雪	ジョホール王宮より望む	
9	22	1	1	別個に審査委員會を設置 大東亜省管制案								
9	22	1	1	大東亜交通體体制を確立 鐵道協會建議								
9	22	1	1	井野、青木兩相官長と要談								
9	22	1	2					泰國駐英公使一行歸國す		バンコック特電		
9	22	1	3			三名づつ三ヶ年 佛印と學生交換 來春から實施						
9	22	1	4		片山真吉著「南方民族運動史」(書評)							
9	23	0	1	興亞鍊成所の官制制定 決る								
9	23	0	1	大東亜圏を征く⑬昭南港(二)						橋本蘭雪	蛇つかひ	
9	23	0	2	戦前歸國者が斡旋役 龍田丸横濱入港にバスも動員						横浜電話		
9	23	1	2	大東亜電力懇談會調査會								
9	24	0	1	大東亜圏を征く⑭						橋本蘭雪	盤谷郊外	
9	24	1	3		陸海軍南方派遣畫家寫真作品展(社告)							
9	26	0	1						物資は豊富 櫻井顧問 ビルマ建設を語る	ラングーン特電		
9	26	0	1	大東亜圏を征く⑮						橋本蘭雪	アユチャ王朝	
9	26	0	2		南へ”日本畫使節”十一月に贈る力作 百十三點							
9	26	1	2	枢密院の審議 今月中には困難 大東亜省關係勅令案								
9	26	1	3		南へ建てる”日の丸”百萬							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
9	27	0	1		南方開発を促進 本格的發展今後あり 陸相発言要旨 第三回中央協力會議開く 第一日							
9	27	0	2	十二月八日興亞祭日に下中彌三郎氏の提案								
9	27	0	2	龍田丸館山に入港						館山電話		
9	27	1	3		南方への一般郵便物 来月一日から取扱ひを開始							
9	27	1	4		南方民族の宗教					宇野圓空	寫真説明[上]バリ島の村祠[左]セレベスドラジャ族の吊祭[右]東ボルネオ、ロンナワン、ダイヤ族部落の祖先像	
9	28	1	2	戦ふ祖國の土に注ぐ萬感の瞳 龍田丸横濱港に歸る						横浜電話	引揚邦人を乗せて祖國に着いた龍田丸=横須賀鎮守府検閲済-	
9	29	0	1	興亞祭の設定 慎重に考慮								
9	29	0	1	大東亜圏を征く⑩山田長政						橋本蘭雪		鳥居と牛の絵
9	29	0	1		南方作戦地にも忠霊塔							
9	29	1	1		轉廢業者は生産面へ 佐藤軍務局長 餘剰力で南方進出							
9	29	1	2	[大東亜省管制案]審査委員決る								
9	30	0	1	大東亜圏を征く⑪						橋本蘭雪		港の絵
9	30	0	1				國境確定委員會復命					
10	1	0	2	梵語など廿講座 初の私立慶大外語来月末に開く							西脇順三郎氏	
10	1	0	2	陸海軍拳って捧給醸出 共榮圏に忠霊塔建設 國民も感謝の心で淨財寄附								
10	1	1	2		南方財政の再建進む 取捨策頗る適切 悪政インフレ懸念なし					昭南にて 吉田特派員發		
10	1	1	4			映畫「暖流」佛印で一般公開						
10	2	0	1	英帝國類勢の諸相 龍田丸帰朝座談會①								出席者名簿
10	2	1	2	共榮圏の交通対策協議								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	2	1	2	東亜經濟會議所を 石渡氏日支協力を説く						北京特電		
10	2	1	3		文化工作の戦士來れ 南方建設に陸軍で募集							
10	2	1	3	ウタノエホン「大東亜共榮唱歌周集」編纂 歌詞感賞募集								
10	3	0	1	英帝國類勢の諸相 龍田丸帰朝座談會②								
10	3	0	2		南方圏を一翔して①					吉川榮治	出發直前飛行場の吉川氏	
10	3	1	1	大東亞省の設置は共榮圈協力の礎 青木國務相 南京で語る						南京特電		
10	3	1	1						緬甸・比島作戦に武功拔群 陸軍に感状・上聞に達す	陸軍省發表	(上)山本中尉(中)吉岡部隊長(下)本多部隊長	
10	3	1	2	濠洲の抑留邦人 上						昭南港 鎌倉丸にて黒住特派員		
10	3	1	2			泰、佛印向け鐵鋼 輸出機關決る 鐵鋼原料・鐵鋼販・日質の三社		泰、佛印向け鐵鋼 輸出機關決る 鐵鋼原料・鐵鋼販・日質の三社				
10	3	1	3						蘭真飛行場を急襲 敵空軍の死命を制す 吉岡部隊 百三十機血祭り 比島からビルマへ轉戦 本多部隊 ビルマ戦線			
10	4	0	1	英帝國類勢の諸相 龍田丸帰朝座談會③								
10	4	0	2		南方圏を一翔して②					吉川榮治		
10	4	1	2	濠洲の抑留邦人 下						昭南港鎌倉丸にて黒住特派員		
10	4	1	2			邦品の進出に漲る朗色 佛印(共榮圏の週間記録)				ハノイ支局		
10	6	0	1	英帝國類勢の諸相 龍田丸帰朝座談會④								
10	6	0	2		南方圏を一翔して③					吉川榮治		
10	6	1	1						ビルマの秘境シャン聯合州 ウクライナ凌ぐ寶庫 日本の大量移民を待望	ラングーンにて 根津特派員	寫真 カロの市街で商取引するカチン族の娘 =喜多特派員撮影	ビルマ地図
10	6	1	2						日本へ脱出成らず 緬甸交通部長官バセイン氏抗英の苦闘の半生	ラングーンにて 兒玉特派員	バセイン長官	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	6	1	4		南方での徴兵検査(生活問答)					東京聯隊区司令部談		
10	6	1	4		よい日本語で歌へ 南方への音楽文化工作					大木惇夫		
10	7	0	1	大東亜省の管制 廿日前後に実施か								
10	7	0	1			國事犯、重罪犯を收容 青服に包む “安南獨立の熱血” 恐怖のプロコンドル島				サイゴンにて福永特派員		
10	7	0	1			永田、櫻井兩顧問ら〔西貢発〕東上				サイゴン特電		
10	7	0	2		南方圏を一翔して④					吉川榮治		
10	7	1	2		余剰船腹、南方物資に 企畫院總裁談 腐敗の態勢成る							
10	7	1	4			「南へ基地」 大毎・東日制作(新映畫評)						
10	8	0	2		南方圏を一翔して⑤					吉川榮治		
10	8	0	2		南へ「エホンニッポン」							
10	8	1	1						天然人為の障碍克服 ビルマに赫々の戦果 武勲抜群の櫻井、渡邊兩兵團	陸軍省發表	泰・ビルマ國境のジャングル地帯を征く家部隊	
10	8	1	2						在緬印度婦人も蹶起 紅唇に決意輝く “愛國行進曲”〔インド獨立〕	ラングーン特電		
10	8	1	4	第八回大東亜戦争映畫會(芸能だより)								
10	9	0	2		南方圏を一翔して⑥					吉川榮治		
10	9	1	2	東亞民族に利用 磯谷総督、香港の使命を語る						香港特電		
10	9	1	3	電波で共榮圈座談會								
10	10	0	1		南方外交關係、外相、閣議で説明							
10	10	0	2		南方圏を一翔して⑦					吉川榮治		
10	10	1	1	大東亜省等勅令案初の審議 樞府審査委員會								
10	11	0	1	ローマ字(鐵箒)						吉村生器		
10	11	0	1	東亞情勢自己陶醉を許さず クレーギー〔前駐日大使〕歸英						ストックホルム發同盟		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	11	0	2		南方圏を一翔して⑧					吉川榮治		
10	11	1	2			佛印米は平年作 協定量の八割は積出し完了(共榮圏の週間記録)				西貢特電		
10	11	1	2					泰、女子下士官学校		バンコック特電		
10	11	1	2						ビルマ軍を激励 飯田最高指揮官	ラングーン特電		
10	11	1	2						衆院代表、蘭貢で慰問	ラングーン特電		
10	12	1	1			栗山事務総長歸朝						
10	12	1	1					日泰兩軍郵便運賃協定成る		バンコック特電		
10	13	0	2		南方圏を一翔して⑨					吉川榮治		
10	13	1	2	東亜交通指導へ 八田鐵相放送 陸運の使命愈々重大 あず鐵道誕生七十年								
10	14	0	2		南方圏を一翔して⑩					吉川榮治		
10	14	1	1		陸君初の軍政會議開く 南方建設の大綱明示 物心、不動の態勢確立						写真は訓示をする東條兼摂陸相	
10	14	1	1		征戦完遂の礎固し 軍政茲に飛躍的發展							
10	14	1	1						ビルマ作戦に武功抜群	陸軍省發表		
10	14	1	3	“聲”に結ぶ共榮圏 下村氏の司會で楽しい座談會							放送する下村氏	
10	15	0	2		農魂を南へ移植 “土の戦士” 近く仕途へ							
10	15	0	2		南方圏を一翔して⑪					吉川榮治		
10	15	1	2		南方軍政會議に期待す(社説)							
10	15	1	3	米壽を祝ふローマ字の本 田中館博士の記念事業に海外へ							田中館博士	
10	16	0	2		南方圏を一翔して⑫					吉川榮治		
10	16	0	2		南方種と結ぶ強い米 寺尾博士の新品種研究 實る						寺尾博士	
10	16	1	2						緬甸米の移入考慮 資源の開発も順調 櫻井ビルマ軍政顧問談		櫻井顧問	
10	17	0	1			内山公使帰任				サイゴン特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	17	0	2	「銃後」を鑑詰にして前線に送る録音常會						横浜電話		
10	17	0	2	興亜のヨイコドモ 白衣勇士へ感謝の集ひ							童心にかへつて遊ぶ白衣勇士 -□島園母の□で	
10	17	0	2		南方圏を一翔して⑫					吉川榮治		
10	17	1	2	優良品を共榮圏へ 香港の工場統々操業						香港特電		
10	18	1	4						「ビルマ」本間幸次郎著(書評)			
10	20	0	2		南方圏を一翔して⑬					吉川榮治		
10	20	1	1		現地軍の監理下に南方に邦字新聞各社、地域を分擔發行							
10	20	1	3		南方建築展覽會							
10	20	1	4		南方に行く人へ 再び南方より歸りて(-)					千葉雄次郎		
10	20	1	4		續南の風 松竹映畫(新映畫評)							
10	21	0	2		先鋒は“無敵潜水艦” おもちゃ部隊南へ進発						寫真は南方に行くおもちゃ	
10	21	0	2		南方圏を一翔して⑭					吉川榮治		
10	21	1	1					泰の海軍武官來朝				
10	21	1	2	現地思想戦の先駆(社説)								
10	21	1	3	「大東亜戦記」文報で編纂								
10	21	1	3			一堂に佛印文化の戦士南から東亜文學者大會を祝賀				ハノイ特電		
10	21	1	4		建設と作戦と 再び南方より歸りて(二)					千葉雄次郎		
10	22	0	1						敵ビルマ奪回の小田原評定	バンコック特電		
10	22	0	2		南方圏を一翔して⑮					吉川榮治		
10	22	1	1	大東亜省來月初め誕生								
10	22	1	1	樞府[大東亜省案]審議打ち切り								
10	22	1	1						ビルマ援蔣路 奪回は不能 英、作戦の困難を告白	ストックホルム特電		
10	22	1	2		南方で大歓迎 本社發行のグラフ「太陽」							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	22	1	2						全ビルマ盟主日本に傾倒 澎湃たる日本語熱 教材拂底に嬉しい困惑	ランゲーンにて野村特派員	「太陽」を教材として日本語を勉強するランゲーンオツタマ日本語学校=喜多特派員撮影	
10	22	1	2						挺身奉公の意気 幹候生に染む日本精神	ランゲーンにて日高特派員		
10	22	1	3		南へ行く教員 文部省で百名募集							
10	22	1	3		内地ばかりか南方まで牛乳の需要に應ずる 十年計畫で乳牛増殖に乗り出す							
10	22	1	4		思想文化工作 再び南方より歸りて(三)					千葉雄次郎		
10	23	0	2		南方圏を一翔して⑪					吉川榮治		
10	23	1	1	大東亜省審議 樞府、あす更に委員会								
10	23	1	4		日本語の進出 再び南方より歸りて(四)					千葉雄次郎		
10	24	0	2	來月誕生する大東亜省 大世帯の廳舎を物色 満鐵ビルはよいが移轉が問題								
10	24	0	2		南方圏を一翔して⑩					吉川榮治		
10	24	1	1	開戦一周年の記念行事 決る 戦力強化と戦争生活確立 五日から一週間全東亜に展開								
10	24	1	1						ビルマ奪回企圖 ウエーヴェル、羅卓英ら凝議	廣東特電		
10	24	1	2		實聯、南方進出策建議							
10	24	1	4		生活について 再び南方より歸りて(五)					千葉雄次郎		
10	25	0	1						該当記事ナシ		南海に水産日本の意気 印度人も荷役に協力して鮮魚の陸揚げ ランゲーンにて喜多特派員撮影	
10	25	0	2		南方圏を一翔して⑨					吉川榮治		
10	25	1	1	政府原案を承認 大東亜省案等廿八日本會議へ 樞密院審査委員会								
10	25	1	2	[大東亜航空圏](有題無題)								
10	26	1	2	東亜の珍競技總出動 街に繰り展ぐ 鍊成の秋						上は緑郷口体鍊場の開場祝いの競技、下は内外學生交驛体育大會の障礙物競技		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	26	1		[支那]事変解決の最後策 民心完全把握にあり 好富情報部長放送								
10	27	0	1	大東亜省の誕生 来月一日實現せん								
10	27	0	1	傳統を基に文化再生 比島・アウナリオ(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して①)							アウナリオ氏、周化人氏	
10	27	0	2		マレー語志願が第一位 時局の脚光浴び慶應外語開校							
10	27	0	2		南方圏を一翔して⑩					吉川榮治		
10	27	1	1	大東亜省一日實現								
10	27	1	1						陸驚・印度を初の大編隊急襲 ビルマ進攻企圖を粉碎	ビルマ前線〇〇にて穴倉特派員		
10	27	1	3	大東亜藝能文化祭								
10	27	1	3	大東亜省の廳舎一まづ 拓務省に決る								
10	27	1	3	共榮圏とマラリア講演(社告)								
10	27	1	3		南の拓土を募集 四十名、締切は十二月十日							
10	28	0	1	偉なる精神の勝利へ 馬來 ジョーイ・イ・デ・シルバー(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して②)							古丁氏	
10	28	0	2		南方圏を一翔して⑪					吉川榮治		
10	28	1		捷報世界へ飛ぶ パンザイに沸く帝都から徹夜の國際放送陣								
10	29	0	1	大東亜省設置等を審議								
10	29	0	2	大和魂を共榮圏に 青少年團から各地へ駐在員								
10	29	0	2		南方圏を一翔して⑫					吉川榮治		
10	29	1	1	準備を完了 きのふ臨時閣議で決定[大東亜省]								
10	29	1	1	關係勅令四十二件[大東亜省]								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	29	1	1	内外地行政一元化の強力戦時機構決定す 大東亜省行政再編 樞府原案通り可決								
10	29	1	1	樞府本會議經過[大東亜省]								
10	29	1	1					大東亜文化の確立に寄與 諸邦の協力體制整ふ[日泰文化協定]				
10	29	1	1					協力の基礎を培ふ 谷外相挨拶[日泰文化協定]				
10	29	1	1					日泰文化協定成る 親交關係強化の一途へ		外務省発表		
10	29	1	2	マラリア防遏の方策(社説)								
10	29	1	3	マラリア講演會(社告)								
10	29	1	3	日本の委員は卅名 大東亜文學者大會の細目決る								
10	29	1	3					菊香る外相官邸 日泰文化の新しき契り				
10	29	1	3					役立った日本語[日泰文化協定] 調印の喜び語るチャラオ書記官			チャラオ書記官	
10	29	1	4		白衣につゝむ やさしい大東亜協力の心 働く女性1(南方から銃後へ)					昭南發		
10	30	0	1	通商局長轉出 新納氏泰國へ								
10	30	1	2					泰の明年度予算決定		バンコック特電		
10	30	1	2						ビルマに日本人會	ラングーン特電		
10	30	1	3					盤谷に科學の尖兵 日タイ文化の握手固し[日タイ文化會館]				
10	30	1	4		米英とゴム対策 いずれが早く不足に悩むか					小田脩		
10	30	1	4		笠をかぶつて よく働く昭南名物女苦力 働く女性2(南方から銃後へ)					昭南發		
10	31	0	1	前途に光明 ビルマウ・チ・モン(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して③)					前途に光明 ビルマウ・チ・モン(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して③)		ウ・チ・モン氏	
10	31	1	1	重慶で米ソ蔣會談 太平洋、ビルマ情勢凝議					重慶で米ソ蔣會談 太平洋、ビルマ情勢凝議	上海特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
10	31	1	2	大東亜省あす花々しく 店開き 青木國務相が 表札に揮毫							写真は青木國務相揮毫 の看板	
10	31	1	2	大東亜要員錬成委員會 新設								
10	31	1	2		「正金」に南方の新天地 再編途上にある各種救 済金庫(大東亜戦下の 金融 中)							
10	31	1	4	思想戦の武器 わが對 外電波戦について(1)						佐藤泰一郎		
10	31	1	4	古典の再認識 大東亜 戦と人形芝居 上						吉田榮三		
10	31	1	4		客を待つ”物賣り女” 働く女性3(南方から銃 後へ)	客を待つ”物賣り女” 働く女性3(南方から銃 後へ)				サイゴン特電		
11	1	0	1	東洋文化で西洋指導 マレー サラ・シ・パネ (日本國民に寄す 大 東亜文學者大會に際し て④)							サラ・シ・パネ氏	
11	1	0	2	“大東亜省へ” いざ けふ外務省では激勵會 拓務省では解散式							(上)拓務省の解散式、 井野拓相から表彰状授 與 (下)谷外相の激勵 挨拶	
11	1	1	1	大東亜省官制								
11	1	1	1	行政機構の必勝態勢確 立 大東亜省誕生、官 界一新す 七十八勅令 けふ公布實施								
11	1	1	1	一切を擧げ戦力増強 官吏の責務愈々重大 東條首相談〔大東亜 省〕							東條首相	
11	1	1	1	過剰人員に臨時措置 明年三月末迄に南方へ 〔大東亜省〕								
11	1	1	1	けふ開庁式〔大東亜省〕								
11	1	1	1	建設審議會も主管〔大 東亜省〕								
11	1	1	1	興亞錬成所官制要項								
11	1	1	1	即決の綜合行政具現化 共榮圈全域の政務主管 大東亜省								
11	1	1	1	待遇職員昇格〔大東亜 省〕								
11	1	1	1	沸立つ設置の興望 拓 務省等の輝く足跡 大 東亜省の誕生まで								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	1	1	2	大東亜省の発足(社説)								
11	1	1	3	大東亜省廳舎本極り								
11	1	1	4	大會の意義(大東亜文學者大會ける隣邦の文人を迎ふ)						文學報國會理事 下村海南		
11	2	1	1	大東亜大臣に青木氏晴れの親任式御舉行						情報局發表	青木大東亜相=きのふ、寫す	
11	2	1	1	大東亜省分科規程								
11	2	1	1	大東亜省聯絡委員會								
11	2	1	1	精銳潑刺の配陣 大東亜次官に山本熊一氏							山本熊一、竹内耕平、今吉敏雄、宇佐美珍口、水野伊太郎	
11	2	1	1	統帥部に策應協力 迅速的確に政務を運営 青木大東亜相談								
11	2	1	2	青木新大臣の訓示(社説)								
11	2	1	2	認識と共感 佛印 デルバン夫人(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して⑤)			認識と共感 佛印 デルバン夫人(日本國民に寄す 大東亜文學者大會に際して⑤)					
11	2	1	3	青木、山本の組合せ 新省の性格茲に躍如								
11	2	1	3	大東亜芸能展開く								
11	2	1	3	「大東亜省」新建設へ 遅ましい發足								
11	2	1	3	笑顔で明快な應答 青木新大臣の頼もしい門出								
11	2	1	3	使命に挺身の誓ひ固し [大東亜省]							寫眞は首相官邸における大東亜省の開口式=中央は詔書を奉讀する青木大東亜相	
11	2	1	3	新世界を造らう 産婆役山本新次官の抱負								
11	3	0	1	大東亜省仕事始め								
11	3	0	1		院長に幣原坦氏 興南鍊成院の陣容整ふ、						幣原坦	
11	3	1	1	外交政策、支那問題に重點 大東亜省、新構想下に推進								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	3	1	1	外務、大東亜省と一體 強力外交、不斷の遂行								
11	3	1	1	興亞同盟改組成る 總 務局を力擴充強化								
11	3	1	2	大東亜文學者大會(社 説)								
11	3	1	2		原糸を特配 南方絹製 品用に							
11	3	1	2		實踐を第一 幣原院長 談							
11	3	1	2		推薦と一般募集 豫定 の定員三百五十 興南 錬成院							
11	3	1	3	聖戦下の使命評定 け ふ大東亜文學者大會開 く								
11	3	1	4	大東亜文學の建設(け ふ文學者大會開く)						中國 許錫慶		
11	3	1	4	戦記映畫「東洋の凱 歌」封切 (藝能だより)								
11	3	1	4	大會への希望(けふ文 學者大會開く)						島崎藤村		
11	3	1	4	われ等の心構へ 八紘 一字の顯現(けふ文學 者大會開く)						満州 爵青		
11	3	1	4		器用な手先で職場を守 る安南娘たち 働く女性 4(南方から銃後へ)	器用な手先で職場を守 る安南娘たち 働く女性 4(南方から銃後へ)				サイゴン特電	寫眞上はミシンがけ、下 は味噌工場で働く安南 女性	
11	4	1	1	大東亜文學者大會開く							大會參列者の聖壽萬歳 中央は島崎藤村氏	
11	4	1	1	自らの偉大に目覚め アジアの根源に還れ 奥村次長新文化の胎動 を説く〔大東亜文學者大 會〕							奥村情報局次長	
11	5	0	1	軍政現況報告 各顧問 から								
11	5	0	2	大東亜文學者大會けふ 本會議へ 亞細亞文學 は一つ 玩具の鈴なる 議席和やか							大東亜文學者代表の午 餐會=大東亞會館にて	
11	5	0	2		南方圏を一翔して㊸					吉川榮治		
11	5	1	2		“南の觀念が變つた” 慰問の島田俊雄氏ら歸 る							

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	5	1	3	欲しい共通の機関 大東亜文壇者大会で強調								
11	5	1	3	三千の聴衆に叫ぶ 大講演會[大東亜文壇者大会]							中國代表許錫慶氏の熱弁	
11	5	1	4	日本精神をつかむ(大東亜文壇者會議第一日の印象から)						蒙古 恭怖札市		
11	5	1	4	大きな拍手に感激(大東亜文壇者會議第一日の印象から)						満州國 バイコフ		
11	5	1	4	全東亜の結合へ 理念確立の力強い第一歩(大東亜文壇者會議第一日の印象から)						長谷川如是閑		
11	5	1	4		近在から集る ハノイ市場の安南農女 働く女性5(南方から銃後へ)	近在から集る ハノイ市場の安南農女 働く女性5(南方から銃後へ)				ハノイ特電	寫眞は市場で商賣する安南女	
11	6	0	1						ビルマ、軍政下に澆刺と新生 米は輸出、綿花は増産 農畜産へ原住民精勵	ラングーンにて吉村特派員		
11	6	0	2	大東亜文壇者大会第二日の議事「文學賞」をつくらう 文化研究所も設けたい								
11	6	0	2		南方圏を一翔して㉔					吉川榮治		
11	6	1	3	[代表の]觀劇と招宴								
11	6	1	3	日本を先陣・生死をいざ東洋新生の道へ 熱議を果し宣言に盛る決意 大東亜文壇者大会終る							宣言を朗讀する横光利一氏(下)口台姿の菊五郎口と代表一行	
11	6	1	3	大會宣言								
11	6	1	4	力強い意見の一致(大東亜文壇者大会を終りて)						華北 張我軍		
11	6	1	4	不動の信條の發露(大東亜文壇者大会を終りて)						満州國 山田清三郎		
11	6	1	4	國民の堅実さ 教育・鍊成の効果(大東亜文壇者大会を終りて)						華北 錢稻孫		
11	6	1	4	今後の使命 大きな氣魄で共榮圏の人々の心を包め(大東亜文壇者大会を終りて)						武者小路實篤		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	6	1	4	協和の實揚る 次回への希望一、二(大東亜文學者大會を終りて)						豊島與志雄		
11	6	1	4	豫期以上の大成功(大東亜文學者大會を終りて)						華中 草野心平		
11	6	1	4		織手に擔ふ 東亞共榮の大きな役割 働く女性6(南方から銃後へ)	織手に擔ふ 東亞共榮の大きな役割 働く女性6(南方から銃後へ)				ハノイ特電	寫眞は黄麻畑で働く安南女	
11	7	0	1	青木大東亜相西下								
11	7	0	1		興南一年①					絵と文 中村研一		東洋の門”昭南港”
11	7	0	1					泰の國水害に救恤 衣料食糧等五百萬圓		情報局發表		
11	7	0	2		南方圏を一翔して㉕					吉川榮治		
11	7	1	1		重臣懇談會開く 南方占領地の状況を聴取							
11	7	1	2	大東亜地域に重點 興亞改組後の新方針								
11	7	1	2			西貢の大東亜戦記念				サイゴン特電		
11	7	1	2					泰國水害の救恤(社説)				
11	7	1	2					泰首相へ本社社長より見舞電				
11	7	1	3						美し信仰の灯 ビルマの火祭り		寫眞はラングーンにて喜多特派員撮影	
11	7	1	3		「マレー戦記」などに文化映畫賞							
11	7	1	4		可憐な花賣娘 プチ・ラツク畔の花市場 働く女性7(南方から銃後へ)	可憐な花賣娘 プチ・ラツク畔の花市場 働く女性7(南方から銃後へ)				ハノイ特電	寫眞はプチ・ラツク畔花市場の娘	
11	8	0	1		商工[省]の生擴政策 南方資源活用など四件							
11	8	0	1					タイ國皇帝へ聖上から御見舞				
11	8	0	1		興南一年②					絵と文 中村研一	セレーター軍港	
11	8	0	2						ビルマとの電報取扱			
11	8	0	2		南方圏を一翔して㉖					吉川榮治		
11	8	1	2	大東亜建設審議會 十二日頃總會を開催 占領地軍政顧問も出席								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	8	1	2					南方軍總司令官から泰へ見舞品		バンコック特電		
11	8	1	2						鐵路の九割開通 日に日に濃い日本色 ランゲーン(共榮團の週間記録)	ランゲーン支局		
11	8	1	4	大東亜戦と人形芝居下						吉田榮三		
11	8	1	4		綿に挑む銃後の喜び 働く女性8(南方から銃後へ)			綿に挑む銃後の喜び 働く女性8(南方から銃後へ)		バンコック支局	写真は綿花のよりわけ	
11	9	1	1	大東亜省審議室、参事官集團を構成								
11	9	1	1	全民衆の心服を得よ 西下の青木大東亜相談							伊勢神宮に参拝した青木大東亜相=大阪本社電送	
11	9	1	2		南方棉作訓練所開く							
11	9	1	2			サイゴンに暁神社				サイゴン特電		
11	10	0	1	青木大東亜相歸京								
11	10	0	1		興南一年③					絵と文 中村研一		石油の町 バレンバン
11	10	0	2			南佛印の映畫界統一				サイゴン特電		
11	10	0	2		南方圏を一翔して㉑					吉川榮治		
11	10	1	2		海軍慰問議員團歸る [南方から]							
11	10	1	4		“海外同胞女子鍊成寮へ”入寮の資格と手続き(生活問答)					女史鍊成寮談		
11	10	1	4		海藻の話 上					山田幸男		
11	10	1	4		男子に伍して 堂々女ばかりの新聞社 働く女性9(南方から銃後へ)			男子に伍して 堂々女ばかりの新聞社 働く女性9(南方から銃後へ)		バンコック支局	写真は多忙な編輯室の一部一腰かけてゐる三人向つて左から副編輯長バヨン・マーナム嬢、編輯長ブラバシリ・シリヴォラサン嬢、支配人シ・プラハイ・シリヴォラサン嬢	
11	11	0	1		南方の羅馬字(鐵筆)							
11	11	0	1		興南一年④					絵と文 中村研一		ジャワの影絵芝居
11	11	0	2		南方圏を一翔して㉒					吉川榮治		
11	11	1	1	大東亜を一丸とし綜合經濟策を確立 大東亜省立案 戦争第一主義を堅持								
11	11	1	1	聯絡方を懇談 翼賛會委員ら大東亜相と會見								
11	11	1	3		廿歳乙女や大将の息 南方派遣の教員合格者						南へ行く先生清原恵美子さん	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	11	1	3	熱辨に拍手の嵐 大東 亜文學者講演會と閉會 式						大阪電話		
11	11	1	3		津田出身の清原さん 〔南方派遣教員〕							
11	11	1	4		海藻の話 下					山田幸男		
11	11	1	4		南方と俳句の使命①					矢野蓬矢		
11	11	1	4		街の殊勲者 マニラを 闊歩する女警官 働く 女性10(南方から銃後 へ)					マニラ 堀内特派員	寫眞は店頭立つ女警 官	
11	12	0	1		興南一年⑤					絵と文 中村研一	ハイテンゾルグ花畑	
11	12	0	2		南方圏を一翔して㉘					吉川榮治		
11	12	0	2			“日佛印親善”の大切な 苗 輝く留日學生たち 決る				ハノイ特電		
11	12	1	4	海外への結婚 どの 相談所がよいか(紙上 結婚相談所)						東京市結婚相談所長 田中孝子		
11	12	1	4		南方と俳句の使命②					矢野蓬矢		
11	12	1	4		土に汗する女性開拓團 働く女性11(南方から銃 後へ)					クアラ・ランブールにて 田中特派員	寫眞は農場で働く女性 開拓團	
11	13	0	1		興南一年⑥				興南一年⑥	絵と文 田村孝之介	トラツクより	
11	13	0	2		南方圏を一翔して㉙					吉川榮治		
11	13	1	1	大東亜建設審議會開く 軍政顧問らの報告聴取								
11	13	1	2	[大東亜省](有題無 題)								
11	14	0	1			芳澤、ドクー會談 佛新 情勢に意見交換				ハノイ特電		
11	14	0	2	“民族”の増強へ 人口 問題研究會開く								
11	14	1	2			芳澤ドクー會談(社説)						
11	15	0	1		興南一年⑦					絵と文 堂本三郎		贅澤な食事
11	15	0	2		南方圏を一翔して㉚					吉川榮治		
11	15	1	4						特輯・南方研究所巡り ビルマ篇 狂犬病の研究 機関 粗末なパスト ウル研究所/マラリヤ撲 滅へ ランゲーン市を守 る ハーコート・バトラ ー公衆衛生研究所/天然 の美を誇る 南國らしい 大構想 メイミヨウの國 立植物園	ランゲーンにて吉村特 派員/ランゲーンにて 吉村特派員/メイミヨウ にて寺倉特派員	寫眞 上はパストウル 研究所、下はハーコー ト・バトラー研究所内 にある標本の一つマラ リヤ原虫によって血球 が犯されてゆく過程を 示したもの(両方の翼の ようなものは蚊の断面 圖)/寫眞はメイミヨウ 國立植物園内の風景	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	17	0	1		瀬古賞勲局総裁南方へ							
11	17	0	1		興南一年⑧				興南一年⑧	絵と文 伊原宇三郎	マンダレーにて	
11	17	0	2		南方圏を一翔して⑫					吉川榮治		
11	17	1	1			佛印、我戦果を讃嘆				サイゴン特電		
11	17	1	2	大東亜経済聯盟を結成 二團體を解消								
11	18	0	1		興南一年⑨					絵と文 猪熊弦一郎		マニラの街つ児
11	18	0	2		南方圏を一翔して⑬					吉川榮治		
11	18	1	2			ベタン政府支持 佛印 總督重ねて聲明				ハノイ特電		
11	18	1	3					アジアの表裏を結ぶ 巨象先登に密林を拓く 建設隊 泰緬横断鐵道	アジアの表裏を結ぶ 巨象先登に密林を拓く 建設隊 泰緬横断鐵道	ラングーンにて野村特 派員		タイ・ビルマ地図
11	19	0	1					泰駐日商務官派遣				
11	19	0	1		興南一年⑩					絵と文 佐藤敬		マニラの衣装
11	19	0	2		南方圏を一翔して⑭					吉川榮治		
11	19	1	2	東亞經濟懇親會の機構 擴充								
11	19	1	3		品物より欲しい郷土便 り 本庄大将・南方慰問 から歸る					福岡電話		
11	20	0	1	小倉氏受諾 東亞經濟 懇談會長							寫眞は小倉氏	
11	20	0	1		興南一年⑪					絵と文 向井潤吉		幸福なマニラ
11	20	0	2		南方圏を一翔して⑮					吉川榮治		
11	20	1	2	慕進する廣域經濟 生 擴へ更に奮起せよ(開 戦一年・わが必勝陣 (8)經濟篇 下)								
11	20	1	2	共榮圏に立地計畫(必 勝必成)						橋本欣五郎	橋本欣五郎氏	
11	20	1	2	東亞經濟の新構想 東 經懇談會議題、發言者 決る								
11	20	1	4		”椰子・光・珊瑚礁”羽生 操著(書評)							
11	21	0	1		興南一年⑫					絵と文 清水登之		ボルネオの靈峰
11	21	0	2		南方圏を一翔して⑯					吉川榮治		
11	21	1	1			佛印で〔北阿戰の〕戦況 發表				サイゴン特電		
11	21	1	2	大東亞省委員廿四日 初顔合								
11	21	1	2		貴院南方視察團慰勞午 餐會							
11	21	1	3	大東亞美術展廿二日か ら受附								
11	21	1	3		南方の文化戦列へひと り子を捧ぐ”闘ふ母” 烈々の手紙						母小田トラさんと正毅君	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	22	0	1		興南一年⑬					絵と文 川端実		
11	22	0	2	十億の結合へ 大東亜 藝能文化協會發足								
11	22	0	2		南方圏を一翔して⑭					吉川榮治		
11	22	1	2			一路對日協力へ 母國 戰禍の中に毅然 佛印 (共榮圏の週間記録)				河内支局		
11	24	1	2	共榮圏貿易の要諦(社 説)								
11	24	1	2			米機、海防盲爆 佛印 へ最初の敵對行動				ハノイ特電		
11	25	0	1		興南一年⑮					絵と文 山口蓬春	昭和十七年五月 於香 港北角	
11	25	0	2		南方圏を一翔して⑯					吉川榮治		
11	26	0	1			ドクー總督近く南下				ハノイ特電		
11	26	0	1		興南一年⑰					絵と文 藤田嗣治		大日本の三文字
11	26	0	2		南方圏を一翔して⑰					吉川榮治		
11	26	1	1	大東亞相、官長要談								
11	26	1	1	東亞經濟懇談會けふから 開催								
11	26	1	3	大東亞戰美術の審査								
11	26	1	3		南征拾遺 上					橋本関雪	タイ國口口(絵)	
11	27	0	1	對日挑戰、全く計画的 我を抹殺せんとする覚 書手交 國民、この日を 銘記せよ 來栖大使第 一聲								眞相を發表する來栖大 使
11	27	0	2	道義經濟建設に邁進 東亞經濟懇談會けふ第 一日								
11	27	0	2	小倉會長挨拶[東亞經 濟懇談會]								
11	27	0	2	鐵石の團結で勝抜け 首相祝辭 道義經濟を 力説								
11	27	1	1	大東亞經濟建設の基本 策 青木大東亞相・東 亞經濟懇談會で闡明 國防産業の運営を一元 化 戦力の急速増強に 重點							寫眞は青木大東亞相	
11	27	1	1	共苦偕楽の財政 大東 亞を一貫確立 濱口蔵 相								
11	27	1	2	[米國の東亞蚕食](有 題無題)								

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
11	27	1	2	共栄圏“協力會議” 進む東亞經濟懇談會(時の焦点)								
11	27	1	2	東亞經濟懇談會に望む(社説)								
11	27	1	2					盤谷に敵機		バンコック特電		
11	28	0	1	棉花の増産を強調 東亞經濟懇談會(第二日)								
11	28	0	1					坪上駐泰大使歸國		バンコック特電		
11	28	0	2		南方へ「明年の暦」							
11	28	1	2	技術者の養成急務 東亞經濟懇談會けふ閉幕								
11	28	1	2	拓殖團體統合 翼賛會けふ協議會開く								
11	28	1	3		南征拾遺 下					橋本関雪	口もの賣り バンドン	
11	29	0	2	小型溶鑪を適地へ 東亞經濟懇談會收穫納めて閉幕								
11	29	1	1			佛印當局は平靜[ソールの佛軍武装解除]				ハノイ特電		
11	29	1	2	敢然、成果を實踐 東亞經濟懇談會聲明								
11	29	1	2	興亞同盟の新陣容								
11	29	1	2	聯絡機關設置 拓殖八團體								
11	29	1	3	入選(二百六點)決る 本社主催大東亞戦争美術展								
11	30	1	1	天覧に輝く聖戦繪卷①							上)十二月八日の真珠灣 藤田嗣治畫伯、中)マレー沖海戦 中村研一畫伯、下)山下・パーシバル兩司令官會見圖 宮本三郎畫伯	
11	30	1	1					泰中央銀行 十日に開業		バンコック特電		
11	30	1	2	大東亞戦展に特別出陣								
11	30	1	2	宮中で天覧の光榮 大東亞戦の記録畫三十九點								
11	30	1	2	巢立つ海外同胞								
11	30	1	2	山本次官も魚釣競争 大東亞省廳員鍊成の一日							寫眞は魚釣競争に参加した山本次官(手前)	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	1	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷②							上)四月九日の記録 向井潤吉、下)神兵バ レンバンに降下す 鶴 田吾郎	
12	1	0	2	對敵放送躍進 あすか ら短波機を一台増設								
12	1	1	1							鄭駐泰滿洲公使着任	バンコック特電	
12	1	1	2						該当記事ナシ		「バ・モ・ビルマ行政部 長官(中央)ビルマ防衛 軍幹部候補生を閲兵 廿二日ラングーンにて 木村特派員撮影=台北 電送	
12	1	1	3	我ら“神兵突撃”に續く 日本美術の新出發だ 天覽畫の作者、光榮 たゞ感激								大東亜戦美術展審査員 の集い
12	2	0	1						雲南第一線を征く 眼 前に敵兵の作業 我陣 寸刻の緩みなし[ビル マ・ルート]	大本營陸軍報道部 派 遣本社記者 藤井恒男		雲南とビルマの地図
12	2	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷③							上)ボルネオ作戦 川端 實畫伯、下)クラークフ イールド攻撃 佐藤敬 畫伯	
12	2	1	1					日泰文化協定 樞府け ふ可決				
12	2	1	4		南方の稀有元素資源 上						遠藤六郎	
12	3	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷④							上)カリジャティ西方の 爆撃 吉岡堅二筆、下) カリジャティ會見圖 小 磯良平筆	
12	3	0	1					日泰協定可決 樞府本 會議				
12	3	1	4		南方の稀有元素資源 下						遠藤六郎	
12	3	1	4			子供にもおいしく ビタミ ンの効果も多い [佛印 からの]玉蜀黍入りお米 の炊き方						
12	4	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷⑤					天覽に輝く聖戦繪卷⑤		上)マンダレー入城とビ ルマ人の協力 伊原宇 三郎筆、下)ビルマ蘭實 爆撃 田村孝之介筆	
12	4	0	2	”盟主日本”寫眞展開く								
12	4	0	2	勇戦の記録を御賞 朝 香宮殿下台臨 大東亜 戦展開く								御寫眞は大東亜戦展御 成りの朝香宮殿下

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	4	1	3						“勝ち抜くぞ” 飯田指導 最高指揮官陣頭の號令 我らに「不能」なし 燦 然ビルマの英軍驅逐の 猛進	ビルマ〇〇にて寺倉特 派員	飯田最高司令官	
12	5	0	1	大東亞戦争一周年 全 伊擧げて祝捷 ム首 相、日本記者團と會談						ローマ發同盟		
12	5	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷⑥							上)香港島最後の攻撃 圖 山口蓬春筆、下)コ レヒドール「さく」高地 田中佐一郎筆	
12	5	1	3	大東亞戦争一周年記念 學術講演會(社告)								
12	5	1	4	短歌 一 大東亞戦一周年一						齋藤瀏 選		
12	6	0	1	天覽に輝く聖戦繪卷⑦							上)潜水艦の米空母雷 撃 藤本東一良筆、下) 神兵奮戦之圖 中山巍 筆	
12	6	0	2	健氣・次代を擔う意氣 昂し 大東亞少國民大 會賑かに開く							「満場を埋める少國民 円内は泰國のソンバツ ト少年」	
12	6	1	2	大東亞戦争一周年記念 米英撃滅大講演會(社 告)								
12	6	1	3	英靈に捧ぐ群像「大東 亞」(靖國へ奉納)								写真アリ
12	6	1	3	三殿下台臨 光榮の大 東亞美術展								
12	6	1	3		“土の尖兵”南へ 自信 満々、第一陣の錬成終 る							
12	6	1	3	大東亞戦勝の夕								
12	7	1	1						陸鷲、チッタゴン急襲 敵の船團、軍需品を爆 碎	ビルマ前線〇〇基地に て穴倉特派員		ビルマ地図
12	7	1	2	大東亞戦美術展の光榮								
12	8	0	1	大東亞相奏上								
12	8	0	1			ドクー總督西貢へ				ハノイ特電		
12	8	0	2	青木さん 冷水摩擦に“ 必勝の力”							「寫眞は冷水摩擦に耐 へる青木大東亞相」	
12	8	1	2		南方軍政一年の巨歩 運営、完勝一點に結集 潤澤資源にも心緩むな 【陸軍當局談】						「寺内最高指揮官・馬 上の勇姿」前線〇〇 にて大東特派員撮影	
12	8	1	5	大東亞戦争繪日記						横山隆一		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	8	1	5		南方文化・振興の現状					國立比律賓大學総長 ビー・エム・ゴンザレ ス、文學博士・プリオ ノ、アブドラ・ビ ムシデ ラ手記		
12	8	1	6	「東亜の地圖」を更新 征戦一年 雄渾なる戦 略態勢							開戦一年 輝く大戦果 図	
12	8	1	7		南への郵便地域拡大							
12	9	0	2	力強く誓ふ共榮圏各地 〔開戦一周年〕		力強く誓ふ共榮圏各地 〔開戦一周年〕ハノイ		力強く誓ふ共榮圏各地 〔開戦一周年〕盤谷				
12	9	1	1			芳澤大使、西貢へ				ハノイ特電		
12	9	1	2	大東亜經濟聯盟生る								
12	9	1	2					完勝へ、提携強化(東 條首相)				
12	9	1	2					協定邁進のみ(ビブ ン首相)				
12	9	1	2					日、泰首相誓ひ新た 交驛放送				
12	9	1	2					泰華僑、汪主席へ祝電 〔参戦一年〕		南京特電		
12	9	1	2					〔泰華僑〕蔣へも和平通 電		南京特電		
12	9	1	2					〔東條〕首相、泰大使へ 答礼				
12	9	1	3					盟邦“勝利の乾盃” 東 條さん タイ大使館へ				
12	9	1	4		われ等の使命 南方の 學術研究と科學政策					畑井新喜司	畑井新喜司氏	
12	9	1	4					おゝ、日本軍の姿 泰國 進駐・あの日の感激(家 庭)		バンコックにて 小堀義 子さんの手記	写真は十二月九日皇軍 進駐を迎へる義子さん	
12	10	0	1		馬來をマライに バタビ ヤはジャカルタ 南方 地名を統一							
12	10	0	2	天覧に輝く聖戦繪巻⑧							上)ジャワ沖海戦 有岡 一郎筆、下)トロラク・ス リムの戦 栗原信筆	
12	10	1	1		洋々たり、南方軍政の 前途 大東亜の總力戦 展開 資源占有に米英 恟々					昭南特電		
12	10	1	1			日・佛印經濟交渉 芳 澤大使あす西貢へ				ハノイ特電		
12	10	1	2					泰の憲法發布記念祭		バンコック特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	10	1	3	大東亜戦展の入賞者								
12	10	1	3		名實ともにアジアに選る 南方地名改称のいはれ							
12	10	1	4	新しい研究と保存						郡場寛		
12	10	1	4		一心協力の要 南方の 植物資源開発へ					金平亮三		金平亮三(顔写真)
12	10	1	4					日本を知る爲に(南方 日本語普及の一年)		チャタナカラ・ワラワン		チャタナカラ・ワラワン (顔写真)
12	11	0	2	天覧に輝く聖戦繪巻⑨							上)硝煙の道コレヒドール 猪熊弦一郎畫伯、 中)攻略直後のシンガ ポール軍港 矢澤弦月 畫伯、下)ボルネオ油田 地帯確保部隊の活躍 清水登之畫伯	
12	11	1	2	大東亜圏の總力結集 (社説)								
12	11	1	2					泰國中央銀行開く		バンコック特電		
12	11	1	3						ビルマ向電報便利に			
12	11	1	3			佛印から感謝の献金				サイゴン特電		
12	11	1	4	大東亜戦争美術展 上						荒城季夫		
12	11	1	4					量よりも質へ(南方日本 語普及の一年)		チャタナカラ・ワラワン		
12	12	0	2		學徒から南方指導者							
12	12	0	2			阿部仲麿の顕彰碑				ハノイ特電		
12	12	1	1	綜合物價對策案成る 價格形成委員會建議 低物價を強力に推進 共榮圏の民生に留意 交易機構の整備緊要								
12	12	1	4	大東亜戦争美術展 下						荒城季夫		
12	13	1	2	低物價政策の徹底(社 説)								
12	13	1	2						住民に生業資金 蘭貢 (共榮圏の週間記録)	蘭貢支局特電		
12	13	1	2			無言の轉換期 西貢 (共榮圏の週間記録)				西貢支局特電		
12	13	1	4	初めなる日に=開戦一 周=マニラにて						火野葦平		
12	15	0	1			栗山事務総長帰任						

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	15	0	2						[聖慮に副ひ奉らん 御親拜に前線感激の誓ひ] ビルマ	ランゲーン特電		
12	15	1	1			第一回芳澤・ドクー會談				サイゴン特電	写真は芳澤大使(上)とドクー總督	
12	15	1	1			日佛印の提携強化 新經濟協定に具現 栗山大使談						
12	15	1	2					近づく日タイ攻守同盟一周年 泌み渡る我が友情 昂る新秩序への希望		バンコック特電	盟邦泰國の協力に感謝 日泰攻守同盟一周年記念と泰國立憲記念を祝しピブン首相を訪問、挨拶を述べる守屋少将=十一日ピブン首相官邸にて大東特派員撮影—西部本社電送	
12	15	1	4	“何時でもゆきます” 大東亜海を渡る日待つ十九人 “南の花嫁”は鍊成する							「杖術の修業をする花嫁たち」	
12	15	1	4			習得に一苦勞 安南①(南方・日本語普及の一年)				鈴木健郎		鈴木健郎(顔写真)
12	16	0	2	共榮園日本畫内示展								
12	16	1	1			交渉早くも軌道へ 第一回芳澤ドクー會談				サイゴン特電		
12	16	1	1			對日提携強調 佛印總督放送				サイゴン特電		
12	16	1	2						南方軍政の展開 ビルマ篇 鐵道の九割開通 軍票への信頼は絶大	ランゲーン特電		ビルマ地図
12	16	1	3	大東亜美術展授賞式								
12	16	1	4			平假名を喜ぶ 安南②(南方・日本語普及の一年)				鈴木健郎		
12	17	0	1					日泰文化協定廿一日に發效				
12	17	0	2	共榮園の學生交驩								
12	17	1	2		[熱帯の食糧](有題無題)							
12	17	1	2			細部折衝開始 日佛印經濟協定				サイゴン特電		
12	17	1	4						日本字も上手に ビルマ少年は伸びる(南方から銃後へ)	ランゲーンにて野村特派員發		
12	17	1	4			助詞は嚴密に 安南③(南方・日本語普及の一年)				鈴木健郎		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	18	0	2	興亞先覚者 けふ慰靈祭							写真は慰靈祭	
12	18	1	2					泰財政の再編成る 民間資金を公債に動員		バンコックにて増田特派員發		
12	18	1	3	大東亞駐日記者會								
12	18	1	3		南に築く「動植物園」六教授、技師ら赴任					京都電話		
12	18	1	3		陸の最前線 上 南の風に翻る“日章旗” 一木一草に籠る建設の雄叫び					大本營陸軍報道部派遣 藤井記者	写真は(上)筑波山頂に立つ○兵團奮戦記念碑(下)山下將軍とパーシヴァル會見の口=陸軍省検閲濟	
12	18	1	4						“桃太郎”を上演 ビルマ上(南方・日本語普及の一年)	上田天瑞		上田天瑞(顔写真)
12	19	0	1			栗山事務總長歸任				サイゴン特電		
12	19	1	2						ビルマ司法制度の新生 法廷から英國臭一掃 半数以上新人を抜擢	ラングーンにて野村特派員		
12	19	1	3		留日學生舞踊の夕						写真は出演者を圍む留學生たち	
12	19	1	3					“日泰の契”一年 二十一日、攻守同盟の祝典				
12	19	1	3						陸の最前線 下 戦ひながら戦力蓄積 渋柿を乾してお菓子の代用 [ビルマ・ルート]	大本營陸軍報道部派遣 藤井記者	吊し柿を喜ぶ兵隊さん 藤井記者撮影	
12	19	1	4						文法の質問續出 ビルマ下(南方・日本語普及の一年)	上田天瑞		
12	20	0	1	大日本言論報國會を結成 思想戦必勝の備 大東亞全域に活動								
12	20	0	2						猛獸も歡喜の咆哮 ラングーン動物園に再開の春	ラングーン特電		
12	20	1	2		南方資源開發事業に民間の知識活用 東商、陸海軍等へ建議							
12	20	1	2					新なる感激へ 參戰第二年を迎ふ[泰國](共榮圈の週間記録)				
12	20	1	2					“泰國の父”ピブン首相 率先、國民に垂範 次代に託す指導者の夢		バンコック特電	写真は閱兵するピブン首相	
12	20	1	3		香港と南方郵便開く					香港特電		

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印國境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	20	1	3		南で歌へ共榮の歌 ウ タノエホンの入選作決る							
12	20	1	3			日本館に集る人氣 け ふから西貢で見本市博 覧會				サイゴン特電		
12	20	1	3			日本に學ぶお嬢さん 大東亞共榮園 南から 北から〔日佛印交換學 生〕				ハノイ特電/下関電話		
12	20	1	3					大和魂に學べ ラマ六 世も莞爾		バンコック特電	寫眞は大東特派員撮影	
12	21	1	1					けふ日泰同盟一周年 文化協定締結も近し		バンコック特電		
12	21	1	1					日泰同盟の一周年(社 説)				
12	21	1	1					最後の勝利獲得へ 〔日タイ〕 締盟更に飛 躍 坪上大使談		バンコック特電	坪上大使	
12	22	0	1					泰、全土を擧げて慶祝 〔日泰同盟一周年〕		バンコック相良特派員		
12	22	0	1					東亞興隆に協力邁進 日泰締盟一周年祝賀大 會〔東京〕			日泰攻守同盟祝賀大會 における東條首相の挨拶	
12	22	0	1					首相の祝辞〔祝賀大 會〕				
12	22	0	1					〔東條〕首相泰大使館を 訪問				
12	22	0	2					泰大使へ観音像贈呈				
12	22	0	2					更生の島アンダマン “囚人”の汚名拭ふ歡び 日本協力へ島民勤勞の 汗	ベナンにて爲田特派員 (海軍報道班員)	寫眞はポートブレアの 新市街=爲田特派員 (海軍報道班員)撮影 海軍省許可済第五六九 号		
12	22	1	1			佛印陳謝す 芳澤大使 に非禮				ハノイ特電/サイゴン 特電		
12	22	1	1			芳澤大使近く歸朝				サイゴン特電		
12	22	1	1					大東亞圈内初の協定 〔日泰文化協定〕				
12	22	1	1					和やかに批准書交換		バンコック特電		
12	22	1	1					日泰文化協定、批准交 換 東亞文化興隆に寄 與 學術、宗教等の協 力増進				
12	22	1	1					〔日泰文化協定〕期限 十年 協定全文				
12	22	1	1					坪上大使の挨拶				
12	22	1	1					ヴィジツト外相挨拶				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	22	1	3					同盟記念の佳き日に 泰青年の精神道場 世 田谷に留學生の殿堂成 る[日泰學院]			完成した日泰學院	
12	22	1	3					日泰文化の新しい契り ピブン首相も力癪 協 定祝って盛大な行事 柳澤健氏談			東洋の泰へ澎湃たる國 民運動 円内は柳澤健 氏	
12	22	1	3					強い結束に乾杯 [日 泰]攻守同盟一周年の 晩餐會			日泰攻守同盟晩餐會で 挨拶を述べる谷外相	
12	22	1	4	大東亜共榮唱歌集 上								
12	22	1	4		貴重な石油資源 “有孔 虫化石”研究の重要性 (一)					半澤正四郎		
12	23	1	1			あす芳澤ドク一會談				サイゴン特電		
12	23	1	2			商船、佛印鐵道と連絡						
12	23	1	3	大東亜戦争美術展延期								
12	23	1	3		紙面一杯に漲る文化の 息吹 本社擔當 南方 の兩新聞第一號							
12	23	1	3					日泰協會の晩餐會[同 盟一周年]				
12	23	1	3					泰へ見舞金 佛教徒が 募集				
12	23	1	4	大東亜共榮唱歌集 下								
12	23	1	4		油田の開発へ “有孔 虫化石”研究の重要性 (二)					半澤正四郎		
12	23	1	4					古代から共通性 日泰 文化協成成立に寄せて		川島理一郎	カット写真は菩薩像＝ シービチャヤ時代	
12	24	0	2		ゴム研究所設立							
12	24	1	1					泰皇帝に我公使謁見		チューリッヒ同盟 ロー ザンヌ來電		
12	24	1	2	大東亜要員錬成委員會 けふ初顔合せ								
12	24	1	4		南方向選定映畫(芸能 だより)							
12	24	1	4		低い農業動力 南方の 農機具について(一)					二瓶貞一	写真は華僑製の木製大 型如露＝ビルマ所見	
12	24	1	4		本来の姿へ還せ 教育 と日本語の問題 南方 雜観(上)					徳川義親		
12	24	1	4					日本映畫、泰國で大好 評(芸能だより)				

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	25	1	1	大東亜錬成委員、錬成要項決る								
12	25	1	1			一兩日中に回答 芳澤、ドクー會談進捗				サイゴン特電		
12	25	1	1					該当記事ナシ			日泰文化協定御批准書交換（右）坪上大使（左）ピチツト外相 大東特派員撮影 台北＝本社電送	
12	25	1	3		続いて送る“土”の尖兵南へ征く 要員を第二回錬成							
12	25	1	4		南方向邦樂盤五十枚きまる（芸能だより）							
12	25	1	4		代用品への暗示 南方の農機具について（二）					二瓶貞一	写真は華僑製の龍骨車をドイツ製小型石油反発動機で揚水してゐるところ（バンコック郊外所見）	
12	25	1	4		南方行き女性 熟練者に限る					高橋監理課長談		
12	25	1	4		すべて実行の秋 映畫、音楽、舞踊、放送の問題 南方雜観（中）					徳川義親		
12	26	1	1					泰大使首相を訪問				
12	26	1	2			一時間早く迎春 佛印時間、切上げ實施				ハノイ特電		
12	27	1	1			芳澤大使、歸朝の途へ				サイゴン特電		
12	27	1	4		アジアの希望 一留學生諸君への言葉（戦時下の南方留學生）					秋山謙藏		
12	27	1	4		大東亜の共榮へ 眞摯な協力の意氣（戦時下の南方留學生）					渡邊知雄		
12	27	1	4		今後への期待 更生の途を知らしめよ（戦時下の南方留學生）					大屋源幸		
12	28	1	1	決戦段階に赫々の戦果 陸海兩相議會で戦況報告 反攻、隨所に粉碎 經濟開發も順調に進展 陸軍								東條陸相（顔写真）
12	29	0	1					盤谷來襲機を撃退		バンコック特電		
12	29	0	1					日泰文化協定けふ公布さる				
12	29	0	2		南のお友達へ私達のお年玉 可愛い國民學校生活寫真帳を贈る						写真は字畫を習ふ學童たち	

月	日	0=夕刊 1=朝刊	面	大東亜	南方	佛印	タイ佛印国境紛争	タイ	ビルマ	発信元、特派員	写真キャプション	キャプションなし図版類
12	29	1	2						秘境シヤン州の新生譜 英國式教育を一掃 愉快 しい鑛業王國の夢	ラングーンにて上山特 派員		シヤン州地図
12	29	1	4		今や發展の機 南方の 農機具について(三)					二瓶貞一	寫眞は泰の水田用馬把 (馬鋤)竹と木製で鐵を 使はない二頭の水牛で 曳いてゐる	
12	29	1	4		手堅い建設へ 宗教と 民族研究の重要性 南 方雜観(下)					徳川義親		
12	30	1	1						雲南ビルマ鐵路工事再 開	廣東特電		
12	30	1	1						英米重慶、ビルマ奪回 の夢 寧ろ宣伝効果を 狙ふ、利用され蠢動す る蔣軍	上海特電		
12	30	1	1			協定は順調に進捗 芳 澤佛印大使歸朝す					福岡雁の巢飛行場着の 芳澤大使 西部本社電 送	
12	30	1	4		隠れたる功績 南方藍 藻の窒素固定 (上)					渡邊篤	寫眞は窒素固定能を有 する藍藻ノストック・ブ ンチクホルメ	
12	31	1	2			佛印の地位の検討(社 説)						
12	31	1	4		無肥料の水田 南方藍 藻の窒素固定 (下)					渡邊篤		
12	31	1	4		「きのふの夢」徳川義親 著(書評)							
12	31	1	4						御馳走は孔雀 電に故 國を偲ぶ ビルマ			